



京都市会だより編

1 創刊号（平成9年5月15日発行）から第92号（平成30年2月15日発行）までの1面を抜粋して掲載した。

2 創刊号及び改選期に発行する特集号は、全4面を掲載した。

創刊号（平成9年5月15日発行）

特集号（平成11年7月15日発行）

特集号（平成15年7月15日発行）

特集号（平成19年7月15日発行）

特集号（平成23年7月15日発行）

特集号（平成27年7月15日発行）

3 市会の広報を充実させるために平成27年度から作成を始めた特集記事号は、全4面を掲載した。

第75号（平成27年9月15日発行）

第82号（平成28年9月15日発行）

第89号（平成29年9月15日発行）

4 本来は、タブロイド版・フルカラー・右開きであるが、収録にあたり縮小し、モノクロ・左開きとした。

5 『京都市会だより』以外の広報の取組（京都市会ポスター等）を、384頁、394頁、404頁に掲載した。

京都市会だより

創刊号

平成9年(1997)

5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3700



葵祭 (写真提供/京都市観光協会)

創刊にあたって



京都市会議長

中野 竜三



京都市会副議長

小川 利治

このたび、「京都市会だより」を創刊し、市民の皆様にお届けすることになりました。かねてから開かれた市会を目指す私どもにとつて、独自の広報紙を発行することが念願であり、それが実現できましたことを大変嬉しく思っております。市会は、ともすれば市民の皆様にとって遠

い存在と思われがちですが、本紙が市会をより身近に感じていただける架け橋となれば、これに勝るものはありません。現在、地方分権の推進が言われている中、本市においては、少子・高齢社会への対応や産業の振興、都市活力を高めるための基盤整備など多くの課題が山積しており、京都市会の役割は、今後ますます重要になっていくと存じます。私どもは、従来に増して地方自治の確立と京都市の発展のため一層の努力をしまいる所存であります。

この市会だよりは、定例会と臨時会の開会ごとに、その審議内容など議会の活動状況をお知らせいたしますが、これを機に、市民の皆様温かいご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

創刊によせて



京都市長

榊 康頼

この度、市会の皆様のご尽力により「京都市会だより」が創刊されますことを心からお祝い申し上げます。今、時代は、「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ、「画一と集権」から「多様と分権」への大きな転換点を迎えております。私は、21世紀においても、146万人の京都市民の皆様がいきいきと豊かに暮らす、「ひびき・まちなみ・ロマン 元氣都市・京都」を築いた

め、「もつと元氣に・京都アクションプラン」を策定し、その実現に全力を傾注しております。また、地域に相応しい個性と魅力あるまちづくりや市民一人ひとりが豊かさを実感できる暮らしを実現するうえで、地方分権を推進することは、大変重要であり、来るべき「地方の時代」には、市民の皆様、市政への関心や参加意識がますます高まっております。このような中で、市会の活動状況に関する情報を広く知っていただくために「京都市会だより」を発刊され、市民の代表である市会と、市民の皆様との絆を一層深められますことは、誠に時宜を得た素晴らしいことであり、「京都市会だより」が多くの市民の皆様へ愛されることを心から祈念いたします。

(3)



議長席から見ると、議員はこのように着席しています

中京区 西田 輝雄 京都市民クラブ⑥
 北 区 北川 明 民 ⑥
 西京区 北川 明 民 ⑥
 上京区 国枝 克一郎 自 民 ⑦
 下京区 西脇 尚一 自 民 ⑦
 右京区 川中 増次郎 自 民 ⑤
 山科区 井上 与一郎 自 民 ⑤
 上京区 山口 幸秀 京都市民クラブ⑤
 右京区 永嶋 久仁朗 無 所 属 ⑤
 下京区 可児 達志 公 明 ⑤
 伏見区 秋山 幸雄 公 明 ④
 右京区 中西 賢治 公 明 ④
 伏見区 小川 利治 公 明 ③
 右京区 宇都宮 壮一 新進市民クラブ⑤
 下京区 今枝 徳蔵 新進市民クラブ④
 山科区 高嶋 弘恵 公 明 ②
 上京区 小林 あきろう 京都市民クラブ③
 南 区 田中 セツ子 自 民 ②
 南 区 梅 林 等 京都市民クラブ③
 東山区 内海 貴夫 自 民 ②
 伏見区 安井 勉 京都市民クラブ③
 左京区 鈴木 マサホ 京都市民クラブ③
 南 区 大道 義知 公 明 ②
 西京区 久保 省二 公 明 ①
 伏見区 天方 富英 新進市民クラブ②
 伏見区 石黒 利雄 新進市民クラブ①
 左京区 柴田 章喜 公 明 ①
 伏見区 加藤 盛司 京都市民クラブ②
 北 区 加地 浩 自 民 ①
 中京区 中村 十一 新進市民クラブ①
 左京区 山口 勝 公 明 ①

5月定例会は20日開会です

5月定例会は会期10日間で、次の日程で行われる予定です。

- 20日(火) 本会議(議案の提案説明)
- 21日(水) 議案熟読
- 22日(木) 議案熟読
- 23日(金) 本会議(各会派による代表質問)
- 26日(月) 常任委員会
- 27日(火) 常任委員会
- 28日(水) 各会派議員会
- 29日(木) 本会議

市会の構成

常 任 委 員 会					市会運営委員会 (16人)
財政総務委員会 (13人)	文教消防委員会 (13人)	厚生委員会 (13人)	建設委員会 (12人)	交通水道委員会 (19人)	
市政の総合企画、国際交流、財政、商工業、観光、農林業など	文化、区役所、消防、教育など	社会福祉、保健衛生、清掃など	都市計画、公園、住宅、道路など	市バス、地下鉄、水道、下水道	知徳 文章 ○日置 淳 ○山中 与一郎 △井上 内海 貴夫 大西 二之湖 倉林 明子 藤井 佐富 冬樹 △藤原 大進 義知 加藤 大進 弘昌 △鈴木 康司 △安孫子 隆秀 天方 富英
◎日置 文章 ○藤原 寿子 ○藤田 マサホ ○鈴木 義浩 伊藤 幹雄 津田 尚一 西脇 ちよみ 岩橋 広太郎 河上 洋子 山本 正志 小川 利治 久保 省二 今枝 徳蔵	◎青木 賢一 ◎せのお 直樹 ○中西 正三 加地 浩 加地 隆夫 中村 安良 中村 博文 藤野 有吉 井坂 博文 山口 啓明 加藤 盛司 石黒 利雄	◎藤原 冬樹 ◎西脇 克一郎 ○中村 十一 井上 与一郎 中野 龍三 柳田 知雄 高橋 透 藤本 ます子 可児 達志 山口 弘昌 加藤 久仁朗 天方 富英	◎西田 輝雄 ◎内海 俊夫 ◎藤井 佐富 江藤 寿夫 田中 七之湖 佐藤 和夫 山中 大進 中西 大進 山口 富 幸秀 きくお	◎高橋 泰一郎 ◎北山 ただお ◎秋山 幸雄 大西 均 川中 明 北川 正明 小林 滋弥 坂口 芳治 三宅 誠孝 山本 豊修 若原 康徳 柴田 均 高嶋 梅林 安井 隆秀 安孫子 隆秀 宇都宮 壮一 永嶋 久仁朗	

◎委員長 ○副委員長 △理事

各 会 派 の 正 副 団 長		
自由民主党京都市議員団 23人 ◆北川 明 ○巻野 謙	日本共産党京都市議員団 20人 ◆若原 康 ○藤原 冬樹 ○坂口 芳治 ○森 ます子	公明京都市議員団 12人 ◆中西 正三

議長 中野 副議長 小川

京都市会議員 を紹介します



この表の見方
選出区名
氏名
会派(略称)、当選回数

会派の名称は次のとおりです
 自民=自由民主党京都市議員団
 共産=日本共産党京都市議員団
 公明=公明京都市議員団
 京都市民クラブ=京都市民クラブ市議員団
 新進市民クラブ=新進党・市民クラブ京都市議員団

(注) 議員定数は72人ですが、現在は2人欠員で70人となっています。

電三 利治	特別委員会					
予算(決算)特別委員会	同和問題解決 特別委員会 (12人)	環境保全対策 特別委員会 (12人)	スポーツ振興対策 特別委員会 (12人)	郷土・観光産業振興対策 特別委員会 (12人)	防災・市庁舎建設対策 特別委員会 (11人)	地方分権推進等 特別委員会 (11人)
普通予算(決算)特別委員会 財政経理、文教消防、厚生、建設の 各常任委員会の委員で構成(51人)	○井坂 博文 ○北川 加地 ○安井 一郎 井上 与一郎 高橋 泰一 中野 竜三 倉林 明子 坂口 芳治 藤原 冬樹 藤原 久保 加藤 天方 日置 文雄 宇都宮 社一	○河上 洋子 ○加地 浩 ○谷口 弘昌 内海 貴夫 田中 せつ子 北山 ただお 高橋 きみ 藤原 久保 加藤 省二 日置 盛英 宇都宮 久仁朗	○石黒 利雄 ○撃 隆夫 ○加藤 広太郎 ○加藤 善男 青木 善孝 小林 正明 巻野 渡 三宅 誠孝 秋山 可児 山口 幸枝	○伊藤 義浩 ○菅宮 隆秀 ○安孫子 隆夫 江羅 尚一 西脇 滋弥 福原 有吉 藤本 貞子 山本 正志 中野 正三 小林あきろう 西田 博雄	○大西 均 ○岩橋 ちよみ ○高橋 弘也 川中 増次郎 中村 知雄 櫻田 直樹 せのお 渡 小川 利治 中野 鈴木 中村 マサホ 十一	○大連 義和 ○二之湯 智 ○磯 ます子 ○藤原 寿子 ○櫻田 幹雄 山本 正志 山本 豊 山口 勝 堀 謙 富 貴くお
事業予算(決算)特別委員会 交通水道委員会の委員で構成(19人)	市会選出監査委員 中村 安良 安井 龍					
○田中 セツ子 ○佐藤 和夫 ○可児 達志	京都市民クラブ市議員団 7人 ◆山口 孝秀 ◇安井 龍					
○三宅 誠孝 ○川中 増次郎 ○梅林 研	新進党・市民クラブ京都市議員団 7人 ◆少将 徳蔵 ◇高 貴くお					

京都市会だより編

2月定例会のあらまし

2月定例会(2月19日・20日)では、9年度京都府予算及び関連議案計17件が19日に提案され、各党派の代表質疑(概要は市民しんぶん4月1日号に掲載)の後、28日に普通及び事業予算特別委員会を設け、議案を付託しました。両特別委員会では審議を3月25日まで続け、同日の最終本会議で各委員長が審議の経過と結果を報告した後、すべての議案を原案のとおり可決しました。なお、一般会計予算に7個、公営企業会計予算に7個の付帯決議を付けました。

普通予算特別委員会

9年度一般会計予算など議案65件が付託され、3月3日から隔別(別)に審議を続け、17日には市長、副市長に対して総括質疑を行いました。審議の中で論議された主な項目は次のとおりです。

- 使用料、手数料改定の基本的考え方と改定の見直し
●「もつと元氣に」京都アクションプラン」実施に当たっての考え方と財源確保の見直し
●ポスト市政改革大綱の取組と外郭団体の見直し
●大区役所制の実施方針
●観光資源開発の取組
●児童福祉法改正による本市保育行政への影響と国への働きかけ
●環境基本条例制定に向けての考え方
●地球温暖化防止京都会議(COP3 京都)開催に当たっての取組方針及び環境教育の推進
●ごみの分別収集の今後の取組及び収集品目の拡大
●大型ごみ有料化の取組
●芸術文化振興計画の具体的取組

事業予算特別委員会

9年度水道事業特別会計予算など議案8件が付託され、3月3日から隔別(別)に審議を続け、11日には市長、副市長に対して総括質疑を行いました。審議の中で論議された主な項目は次のとおりです。

- 上下水道事業への消費税転嫁の理由と内部努力による値上げ分の吸収
●水道事業の有収率向上に向けた取組
●琵琶湖第2疏水連絡トンネルの完成見通し及び建設費の影響
●下水道事業における新たな収入源の確保
●市バス事業の11年度末不償債務解消の見込み及び取組
●市バスの醍醐営業所移転後の現行路線の確保
●市バス営業所統合と跡地の有効活用
●地下鉄東西線の開業時期の見直し及び延伸の取組
●建設業進取金共済制度の適正運用の指導徹底

一般会計予算等に 対する付帯決議(要旨)

●本市の厳しい財政基盤を考えると、より確かな行政運営が求められるので、今後策定される新行財政改革大綱の中で以下の点に不抵触の決意で取り組むこと。
(1)各種団体への補助金を見直し、外郭団体の見直しと自主財源の確保による財政健全化の推進を図ること。
(2)職員チャレンジプロジェクトによる庁内活性化の推進を図ること。
(3)行財政改革に大きく寄与する地方分権の推進を図ること。
(4)9年度予算における、各種手数料、使用料の値上げには、本市の厳しい財政状況を考えれば、一定の理解を示すものであるが、市民にとっては負担増になることは否めない。今後、市民に対する行政サービスの向上の向上に努めること。

企業会計予算に 対する付帯決議(要旨)

●バス系統再編に当たっては、「バス系統研究委員会」の報告を踏まえ、市民の理解を得て行うこと。
●本市バス事業の厳しい運営状況は回復していかない。「京都市自動車運送事業」の今後の展開について、併行対策を進めるに当たっては、具体的内容を示すとともに、南西交通問題協議会等関係機関との協議についても促進し、便利で安心な新しい市民の足の確保に努力すること。
●高速鉄道運送士の勤務時分を、超過勤務時分の在り方を含め、真剣に見直すこと。
●交通局においては、職員削減に当たり、最高40%の増進退職金支給による勤労退職を実施された経過があるが、今後はこのような増進退職金の支給は控えること。また、退職金に充当するために多額の債券を発行していること、その財源については考慮すべき課題である。(以上、賛成多数)

環境基本条例制定議案に 対する付帯決議(要旨)

●環境基本条例は、実質的には対象分野において優越性を持ち、その他の条件を誘導する性格を持つものである。市のすべての施策は、構想、計画、実施のそれぞれの段階で環境への配慮を徹底すること。そのために、(1)関連する条例の制定及び改定を進めるとともに、全庁横断的な総合調整機関を設けること。
(2)十分かつ持続的な財源を確保する財源上の措置を講ずること。
●環境影響評価制度については、進捗に際しては、情報公開及び市民の積極的な参加の保障、対象事業の適正な設定などを積極的に検討するとともに、環境影響評価条例制定の過程において、幅広い意見を聞き、その反映を図ること。なお、環境審議会については、今後市民に公開することや、市民の多様な意見が反映されるよう努めること。
●新京都府環境管理計画の趣旨に沿って、(1)市政における市民意見の反映を促進すること、(2)環境の保全に関する情報提供(公開)の重要性を認識し、その趣旨を公文書公開条例の運用に生かすこと、(3)市民参加などの市民参加の具体的な制度化について、積極的に導入を検討すること。(以上、全会一致)

意見書・決議

- ロシア船舶タンカーの重油流出事故に関する意見書
●29回オリオンピック競技大会の大阪誘致に関する決議
●動力炉・核燃料開発事業団東海事業所で発生した火災・爆発事故に対する意見書
●地震災害等に対する新たな住宅保障制度の確立等を求める意見書
●地方分権の一層の推進を求める意見書
●国庫補助金制度の改善を求める意見書
●環境アセスメント法の早期制定と環境行政の改善を求める意見書
●新たな「食料・農業・農村基本法」の制定を求める意見書
(以上、全会一致) ●は2月28日議決
●医療保険制度の抜本改革に関する意見書
●女性が安心して働ける労働環境の整備を求める意見書
●個人所得税・住民税の2兆円減税の復活を求める意見書
●結婚制度等に関する民法改正を求める意見書
(以上、賛成多数)

採択請願

- 大型スーパー・売店計画に対する指導
●スーパー・売店計画に対する指導
●売店増床計画に対する指導
●洛西福祉事務所設置
●大岩街道周辺の野焼きの即時中止
●九条山地区の交通利便の向上(2件)

編集後記

これまで、「市民しんぶん」に掲載していただきました市会の活動状況を、このたび、市会独自の広報誌「京都市会だより」として、皆様にお届けすることになりました。今回は「創刊号」ですが、皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

京都市会事務局調査課 222-3697

この市会だよりは再生素紙を使用しています

京都市会だより

第2号

平成9年(1997)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3700



祭 園 紙

美化推進条例

を可決

5月定例会

5月定例会は5月20日から29日までの10日間開かれ、美化推進条例案(飲料容器の散乱の防止及び再資源化の促進に関する条例の全部改正案)など市長提出議案38件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

そのほか、市・区選挙管理委員と補充員、水防事務組合の議会議員の選挙を行い、意見書など議員提出議案7件も原案のとおり可決しました。

また、小川副議長の辞任に伴い、副議長の選挙を行った結果、中西賢治議員が選ばれました。

■定例会の経過

5月20日	本 会 議	会期の決定と市長の提案説明
23日	本 会 議	議案33件の議決と代表質問など
26日	常任委員会	請願の審査など
27日	本 会 議	副議長選挙と議案5件や意見書などの議決
29日	本 会 議	

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆飲料容器の散乱の防止及び再資源化の促進に関する条例の全部改正

都市の美化の推進、飲料容器の資源の有効な利用の促進のため、従来の空き缶条例を全面改正して、市民や事業者による美化活動への支援制度を創設し、散乱の原因となる投棄行為の禁止及び罰則規定を盛り込んだ条例に改めるものです。本年8月1日から施行する予定です。(賛成多数)

◆久多いきいきセンター条例の制定

高齢者が憩える場、地域福祉活動の拠点として左京区久多に「いきいきセンター」を設置するものです。本年9月オープンする予定です。(全会一致)

◆伝統的建造物群保存地区条例の一部改正

保存地区(産寧坂、祇園新橋、嵯峨鳥居本、上賀茂)内における建築物や工作物等の現状変更行為について、許可や協議を必要とする範囲を拡大することで規制を強化するものです。(全会一致)

就任あいさつ

副議長
中西 賢治



「地方分権

この度、第72代の副議長に選任されましたが、責務の重大さを痛感致しております。今、京都のまちは様々な課題を抱えており、来るべき21世紀を見据え、

「時代」にも十分対応し得る、豊かで活力と潤いのある京都のまちづくりを推進していくには、私ども市会の役割と使命は一層重要となっております。今後とも、京都市政の発展のため、誠心誠意努力致しますので、市民の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。(伏見区選出 4期 公明)

京都市会だより

第3号

平成9年(1997)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604 京都市中央区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3700



10月12日に開業した地下鉄東西線

市バス・地下鉄 水道・下水道・病院 (公営企業会計) 決算を認定

9月定例会

9月定例会は9月10日から10月9日までの30日間開かれ、市長提出議案48件を審議しました。地域水道の管理に関する条例案など43件を原案のとおり可決し、また、バス事業など公営企業会計の8年度決算5件は、2つの決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。
そのほか農業委員の推薦、意見書など議員提出議案15件も原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

平成9年度一般会計補正予算
補正総額は、8千7百万円で、まちの美化推進事業に要する経費などを補正するものです。(全会一致)

地域水道の管理に関する条例の制定
水の供給が困難な地域に浄水を供給するために設置する地域水道について、料金などの管理事項を定めるものです。(全会一致)
▽福祉事務所設置条例の一部改正、福祉地区及び福祉事務所設置条例の一部改正
深草総合庁舎を伏見区深草向畑町93の1に新築し、区役所支所、福祉事務所及び保健所

支所を移転するものです。
11月25日にオープンする予定です。(全会一致)

第二再資源化中間処理施設(仮称)新設工事などの請負契約
空き缶、空きびん、ペットボトルの選別、圧縮加工を行い、再資源化を図る2つ目の中間処理施設などを、伏見区横大路千両松町に新設するための工事契約を行うものです。(全会一致)

公営企業会計決算概要

○全会一致、○賛成多数

◎病院事業
診療収入は、前年度に比べ1億9千2百万円増加して、11億5千4百万円となり、一般会計からの繰入金29億5千7百万円などを加えた収入総額は、14億7百万円で、支出総額と同じ収支均衡の決算となっています。

◎水道事業
収入は33億5千8百万円、支出は32億9千6百万円、料金改定などにより9億6千2百万円の黒字となり、累積黒字は22億6千5百万円となりました。

◎公共下水道事業
収入は32億5千7百万円、支出は30億8千

用経費、経常収入、経常支出、経常損失、営業収益、営業費用
主たる営業活動から生じる、運用収入などが営業収益、燃料費などが営業費用です。また受取利息などが営業外収益、支払利息などが営業外費用です。営業収益、費用と営業外収益、費用を合わせて経常収入、費用となります。経常収入、支出の黒字は経常黒字、赤字は経常損失と書きます。

5百万円で、料金改定などにより、4年振りに11億7千2百万円の黒字となり、累積の赤字は70億5千万円となりました。

◎自動車運送(バス)事業
経常収入は36億2千万円、経常支出は35億8千2百万円で、運賃改定や一般会計からの繰入れがあったものの、経常損失は9億9千百万円と厳しい経営状況です。

◎高速鉄道(地下鉄)事業
経常収入は12億8百万円、経常支出は22億8千百万円で、初めて営業収益が営業費用を上回りましたが、経常損失は80億7千3百万円と、厳しい経営状況にあります。

京都市会だより

第4号

平成10年(1998)

2月1日発行

●発行/京都市会

●編集/市会事務局

●〒604-8571 京都市中京区中町西側上る

●TEL.075(222)3700

FAX.075(222)3713

平成8年度一般会計決算を認定

幹部職員不祥事の原因究明や
バス路線の早期見直しに関する決議などを可決



新しく整備された市庁舎前広場

京都市会だより編

11月定例会

11月定例会は11月7日から12月12日までの36日間開かれ、市長提出議案56件を審議しました。平成9年度一般会計補正予算案など36件を原案のとおり可決するとともに、平成8年度一般会計決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。そのほか、副市長(鷹田守弘氏)の再任と人権擁護委員の推薦5件に同意しました。また、意見書など議員提出議案12件も原案のとおり可決しました。

なお、幹部職員による不祥事について、初日の11月7日の本会議で、冒頭に榎本市長の陳謝があり、本会議や委員会を通して原因や抜本的防止策などについて議論し、原因の徹底究明や抜本的な防止策を求める決議を行いました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

平成9年度一般会計補正予算
補正総額は12億9千万円で、道路や新規清掃工場など公共事業に要する経費、職員の給与増定経費などを補正するものです。なお、補正後の一般会計予算額は7千136億3千4百万円で(全会一致)です。

京都市高速鉄道を宇治市の区域内に設置することに関する協議
地下鉄東西線を宇治市の区域内へ延伸するため、宇治市と協議することについて市会の議決を求めたものです。(全会一致)

文化財保護法により天然記念物に指定されている深泥池の生物群集を保存するため、その土地の一部を買い入れるものです。(全会一致)

京都市教職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定
退職後、在職期間中の行為に関し連補などされた市職員及び教職員の退職手当の一時差止め、期末・勤続手当の一時差止め、不支給制度の

平成8年度一般会計歳入歳出決算の概要



京都市会だより

第5号

平成10年(1998)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区布町西陣池上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



南禪寺水路閣
京都市は今年百廿100周年を迎えましたが、この水路閣は明治維新後の府政に代表を取り戻すための事業の一つとして建設された治水の一環で、観光名所にもなっています。

総額1兆5千788億円の 平成10年度当初予算を可決

2月定例会

2月定例会は2月19日から3月23日までの35日間開かれ、市長提出議案102件を審議しました。平成9年度一般会計補正予算案など35件を原案のとおり可決するとともに、平成10年度一般会計予算案など予算19件とその関連議案20件の計39件については、2つの予算特別委員会を設置して審議し、すべて可決しました。そのほか、副市長(増田優一氏)の選任、京都市監査委員の選任2件、京都市固定資産評価審査委員会委員の選任4件、京都市公安委員会委員の推薦にそれぞれ同意するとともに、水防事務組合の議会議長の選挙を行いました。

また、意見書など議員提出議案9件も原案のとおり可決するとともに、市会運営委員会、常任委員会、特別委員会の各委員を選任しました。(監査委員名及び各委員会委員名は4面に掲載しています。)

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

平成10年度一般会計予算案
一般会計の当初予算の規模は7千61億7千百万円となり、前年度当初予算に比べ48億1千4百万円、0.7%増となります。また、特別会計、公営企業会計を合わせた全会計合計では、1兆5千788億4千7百万円となり、前年度当初予算に比べ27億6千万円、1.5%増となります。

事務分掌条例の一部改正(組織の改正)

環境保健局環境安全室と清掃局を統合して「環境局」を新設し、環境保健局を「保健局」に改めます。また、文化市民局同相対策室を廃止する一方、人権文化の振興の企画、調整及び推進を担当する部署を同局に設置します。

国民健康保険条例の一部改正

保険料の最高限度額の50万円から32万円への改定などを行うものです。

平成9年度一般会計補正予算

補正総額は61億2百万円の減額補正で、公共事業に対する国の補助等が確定したことなどによる増減、自動車運送事業の経営健全化支援に要する経費などを補正するものです。なお、補正後の一般会計予算額は7千5億3千2百万円です。

■定例会の経過

日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
2月19日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
2月26日	本会議	代表質疑、予算特別委員会の設置と議案55件の議決など
2月27日~3月20日	予算特別委員会	予算などの審査
3月11日	常任委員会	議案の審査など
3月23日	本会議	議案39件や副市長の選任、意見書などの議決や委員会委員の選任など

平成10年度当初予算額(会計別)

会計別	10年度当初予算額	9年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	7,061億7,100万円	7,013億5,700万円	48億1,400万円	0.7
特別会計	5,679億2,900万円	5,324億9,400万円	353億3,400万円	6.6
小計	1兆2,739億9,900万円	1兆2,338億5,100万円	401億4,800万円	3.3
公営企業会計	3,048億4,800万円	3,222億3,600万円	△173億8,600万円	△5.4
病院事業	171億9,200万円	162億3,100万円	9億1,100万円	5.6
水道事業	825億9,200万円	855億5,600万円	△28億7,400万円	△4.4
公共下水道事業	1,129億5,500万円	1,171億3,300万円	△42億8,800万円	△3.6
自動車運送事業	369億5,200万円	388億3,400万円	△18億8,200万円	△4.4
高速鉄道事業	750億6,700万円	845億7,200万円	△95億0,500万円	△11.2
合計	1兆5,788億4,700万円	1兆5,560億8,700万円	227億6,000万円	1.5

京都市会だより

第6号

平成10年(1998) 7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通藤屋上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



チンチン電車と旧二条駅舎

京都市は本年自治100周年を迎えました。チンチン電車は明治時代に日本最初の電車として開業しました。現在、梅小路公園で当時の姿に復元されて走っています。また旧二条駅舎も明治37年に建てられましたが、梅小路蒸気機関車館に移され活用されています。

クリーンセンター(東部、南部)の

ダイオキシンの対策を強化

(平成10年4月から、清掃工場をクリーンセンターに改称しました)

5月定例会

5月定例会は5月8日から19日までの12日間開かれ、市長提出議案76件を審議しました。東部クリーンセンター、南部クリーンセンター第一工場、第二工場整備工事(焼却炉等整備工事)請負契約の締結など70件を原案のとおり可決するとともに、固定資産評価員の選任、監査委員の選任、人権擁護委員の推薦4件にそれぞれ同意しました。

そのほか、意見書など議員提出議案2件も原案のとおり可決しました。

また、中西賢治副議長の辞任に伴い、副議長の選挙を行った結果、宇都宮壮一議員が選ばれました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

なお、竣工は平成11年3月の予定です。

(全会一致)

■定例会の経過

5月 8日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
13日	本会議	議案69件の議決と代表質問など
14日 15日	常任委員会	請願の審査など
19日	本会議	副議長選挙と議案7件や意見書などの議決

基本構想等審議会条例の制定
本市の総合的、計画的な行政の運営を図るための基本構想やこれを具体化するための基本的な施策や事業に関する計画について、市長の諮問に応じ、調査・審議する基本構想等審議会を設置するものです。(全会一致)

東部・南部クリーンセンター整備工事請負契約の締結
焼却炉などから排出されるダイオキシン類を削減することを目的として、東部クリーンセンター、南部クリーンセンター第一、第二の三施設の整備工事を行うものです。(全会一致)

京都市幼児教育センター(仮称)及び幼稚園新築工事請負契約の締結
子育ての不安や悩みを抱える親たちを支援するための中核施設として、相談・研究・研修・情報発信の機能を備え、幼稚園・保育所、国公私立の垣根を越えた取組を行い、中京区5園の統合幼稚園も併設した「幼児教育センター」を平成12年1月の開館を目指し、中京区竹間小学校跡地に新設するための工事を行うものです。(全会一致)

就任あいさつ

副議長
宇都宮 壮一



この度、第73代の副議長に就任いたしました。市長の補佐役として、その責務の重さに身の引き締まる思いです。

本年は京都市にとって自治100周年の記念すべき年ですが、本格的な「地方の時代」を迎え、私も市会の一層重要性を増し、

(右京区選出 5期 都みらい)

京都市会だより

第7号

平成10年(1998) 11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8371 京都市中京区寺町通堀上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



③ 四ノ宮船溜上流

② 第1トンネル入口

① 疏水取入口

④ 四ノ宮船溜

⑥ みやごめっせ周辺

⑤ 十号橋(御陵黒岩)上流

⑦ 若王子橋下流

琵琶湖疏水

京都市は本年自治100周年を迎えました。琵琶湖疏水は、東京遷都後の京都に元氣を取り戻すため、先人たちが自ら経営を担うなど幾多の困難を克服して建設され、今も「京都のいのちの水」として、貴重な財産となっています。

市バス・地下鉄(公営企業会計)決算を認定 水道・下水道・病院

9月定例会

9月定例会は9月10日から10月8日までの29日間開かれ、市長提出議案50件を審議しました。乳幼児医療費支給条例の改正案など41件を原案のとおり可決し、また、バス事業など公営企業会計の9年度決算5件は、2つの決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。そのほか名誉市民の表彰2件、人事委員会委員、教育委員会委員の選任にそれぞれ同意しました。また意見書など議員提出議案6件も原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

開催日	委員会	審議内容
9月10日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
9月17日 18日	本会議	議案41件の議決、決算特別委員会の設置と代表質問など
9月17日～ 10月7日	決算特別委員会	各公営企業会計の決算の審査
9月29日～ 10月2日	常任委員会	請願の審査など
10月8日	本会議	決算の認定と名誉市民の表彰、意見書などの議決

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。
一 一般会計補正予算
補正総額は初年度9千2百万円、道路、公園整備など公共事業に要する経費や中小企業金融対策預託金などの景気対策に要する経費などを補正するものです。なお、補正後の一般会計予算額は7千33億6千3百万円です。(全会一致)

創業支援工場条例の制定
産業の振興・発展を図るため、優れた新しい技術を有する方の創業を支援するための施設整備を目的として、条例を制定しました。(全会一致)

公立病院の運営費負担割合の一部改正
乳幼児医療費支給条例の改正
東山区総合庁舎新築工事請負契約の締結
東山区総合庁舎(仮称)などを併設した「東山区総合庁舎」を東山区清水五丁目に新築するための工事の契約を行うものです。(全会一致)

公営企業会計決算概要
○余会一致 ○賛成多数
診療収入は、前年度に比べ7千9百万円増加して、12億8千8百万円となり、一般会計からの繰入金25億9千万円を加えた収入総額は49億2千6百万円、支出総額と同じ収支均衡の決算となっています。

水道事業
料金改定の暫定措置の終了による水道料収入の増加により収入は39億3千2百万円、支出は39億9千8百万円で、9億3千4百万円の黒字となり、累積黒字は31億4千9百万円となりました。

公共下水道事業
使用料の暫定措置の終了などによる使用料収入の増加により収入は59億9千万円、支出は59億9千万円となり、収支均衡の決算となりました。

烏丸線の延伸や東西線の開業による旅客収入などの増加により経常収入は17億5千万円となり、経常損失は17億5千4百万円となり、累積赤字は28億6千2百万円となりました。

経常収入・支出は、企業が通常の営業活動を継続して行っていく際に生じる収入及び支出で、その黒字は経常利益、赤字は経常損失と言います。

京都市会だより

第8号

平成11年(1999)

2月1日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



産寧坂(伝統的建造物群保存地区)

環境影響評価条例を可決

11月定例会は11月13日から12月16日までの34日間開かれ市長提出議案59件を審議しました。環境影響評価等に関する条例案(環境アセスメント条例案)など34件を原案のとおり可決するとともに、平成9年度一般会計決算など決算14件については、決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。そのほか人事委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、土地利用審査委員会委員の任命7件、人権擁護委員の推薦2件にそれぞれ同意しました。

また、意見書など議員提出議案4件も原案のとおり可決しました。

なお、初日の11月13日の本会議の冒頭、10月22日に逝去された安孫子隆秀議員に対する追悼演説を行いました。

11月定例会

■定例会の経過

開催日	開催場所	議題
11月13日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
11月19日	本会議	議案26件の議決、決算特別委員会の設置と代表質問など
11月19日~12月15日	決算特別委員会	一般会計などの決算の審査
12月4日	常任委員会	請願の審査など
12月9日	常任委員会	請願の審査など
12月10日	常任委員会	請願の審査など
12月16日	本会議	決算の認定と議案8件や人事委員会委員の選任、意見書などの議決

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

平成9年度一般会計歳入歳出決算
歳入は7千46億9千8百万円に対し、歳出は6千87億7千百万円となり、形式収支は7億2千7百万円の黒字となりますが、翌年度に繰り越しが必要な財源が6億7千7百万円あり、実質的収支は8億5千7百万円の黒字です。しかし財源として活用できる基金の残高がほとんどなくなるなど、今後一層厳しい財政運営を余儀なくされる見通しです。

平成10年度一般会計補正予算(2件)
補正総額は52億3千5百万円で、道路、公園などの災害復旧に要する経費、職員の給与改定経費などを補正するものです。なお、補正後の一般会計予算額は7千58億9千8百万円です。

平成9年度一般会計歳入歳出決算の概要



環境影響評価等に関する条例の制定
環境の保全について適正な配慮を確保し、市民の健康で文化的な生活の確保に資するため、道路建設など規模が大きく環境へ著しい影響を及ぼすおそれがある事業について、環境影響評価などを適切に円滑に行うための手続きを定めるものです。これにより事業実施に当たり、前もって環境への影響を調査・予測・評価し、結果を事業に反映させる措置を採り、また事業の施行中や完了後にも調査を行うこととなります。

なお、本条例には「事業者の積極的な情報提供、事業や環境影響評価の内容の十分な説明・周知を指導すること」をはじめ6個の付帯決議を付けました。(全文一略)

京都市会だより

第9号

平成11年(1999)

5月1日発行

●発行/京都市会

●編集/市会事務局

●〒614-8571 京都市中京区寺町通御膳上

●TEL.075(222)3700

FAX.075(222)3713



上賀茂地区の明神川沿いの社家(伝統的建造物群保存地区)

総額1兆5千837億円の 平成11年度当初予算を可決

2月定例会

2月定例会は2月19日から3月16日までの26日間開かれ、市長提出議案109件を審議しました。平成10年度一般会計補正予算案など70件を原案のとおり可決するとともに、平成11年度一般会計予算など予算案19件とその関連議案19件の計38件については、二つの予算特別委員会を設置して審議し、すべて可決しました。そのほか、収入役(松井珍男子氏)の選任に同意しました。

また、委員会条例や意見書など議員提出議案7件も原案のとおり可決しました。

3月16日の本会議では、この任期限りで勇退する議員にはなむけの言葉が贈られました。(関連記事を4面に掲載)

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

- ◆平成11年度一般会計予算案ほか
一般会計の当初予算の総額は7千8億2千9百万円となり、前年度当初予算に比べ136億5千8百万円、1.9%増となりました。また、特別会計、公営企業会計を合わせた合計では、1兆5千837億8千4百万円となり、前年度当初予算に比べ48億3千7百万円、0.3%増となりました。(全会一致又は賛成多数)
- ◆外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定
地方自治体自身のチェック機能を強化するため、弁護士や公認会計士、税理士などと契約を結び外部監査を受ける制度が地方自治法の改正により設けられたので、市で実施するための必要事項を定めるものです。(全会一致)
- ◆生活安全条例の制定
地域での犯罪や事故を未然に防止するため、市、事業者や市民が果たすべき責務を明らかにし、安全の確保に関する施策を総合的、計画的に推進することで、市民や観光旅行者などが安心して生活し、滞在できる安全な地域社会の実現を図るものです。(賛成多数)
- ◆中高層建築物等の建築に係る住環境の保全及び形成に関する条例の制定
中高層マンションなどの建築に関し、紛争の予防や解決を図るため、建築主などが配慮すべき事項、建築計画の周知手段、関係当事者間の紛争の調整や調停に関する手続などを定めるものです。(全会一致)

■平成11年度当初予算額(会計別)

会計別	11年度当初予算額	10年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	7,198億2,900万円	7,061億7,100万円	136億5,800万円	1.9
特別会計	5,658億5,100万円	5,678億2,800万円	△119億7,700万円	△2.1
小計	1兆2,756億8,000万円	1兆2,739億9,900万円	16億8,100万円	0.1
公営企業会計	3,080億0,400万円	3,048億4,800万円	31億5,600万円	1.0
病院事業	160億0,800万円	171億9,200万円	△11億9,400万円	△6.9
水道事業	599億1,700万円	626億8,200万円	△28億6,500万円	△4.6
公共下水道事業	1,209億5,800万円	1,129億5,500万円	79億0,300万円	7.0
自動車運送事業	349億3,100万円	369億5,200万円	△20億2,100万円	△5.5
高速鉄道事業	783億9,000万円	750億6,700万円	13億2,300万円	1.8
合 計	1兆5,836億8,400万円	1兆5,788億4,700万円	48億3,700万円	0.3

■定例会の経過

日	会 議	会期の決定と市長の提案説明
2月19日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
2月25日	本会議	代表質疑、予算特別委員会の設置と議案69件の議決など
2月26日	本会議	代表質疑、予算特別委員会の設置と議案69件の議決など
2月26日	予算特別委員会	予算などの審査
3月8日	常任委員会	議案の審査など
3月10日	常任委員会	議案の審査など
3月11日	常任委員会	議案の審査など
3月16日	本会議	議案39件や収入役の選任、意見書などの議決など

本号は保存版として活用して下さい

新世紀をめざして!

より身近で、開かれた市会の実現に向けて 新市会がスタートしました



京都市会だより編

新市会の発足にあたって



京都市会副議長
二之湯 智



京都市会副議長
山口 幸秀

4月11日に行われた京都市議会議員選挙で72人の議員が決まり、新しい京都市会が発足いたしました。私たちは、五月市会定例会で、第六十九代の市会議長並びに第七十四代の市会副議長に

選出され、その責務の重大さを痛感しているところですが、本格的な「地方の時代」を迎え、市会の役割と使命は一層重要性を増しつつあり、市民の皆様への責任にこたえるためにも、私たち議員は更なる自己研鑽に努め、市会の改革と活性化を進めていかなければなりません。京都市は今、厳しい財政状況のもと、少子高齢社会に対応した福祉施策の充実や経済の活性化など、様々な課題を抱え、大きな岐路に立っています。市会と市民の「距離」を縮めて、市民が主役の、豊かで活力と潤いのある京都のまちづくりを進めるとともに、来るべき21世紀をしっかりと見据え、京都市政の発展のため、誠心誠意努力してまいりますので、市民の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

新市会によせて



京都市長
桜 幸 親 兼

新たな世紀へとつながる新市会が発足いたしましたことを、心からお祝い申し上げます。今日、我が国は、経済社会のグローバル化、地球温暖化をはじめとする環境問題、少子・高齢化の急速な進行など、大きな変化の波に見舞われております。

このような激動の時代の中にあつて、本年は長引く不況の下での閉塞感から脱却し、21世紀の京都の将来、日本の将来に向けて、未来

への生命力を回復させる大切な年であると考えています。そのため、厳しい財政状況の中ではありますが、聖域なき市政改革を断行するなど、必要な財源の確保に努め、行政と市民とのパートナーシップの下、21世紀への飛躍のかけ橋として策定いたしました「もつと元気」に「京都アクションプラン」の総仕上げを行うとともに、本年秋には京都の新基本構想である「21世紀京都グランドビジョン」を策定し、「品格のある美しいまち・京都」、「活力に満ちた元気なまち・京都」を実現してまいります。もとより市民の代表である市会と行政は車の両輪であり、議員の皆様と協力して、京都のまちが「人が生きる舞台として光り輝くまち」であり続けるよう全力を傾けてまいります。



Portrait of a council member with name and district information.

山口 幸秀 (山口区) 山科区 民主・都みらい⑥

宇都宮 壯一 (右京区) 民主・都みらい⑥

高嶋 弘恵 (伏見区) 伏見区 ⑤

富山 京子 (山科区) 山科区 21 ⑤

高嶋 弘恵 (伏見区) 伏見区 ⑤

中西 賢治 (右京区) 右京区 ⑤

可児 達志 (上京区) 上京区 ⑦

今枝 徳蔵 (上京区) 上京区 ⑦

中西 正三 (中京区) 中京区 ⑦

小林 あきろう (南区) 南区 ⑦

梅林 等 (下京区) 下京区 ③

伊藤 義浩 (東山区) 東山区 ④

磯辺 寿子 (山科区) 山科区 ④

中野 竜三 (北区) 北区 ④

鈴木 マサホ (左京区) 左京区 ③

内海 貴夫 (山科区) 山科区 ③

大西 均 (左京区) 左京区 ③

宮本 徹 (右京区) 右京区 ④

大方 諒英 (西京区) 西京区 ③

谷口 弘昌 (伏見区) 伏見区 ③

白置 文章 (北公明区) 北公明区 ③

大道 義知 (南公明区) 南公明区 ③

安井 勉 (伏見区) 伏見区 21 ④

山口 勝 (左京区) 左京区 ②

柴田 章喜 (京喜区) 京喜区 ②

久保 省二 (京喜区) 京喜区 ②

安孫子 和子 (左京区) 左京区 ②

中村 十一 (伏見区) 伏見区 ②

石黒 利雄 (伏見区) 伏見区 ②

加地 浩 (北公明区) 北公明区 ②

竹内 上 (京喜区) 京喜区 ①

井上 教子 (京喜区) 京喜区 ①

小川 ひろき (伏見区) 伏見区 ①

砂川 祐司 (伏見区) 伏見区 ①

田中 英之 (右京区) 右京区 ①

中之 英之 (右京区) 右京区 ①



京都市会議員クラブ 安富 井 勉 (2人)	京都市会議員団 山日中中谷竹高大柴久可井 口置西西口内嶋道田保児上 文正賢弘 弘義章省達教 勝章三治昌讓恵知喜二志子 (12人)	京都市会議員団 山宮中砂鈴小梅宇今石天 口本村川木林川林宮枝黒方 幸十祐マサホ ひろき 壯徳利晶和 秀徹一司ホ 等一 歳雄英子 (13人)
--------------------------	--	---

京都市会議員 を紹介します

4月11日の京都市会議員選挙で各区から72人の議員が選出されました。議員の任期は平成15年4月29日までの4年間です。

国枝克一郎 京区⑧ 上自 民
西脇 尚一 京区⑧ 下自 民
青木 善男 京区⑤ 左自 民
津田 幹雄 京区⑩ 中自 民
坂口 芳治 京区⑥ 伏見 産
井上 与一郎 京区⑥ 右自 民
川中 増次郎 京区⑥ 山自 民
高橋 泰一朗 伏見 区⑦
森 ます子 山共 産
藤原 冬樹 京区⑥ 右共 産
若宮 修 北共 産
山中 渡 京区④ 下共 産
山本 正志 京区④ 左共 産
三宅 誠孝 京区⑤ 左共 産
有吉 節子 京区⑦ 左共 産
巻野 渡 京区③ 左自 民
田中 セツ子 南自 民
加藤 広太郎 京区⑤ 右共 産
北山 ただお 京区⑤ 山共 産
河上 洋子 京区③ 上共 産
井坂 博文 北共 産
倉林 萌子 京区② 中共 産
佐藤 和夫 伏見 区② 産
橋村 芳和 伏見 区② 中自 民
加藤 盛司 京区③ 中自 民
繁 隆夫 伏見 区② 中自 民
せのお 直樹 京区② 西共 産
岩橋 ちよみ 京区② 右共 産
中村 かつみ 京区② 中自 民
西野 さち子 伏見 区① 中自 民
中村 三之助 京区① 上自 民
二之湯 京区④ 右自 民
井上 けんじ 南共 産
玉本 なるみ 北共 産
東山 洋子 東山 区① 中自 民

この表の見方

氏 名
選 出 区
会派(略称)、当選回数

会派の名称は次のとおりです

自 民=自由民主党京都市会議員団
共 産=日本共産党京都市会議員団
民主・都みらい=民主・都みらい京都市会議員団
公 明=公明党京都市会議員団
京 21=京都21市会議員クラブ

※議長席から見ると、議員はこのように着席しています

団 長	副 団 長	副 団 長	副 団 長	副 団 長	京都市会議員団	日本共産党
若山	山森	藤三	東原	西野	中村	玉本
せのお	佐藤	坂口	倉林	北山	河上	加藤
岩橋	井坂	井上	巻野	田中	中村	橋村
有吉	節子	節子	節子	節子	節子	節子

副 団 長	副 団 長	副 団 長	副 団 長	副 団 長	自由民主党	京都市会議員団
松本	中野	中野	中野	中野	中野	中野
中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野
中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野
中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野

会派の構成
五十音順

京都市会だより編

新しく決まった市会の役員

議長 二之湯 智
副議長 山口 幸秀

市会運営委員会(15人)

議会の運営が円滑に行われるよう、議事の順序、進め方などの市会の運営や会議規則、議長の諮問などに関する協議を行います。

委員長	川中 増次郎	委員	繁田 隆夫	委員	天方 晶	委員	英
副委員長	山田 中	委員	中坂 七	委員	方	委員	マ
委員	宇宮 浩	委員	井倉 明	委員	木口 弘	委員	サ
委員	加藤 盛	委員	藤原 冬	委員	山口 文	委員	ホ
		委員	藤原 冬	委員	山口 文	委員	昌
		委員	藤原 冬	委員	山口 文	委員	章
		委員	藤原 冬	委員	山口 文	委員	勝

※◎は理事で、理事による会議(理事会)で市会運営委員会の代行をすることがあります。

市会選出監査委員(2人)

監査委員	田知 雄志
監査委員	可児 達志

常任委員会

常設の委員会です。条例などの議案や請願・陳情の審査、事務の調査などを行います。

財政総務委員会(13人)	文教委員会(13人)
市政の総合企画、国際交流、財政、商工業、農林業、観光などについての審査、調査。 所管局 総合企画局、総務局、理財局、産業観光局など	文化、スポーツ、教育などについての審査、調査。 所管局 文化市民局、教育委員会
委員長 久西 保 副委員長 山本 正 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆 委員 伊藤 隆	委員長 磯 子 副委員長 天谷 英 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘 委員 井上 弘

特別委員会

特定の問題を審査するため、必要に応じて設け、その問題の審査が終了すると消滅します。また毎年、当初予算や決算には、予算(決算)特別委員会を設けて審査を行います。

環境保全対策特別委員会(12人)	郷土・観光産業振興対策特別委員会(12人)
審査事項 ・公害防止対策の促進に関する事。 ・産業廃棄物の不法投棄防止に関する事。	審査事項 ・伝統産業を中心とする郷土産業の振興と発展に関する事。 ・全国和装産地市町村協議会に関する事。 ・観光産業の育成に関する事。
委員長 小 林 副委員長 井 上 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田 委員 坂 田	委員長 倉 林 副委員長 加 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤 委員 今 藤

厚生委員会(13人)	建設消防委員会(13人)
環境、美化、社会福祉、保健衛生などについての審査、調査。 所管局 環境局、保健福祉局	都市計画、住宅、道路、公園、消防などについての審査、調査。 所管局 都市計画局、建設局、消防局
委員長 河 上 副委員長 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中 委員 高 中	委員長 木 村 副委員長 橋 本 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤 委員 佐 藤

防災・市庁舎建設対策特別委員会(12人)	地方分権推進等特別委員会(12人)
審査事項 ・大規模災害時に有効かつ迅速な対応を行うための総合的な防災体制の充実に関する事。 ・本庁舎の建設促進に関する事。	審査事項 ・地方分権の推進に関する事。 ・自主財源、大都市税財源の拡充に関する事。
委員長 有 吉 副委員長 加 地 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内 委員 日 内	委員長 柴 田 副委員長 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野 委員 中 野

交通水道委員会(20人)	
市バス、地下鉄、水道、下水道についての審査、調査。 所管局 交通局、水道局、下水道局	
委員長 大 西 副委員長 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林 委員 北 林	委員長 坂 口 副委員長 三 宅 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮 委員 若 宮

介護保険制度特別委員会(12人)	道路交通網整備対策特別委員会(12人)
審査事項 ・介護保険制度の施策の充実に関する事。	審査事項 ・地下鉄東西線の西伸に関する事。 ・道路網の整備に関する事。
委員長 津 田 副委員長 井 山 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口 委員 山 口	委員長 岡 本 副委員長 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北 委員 高 北

市会の部屋の配置が換わります



予算・決算特別委員会

普通予算(決算)特別委員会(48人)	公営企業予算(決算)特別委員会(24人)
公営企業予算(決算)特別委員会で審査するもの以外の予算・決算とその関連議案を審査	病院、水道、下水道、バス、地下鉄の予算・決算やその関連議案を審査
委員長 慈 野 副委員長 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村 委員 中 村	委員長 三 宅 副委員長 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村 委員 西 村

審査は分科会を設置して行うこととしています。

京都市会だより

第10号

平成11年(1999)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御土上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



嵯峨鳥居本(伝統的建造物群保存地区)

京都芸術センターの 設置条例を可決

5月定例会

市会議員選挙後、初めての市会である5月定例会は5月18日から28日までの11日間開かれま

した。
正副議長の選挙、特別委員会の設置、各委員会の委員及び正副委員長の決定など、新しい市会の構成を決めた後(特集号参照)、京都芸術センター1条例案や人権擁護委員の推薦など市長提出議案63件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案である意見書1件も原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆京都芸術センター条例の制定

本市芸術家などが連携し、本市における芸術を総合的に振興するため、芸術活動の支援、芸術情報の発信及び芸術を通じた交流を図るための施設を中京区室町通新堀下る山伏山町に設置するもので、12年4月に開所する予定です。(全会一致)



京都芸術センターに生まれ変わる元明倫小学校

◆子育て支援総合センター(子どもみらい館)条例の制定

乳幼児の健やかな育成を図るため、子育て支援を図るため、子育て支援について、事業を総合的に行う中核施設を中京区西之町通竹屋町下る桶町に設置するもので、12年1月に開館する予定です。(全会一致)



完成予想図

◆介護認定審査会条例の制定

12年4月からの介護保険制度の実施に向け、11年10月から要介護認定の申請受付を開始する必要があります。審査認定業務を行う介護認定審査会(関)し必要な事項を定めるものです。(全会一致)

市会の情報公開を検討

地方分権がいよいよ実施段階を迎えようとしている中、議会の果たすべき役割がますます重要になってきています。京都市会では、より開かれた市会とするため、市会の情報公開について、市会運営委員会の下、京都市会情報公開検討小委員会を設置し、検討を進めることとしました。

■定例会の経過

5月18日	本会議	会期と議席の決定
24日	本会議	正副議長選挙、常任・特別委員会の選任と市長の提案説明
28日	本会議	議案38件や人権擁護委員の推薦、意見書の議決など

京都市会だより

第11号

平成11年(1999)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



伏見南浜地区(界わい景観整備地区)

市バス・地下鉄 水道・下水道・病院 (公益企業会計)決算を認定

各企業の健全な経営に向け活発な議論

9月定例会

9月定例会は9月2日から10月6日までの35日間開かれ、市長提出議案43件を審議しました。美術館条例の全部改正案など37件を原案のとおり可決するとともに、病院事業など10年度公営企業会計決算5件については、決算特別委員会を設置して審査し、すべて認定しました。そのほか、監査委員の選任に同意しました。また、議員提出議案である意見書5件も原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

日	本会議	会期の決定と市長の提案説明
9月2日	本会議	議案35件の議決、決算特別委員会の設置と代表質問など
9月9日 10日	本会議	決算特別委員会
9月10日～ 10月5日	決算特別委員会	各公営企業会計の決算の審査
9月29日 30日	常任委員会	議案の審査など
10月6日	本会議	決算の認定と議案2件や監査委員の選任、意見書などの議決

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆京都市美術館条例の全部改正
美術館の展示機能を充実させるため、左京区岡崎の京都市美術館別館を改修し、美術館の別館を新たに設置するものです。12年4月中旬に開館する予定です。(全会一致)

◆石京文化会館(仮称)新築工事請負契約の締結
舞台付多目的ホールや創造活動室などを備えた石京文化会館(仮称)を右京区太秦安井西裏町に新築するための工事の契約を行うもので

〔公益企業会計決算概要〕

(全会一致、賛成多数)

●病院事業
診療収入は109億7千万円(対前年度比2.3%の減)となりましたが、一般会計からの繰入金27億7千万円などを加えた収入総額は140億9千万円で、支出総額と同じ収支均衡の決算となっております。

●水道事業

水道使用量の減少による料金収入の減少により収入は37億5千8百万円(対前年度比2.8%の減)となりましたが、支出は33億3百万円で、3億2千5百万円の黒字となり、累積黒字は34億4百万円となりました。

●公共下水道事業

汚水量の減少による使用料収入の減少により収入は50億8千5百万円(対前年度比1.3%の減)となりましたが、支出は50億2千3百万

円です。完成は13年5月の予定です。(全会一致)

◆西京極総合運動公園プール棟新築工事請負契約の締結
国際大会などの競技が開催でき、また、市民の健康増進を図る場となるプール棟を阪急電鉄京都線南側の西京極総合運動公園拡張区域に新築するための工事の契約を行うものです。完成は14年夏頃の予定です。(全会一致)

9年度東西線の開業による運送収入などの増加により経常収入は20億6千6百万円(対前年度比16.3%の増)となりましたが、経常支出は49億6千5百万円で、28億9千9百万円の赤字となり、累積赤字は1千99億4千3百万円となりました。

●自動車運送(バス)事業
旅客数の減少による運送収入の減少などにより経常収入は23億5千2百万円(対前年度比15.9%の減)、経常支出は22億5千6百万円で、19億4百万円の赤字となり、累積赤字は50億9千9百万円となりました。

●高速鉄道(地下鉄)事業
9年度東西線の開業による運送収入などの増加により経常収入は20億6千6百万円(対前年度比16.3%の増)となりましたが、経常支出は49億6千5百万円で、28億9千9百万円の赤字となり、累積赤字は1千99億4千3百万円となりました。

●経常収入・支出
経常収入・支出は、企業が通常の営業活動を継続して行っていく場合に生じる収入及び支出です。

京都市会だより

第12号

平成12年(2000)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通朝倉上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



祇園新橋地区(伝統的建造物群保存地区)

京都市会だより編

21世紀・京都のまろくろの指針となる 京都市基本構想を可決

—平成10年度決算を認定—

11月定例会

11月定例会は11月16日から12月17日までの32日間開かれ、市長提出議案71件を審議しました。このうち、基本構想案については、財政総務委員会に付託して審議し、原案のとおり可決するとともに、10年度一般会計歳入歳出決算など決算15件については、決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。また、11年度一般会計補正予算案など議案55件についても原案のとおり可決しました。

そのほか、意見書など議員提出議案2件も原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆京都市基本構想の策定

21世紀における京都のランドビジョンとなる新しい基本構想を策定するものです。京都が進むべき方向性、すなわち「京都の選択」を市民の視点から明らかにしたもので、くらしに安らぎがあり、まちに華やきがある21世紀の京都を築いていこうとするものです。(全会一致)

◆平成10年度一般会計歳入歳出決算

歳入総額は7千385億8千2百万円に対し、歳出総額は7千412億9千百万円、収支は12億9千百万円の黒字となりますが、昨年度に繰り越すべき財源が136億3千4百万円ある中で、実質的収支は6億6千7百万円の黒字です。しかし、脆弱な財政基盤の本市財政は、多

額の市債残高を抱え、財源対策として使える基金残高が底を突くなど、厳しい状況です。

◆平成11年度一般会計補正予算案(2件)

補正総額は21億8千8百万円で、少子化対策臨時交付金事業や緊急雇用特別補助金事業の実施に要する経費、職員給与改定経費などを補正するものです。なお、補正後の一般会計予算額は7千412億7百万円です。(全会一致)

◆少子化対策事業基金条例の制定

本市が行う子育ての支援など出生率の向上に役立つ事業の実施に必要な財源に充てるため、少子化対策事業基金を設置するものです。(全会一致)

◆市会独自の補助金条例を制定へ

市会運営委員会は、11年6月に情報公開検討小委員会を設置し、市会の情報公開の在り方について、積極的に検討を重ねるとともに、先進都市への調査や学識経験者の意見聴取などを行ってまいりました。これらの取組を踏まえ、昨年12月の市会運営委員会では、公文書公開の制度化に当たっては、「市会独自の条例を制定する。5月市会への提案を旨とする」との小委員会の中間報告を了承しました。併せて、公文書の公開以外にも、議会の中間報告や議会情報の提供など、開かれた市会の実現を目指して検討を進めることとしました。



市会運営委員会での学識経験者の意見聴取

■定例会の経過		
11月16日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
11月25日 26日	本会議	議案42件の議決、決算特別委員会の設置と代表質疑など
11月25日～ 12月16日	決算特別委員会	一般会計などの決算の審査
12月9日 13日 16日	常任委員会	請願や付託議案の審査など
12月17日	本会議	決算15件の認定と議案14件や意見書などの議決

京都市会だより

第13号

平成12年(2000年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区西町通御池上る
●TEL 075(222)3700
●FAX 075(222)3713



石碓小路(伝統的建造物群保存地区(嵐山地区))

総額1兆6千157億円の 平成12年度当初予算を可決

3月定例会は3月2日から3月30日までの29日間開かれ市長提出議案149件を審議しました。

3月定例会

このうち、平成12年度一般会計予算など予算案19件とその関連議案27件については、二つの予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決するとともに、職員の新任用に関する条例案など議案4件については財政総務委員会に、都市計画審議会条例案については建設消防委員会に、それぞれ付託して審議し、原案のとおり可決しました。また、平成11年度一般会計補正予算案や副市長の選任2件(中谷祐一氏「再任」、高木壽一氏「新任」)や監査委員の選任など議案98件についても原案のとおり可決しました。

そのほか、意見書など議員提出議案5件も原案のとおり可決するとともに、市会運営委員会、常任委員会、特別委員会の各委員を選任しました。

(監査委員名及び各委員会委員名は4面に掲載しています。)

■定例会の経過

日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
3月2日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
3月6日～11日	本会議	代表質疑、議案(87件)の議決と予算特別委員会の設置など
3月11日～29日	予算特別委員会	一般会計予算案など付託議案の審査
3月24日～27日	常任委員会	付託した議案や請願の審査など
3月30日	本会議	議案(62件)や請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆平成12年度一般会計予算案と19会計予算
一般会計の12年度当初予算の規模は7千799億9千2百万円となり、前年度当初予算に比べ18億3千7百万円、0.3%減となりました。また、特別会計、公営企業会計を合わせた合計では、1兆6千157億9千9百万円となり、前年度当初予算に比べ33億7千5百万円、2.0%増となりました。(全会一致又は賛成多数)

◆大学のまち交流センター条例の制定

大学での学術研究の成果や知的資産を活用することにより豊かな地域社会の形成に役立てるため、大学間や大学と産業界、地域社会などの間の連携・交流を促進する活動の拠点施設として京大東洋校通七条下二丁目東塩小路町(京大駅ビル別荘駐車場西側)に設置するものです。(全会一致)

◆市職員の倫理の保持に関する条例の制定

議員の職務についての倫理の保持に役立てるため必要な措置を講じること、職務の執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為を防止するとともに、議員の倫理観の高揚を図り、公務に対する市民の信頼を確保するためのもです。(全会一致)

◆介護保険条例の制定

介護保険法と介護保険法施行令で定まっているもののほか、市が行う介護保険について、保険料の額やその徴収に関する必要事項を定めるものです。(賛成多数)

平成12年度当初予算額(会計別)

会計別	12年度当初予算額		11年度当初予算額		対前年度比較	
	金額	単価	金額	単価	金額	単価
一般会計	7,179億9,200万円		7,198億2,900万円		△18億3,700万円	△0.3
特別会計	5,931億8,100万円		5,558億5,100万円		373億3,000万円	6.7
小計	1兆3,111億7,300万円		1兆2,756億8,000万円		354億9,300万円	2.8
公営企業会計	3,045億2,600万円		3,080億400万円		△34億7,800万円	△1.1
病院事業	157億3,300万円		160億800万円		△2億7,500万円	△1.7
水道事業	553億4,500万円		599億1,700万円		△14億7,100万円	△2.5
公共下水道事業	1,181億3,000万円		1,208億5,800万円		△27億2,800万円	△2.3
自動車運送事業	324億5,200万円		349億3,100万円		△24億7,900万円	△7.1
高速鉄道事業	798億6,500万円		763億9,000万円		34億7,500万円	4.5
合計	1兆6,156億9,900万円		1兆5,836億8,400万円		320億1,500万円	2.0

京都市会だより

第14号

平成12年(2000年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通南条上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



賀茂川(賀茂川) [北山大橋上流]

「開かれた市会」を目指して 京都市会情報公開条例を可決

5月定例会

5月定例会は5月15日から25日までの11日間開かれ市長提出議案70件を審議しました。

このうち、土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例案と自転車等放置防止条例の一部改正案については、建設消防委員会に付託して審議し、原案のとおり可決するとともに、平成12年度国民健康保険事業特別会計補正予算案や監査委員の選任など議案68件についても原案のとおり可決しました。

また、「開かれた市会」を目指した京都市会情報公開条例案や意見書など議員提出議案3件も原案のとおり可決しました。

更に、山口幸秀副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行った結果、今枝徳蔵議員が選ばれました。

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例の制定

一定規模以上の開発事業市街化区域内で土地の面積が1万平方メートル以上又は1千平方メートル以上の集客施設を含むものについて、構想段階での届出を義務付け、市民と事業者と市が十分な協議を行う手続きなどを定めたものです。この手続きを通じて、開発事業の構想をよりよいものに、良好なまちづくりの推進を図ります。(賛成多数)

◆自転車等放置防止条例の一部改正

放置原動機付自転車の撤去及び保管の実施

この度、第75代の副議長に就任致しましたが、議長の補佐役として、その責務の重大さを痛感致しております。



就任あいさつ

副議長
今枝 徳蔵

京都市が、厳しい財政状況の中、来るべき21世紀を見据え、光り輝く「千年新部」の創造を

目指し、豊かで活力と潤いのある京都のまちづくりを推進していくには、私ども市会の果たす役割が、一層重要であります。市会の代表として、京都市会情報公開条例施行をはじめとした「開かれた市会」の実現と京都市政の発展に向けて、本音で、本気で誠心誠意努力してまいりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。(下京区選出 5期 民主部みらい)

■定例会の経過

5月15日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
5月17日	本会議	代表質問や議案(58件)の議決など
5月18日 19日 24日	常任委員会	付託した議案や請願の審査など
5月25日	本会議	副議長の選挙と議案(12件)、市会情報公開条例案、意見書や請願の議決など

京都市会だより

第15号

平成12年(2000年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●TEL 075(222)3700
●TEL 075(222)3713
●FAX 075(222)3713

水道料金改定議案を修正可決

市会は、9月定例会に提案された上下水道料金などの改定議案について、水道委員会に付託し、慎重に審議を行いました。(関連記事は4面にも掲載)



西陣の京町家(美観地区 第2種地域)

9月定例会

9月定例会は9月6日から10月11日までの36日間開かれ、病院長提出議案66件を審議しました。このうち、病院長提出議案66件を審議しました。決算5件については、決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。また、上下水道料金などの料金改定議案3件と京都高速道路新十条通の基本計画の変更に関する議案1件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議した結果、水道料金の改定議案は修正し、たうえて可決し、他の付託議案3件は原案のとおり可決しました。

市税条例の一部改正案など議案57件も原案のとおり可決しました。

そのほか、区選挙管理委員と補充員などの選挙を行うとともに、意見書や農業委員会委員の推薦など議員提出議案9件も原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の内容と結果は次のとおりです。

◆水道事業条例「公共下水道事業条例の一部改正」

原案は、平成13年4月1日から、水道料金を平均10.14%、下水道使用料を平均18.64%引き上げようとするものです。この水道料金の改定については改定時期を6箇月間延期する修正を行ったうえで、また下水道使用料の改定については原案のとおり、いずれも賛成多数で可決しました。これにより、水道料金は13年10月1日から、下水道使用料は同年4月1日から改定されることになりました。

なお、本市の伝統産業であり、水を多量に使用する染色業・減額対象分と、社会福祉施設に対しては、上下水道ともに、14年3月31日

公共企業会計決算概要

◆病院事業
総収入は、10億9千万円(対前年度比1.1%の増)となり、一般会計からの繰入金28億5千万円などを加えた収入総額は12億3千万円、支出総額と同じ収支均等の決算となりました。(全会一致で認定)

◆水道事業
水道使用量の減少による料金収入の減少などにより収入は29億6千万円(対前年度比2.4%の減)、支出は29億8千万円、2千6百万円の赤字となり、累積赤字は33億7千8百万円に減りました。(全会一致で認定)

◆公共下水道事業
有収汚水量の減少による使用料収入の減少などにより収入は57億6千4百万円(対前年度比2.9%の減)、支出は58億8千9百万円、6億2千5百万円の赤字となり、累積赤字は59億2千4百万円となりました。(全会一致で認定)

まで現行料金に据え置く措置を講ずることとしました。

◆京都市道高速道路1号線(新十条通)の基本計画の変更に関する協議

京都高速道路新十条通の一部工事施工区間について工法を変更する必要があることなどにより、新十条通と油小路線の建設に関する工事に要する費用の概算額を約1千700億円から約2千300億円に変更することについて、建設大臣から協議があったため、道路管理者となる市が、これに応じるに当たり、市会の議決を求めたものです。

なお、本議案については、賛成多数で可決したうえで1割の付帯決議を付けました。(付帯決議の内容は4面参照)

自動車運送(バス)事業

◆旅客数の減少による運送収入の減少などにより経常収入は26億6百万円(対前年度比0.2%の減)、経常支出は28億5千6百万円で、経常損失は2億9千万円となり、累積赤字は45億5千7百万円に増えました。(賛成多数で認定)

◆高速鉄道(地下鉄)事業
旅客数はほぼ前年度並みでしたが、国庫補助金の減少などにより経常収入は20億9千2百万円(対前年度比0.4%の減)、経常支出は45億3千万円で、経常損失は28億3千9百万円となり、累積赤字は千40億9千9百万円となりました。(全会一致で認定)

◆経常収入・経常支出
経常収入・経常支出は、企業が過激な営業活動を展開している(いわゆる「激しい」)個人・法人・支出の「JUNO」その業容は経常利益・赤字は経常損失(赤字)です。

定例会の経過

日	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
9月6日	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
9月8日	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
9月8日 ~10月11日	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会
9月8日 ~10月11日	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会
9月19日 20日	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
10月11日	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議

京都市会だより

第16号

平成13年(2001年)
2月15日発行

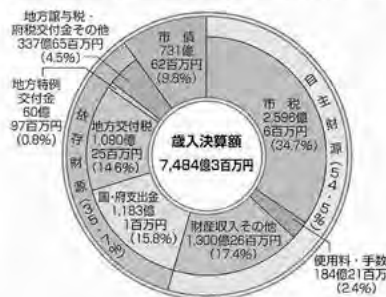
●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町清願寺上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713



東寺付近

京都市会だより編

平成11年度一般会計歳入歳出決算の概要



◆京都市青年の家条例の一部改正
本市の青少年施設を再編し、青少年活動の一層の振興を図るため、青少年活動センターを廃止し、同センターで行っていた事業を青年の家で行うとともに、青年の家の利用対象年齢を引上げようとするものです。(賛成多数)

◆平成11年度一般会計歳入歳出決算
歳入総額は7,484億3百万円となり、歳出総額は7,363億83百万円となり、収支は22億5千万円の黒字となりましたが、翌年度に繰り越すべき財源が1億1千5百万円あり、実質的収支は3億9千5百万円の赤字と

なりました。実質収支が赤字となるのは、昭和57年度以来17年ぶりです。
今後も、依然として厳しい経済情勢が続く中、ぜひ別な財政基盤の本市財政は、恒常的な財源不足状態にあることに加え、財源対策として使える基金の残高が底を突くなど、一層厳しい財政運営を強いられる見込みです。(賛成多数)

◆平成12年度一般会計補正予算(2件)
補正総額は168億5千万円で、地方交付税、国・府支出金、市債などを財源として、公園整備などの公共事業の実施や、民間保育所の運営のために要する経費などを補正するものです。(全会一致)

◆11月定例会は11月14日から12月14日までの31日間開かれ、市長提出議案91件を審議しました。このうち、平成11年度一般会計歳入歳出決算など決算15件については、決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。また、12年度一般会計補正予算案や副市長(河内 隆氏)の選任、教育委員会委員の任命など議案76件についても原案のとおり可決しました。そのほか、意見書など議員提出議案7件も原案のとおり可決しました。

◆今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

開催日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
11月14日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
11月20日	本会議	議案(52件)の議決、決算特別委員会設置と代表質問など
11月20日～12月13日	決算特別委員会	一般会計などの決算の審査
12月6日～8日	常任委員会	議案の審査など
12月14日	本会議	決算(15件)の認定と議案(24件)や意見書の議決など

平成11年度一般会計決算を認定

京都市会だより

第17号

平成13年(2001年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上8
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

総額1兆6千258億円の 平成13年度当初予算を可決



清滝川

京都市会ホームページも 4月から開始しました

市会の仕組みをはじめ議員名簿や議案の審議結果など、様々な市会の情報を市民の皆さんにお届けしています。

また、京都市会だよりや、政令市では初めて本会議の会議録もインターネット上でご覧いただけます。(ホームページアドレスは<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>)



◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険事業は、多額の累積赤字を抱えており、13年度も単年度収支での多額の赤字が見込まれることから、その解消を図るため、一般会計から過去最高となる約135億円を繰り入れることにより、13年度の保険料の改定率を平均6.61%としたものです。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の制定
13年4月1日から14年3月31日までの市会の議長、副議長、議員の報酬の月額について、特例措置を講じ、その支給額を5%カットするものです。(全会一致)

2月市会定例会

2月定例会は2月21日から3月23日までの31日間開かれ、市長提出議案160件、議員提出議案10件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成13年度一般会計予算など予算案19件とその関連議案12件については、2つの予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決しました。建築基準条例案など議案18件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、平成12年度一般会計補正予算案や監査委員の選任など議案11件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市会議員の報酬額の特例に関する条例案や意見書など7件の議案を原案のとおり可決しました。

また、市会運営委員会、常任委員会、特別委員会の各委員を選任しました。

(監査委員名、各委員会委員名は4面に掲載しています。)

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆平成13年度一般会計予算など19会計予算

一般会計の13年度当初予算は、前年度当初予算に比べ305億6千400万円、4.3%減で、初めて2年連続の減額となり、骨格予算を除き、6年ぶりに7千億円を割り込みました。予算の概要については、下表のとおりです。

(全会一致又は賛成多数)

平成13年度当初予算額(会計別)

会計別	13年度当初予算額	12年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,874億2,800万円	7,179億9,200万円	△305億6,400万円	△4.3
特別会計	6,380億1,700万円	5,931億8,100万円	448億3,600万円	7.6
小計	1兆3,254億4,500万円	1兆3,111億7,300万円	142億7,200万円	1.1
公営企業会計	3,003億6,300万円	3,045億2,800万円	△41億6,300万円	△1.4
病院事業	160億400万円	157億3,300万円	2億7,100万円	1.7
水道事業	594億2,100万円	583億4,800万円	10億7,500万円	1.8
公共下水道事業	1,191億5,300万円	1,181億3,000万円	10億2,300万円	0.9
自動車運送事業	308億6,000万円	324億5,200万円	△15億9,200万円	△4.9
廃棄物処理事業	749億2,500万円	798億6,500万円	△49億4,000万円	△6.2
合計	1兆6,258億800万円	1兆6,156億9,900万円	101億900万円	0.6

■定例会の経過

2月21日	本会議	会期の決定、市長の提案説明
2月28日 3月1日	本会議	代表質疑、議案や意見書の議決、予算特別委員会の設置など
3月1日 ~22日	予算特別委員会	一般会計予算案など付託議案の審査
3月15日 16日 22日	常任委員会	付託した議案や請願の審査など
3月23日	本会議	議案や請願、意見書の議決など

京都市会だより

第18号

平成13年(2001年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通郵便地5-8
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



風山

国に対し「京都議定書発効のための 国際合意の実現に関する意見書」を提出 (2・3面に全文を掲載)

5月市会定例会

5月定例会は5月15日から29日までの15日間開かれ、市長提出議案66件、議員提出議案4件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成13年度国民健康保険事業特別会計など補正予算案2件については、普通予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決しました。市税条例一部改正案など議案58件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、監査委員の選任など議案6件についても原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、「京都議定書発効のための国際合意の実現に関する意見書」など3件の議案を原案のとおり可決しました。
また、二之湯智議長と今枝徳蔵副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、議長に磯辺とし子議員、副議長に梅林等議員がそれぞれ選ばれました。

■定例会の経過

5月15日	本会議	会期の決定、意見書の議決、市長の提案説明など
5月18日	本会議	普通予算特別委員会の設置、議案の議決、代表質問など
5月18日 21日 28日	普通予算特別委員会	付託された補正予算案の審査
5月22日 23日 28日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月29日	本会議	正副議長の選挙と、議案や請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

- ◆平成13年度国民健康保険事業特別会計など
2会計補正予算
国民健康保険事業特別会計と中央卸売市場第一市場特別会計では、12年度決算において、歳出額に対する歳入額の不足が見込まれるので、その不足見込額を13年度予算から繰り入れるために必要な経費の補正を行うものです。なお、補正予算の規模は、2会計合わせて10億5千4百万円となります。(全会一致)
- ◆西京商業高等学校及び情報教育センター改築工事請負契約の締結(3件)
埋蔵文化財発掘調査で確認された平安時代の貴重な邸宅遺構を保存する形で改築が行われる西京商業高等学校及び情報教育センターの工事請負契約を行うものです。なお、契約の相手方は、競争入札の結果それぞれ落札者となった、市の地元企業を含む共同企業体です。(全会一致)

就任あいさつ



京都市会
市長 磯辺とし子
(東山区選出 4期
自由民主党)



京都市会
副市長 高橋 等
(南区選出 4期
民主・都みらい)

私たちは、5月市会定例会において、第70代の市会議長並びに第76代の市会副議長に選出されました。その責務の重大さを、日々改めて感じています。
今、京都市は、極めて厳しい財政状況の下、地域経済の活性化、少子・高齢社会への対応や男女共同参画社会の実現など、多くの課題に直面しています。このようなときにこそ、市会が本格的な地方分権と高度情報通信技術の進展をしっかりと見据え、市民の声を市政に反映させるために、積極的な政策提案を行うことが求められています。
今後とも、市会の情報公開を推進し、市民に身近な開かれた市会を実現する中で、より一層市政への市会の責任を果たしてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都市会だより

第19号

平成13年(2001年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中區寺町通錦地上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



大原の里

病院 水道 下水道
バス・地下鉄

公営企業会計決算を認定

各公営企業の健全な経営に向け活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月7日から10月5日までの29日間開かれ、市長から議案92件、議員から議案8件が提出されました。

市長提出議案のうち、病院事業など12年度公営企業会計決算5件については、公営企業決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。また、自動車放置防止条例案など議案83件については、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。このうち、撤回された議案1件を除く82件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。このほか、13年度一般会計補正予算(市長専決)など議案4件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、米国における同時多発テロ事件に関する緊急決議など、意見書決議6件を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

開催日	会議	内容
9月7日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
9月11日 12日	本会議	議案や請願、決議の議決と、公営企業決算特別委員会の設置、代表質問など
9月11日 ~26日 10月4日	公営企業 決算特別 委員会	各公営企業会計の決算の審査
9月27日 ~10月1日 4日	常任 委員会	付託された議案や請願の審査など
10月5日	本会議	決算の認定と、議案や請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆自動車放置防止条例の制定

放置自動車を発生させないために、本市、事業者、市民等の責務を明確にするともに、放置自動車の所有者が撤去命令に応じない場合には罰則を適用するなど、自動車の放置の防止について、必要な事項を定めたものです。これにより、放置自動車に関連して発生する犯罪や事故を防止するとともに、都市の美化を推進し、

良好な都市機能を持続していくこととするものです。(全会一致)

◆平成13年度一般会計補正予算(市長専決)

京都市議会議員上京区選挙区補欠選挙(7月29日執行)の実施に必要な経費の補正について、地方自治法第179条第1項の規定により、市長が専決処分を行ったものです。補正額は、2千7百万円です。(全会一致)

「公営企業会計決算概要」

◆病院事業

診療収入は111億4千6百万円(対前年度比05%の増)で、一般会計からの繰入金25億9千3百万円などを加えた総収益は140億3千6百万円となり、総費用と同じ収支均衡の決算となりました。(全会一致認定)

◆水道事業

水道使用量の減少による料金収入の減少などにより、総収益は324億9千9百万円(対前年度比14%の減)、総費用は329億8千4百万円で、4億8千5百万円の赤字となり、累積赤字は28億9千3百万円となりました。(全会一致認定)

◆公共下水道事業

有収汚水量の減少による使用料収入の減少などにより、総収益は551億1千万円(対前年度比

41%の減)、総費用は571億9千6百万円で、20億8千6百万円の赤字となり、累積赤字は80億1千万円となりました。(全会一致認定)

◆自動車運送(バス)事業

旅客数の減少による運送収入の減少などにより、総収益は27億3千8百万円(対前年度比18.1%の減)、総費用は27億3千8百万円で、41億円の赤字となり、累積赤字は87億5千7百万円となりました。(賛成多数で認定)

◆高速鉄道(地下鉄)事業

旅客数の増加による運輸収入の増加などにより、総収益は21億4千7百万円(対前年度比16%の増)、総費用は488億2千6百万円で、27億7千9百万円の赤字となり、累積赤字は千679億6千9百万円となりました。(全会一致認定)

京都市会だより

第20号

平成14年(2002年)

2月15日発行

●発行/京都市会

●編集/市会事務局

●〒604-6571 京都市中京区幸町通御膳上

●TEL.075(222)3700

FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



北山杉

平成12年度

一般会計決算を認定

11月市会定例会

11月定例会は、11月19日から12月18日までの30日間開かれ、市長から議案103件、議員から議案5件が提出されました。

市長提出議案のうち、12年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して審議し、すべて認定しました。13年度一般会計補正予算など3件については、2つの予算特別委員会を設置して審議するとともに、市税条例の一部改正など議案72件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、すべて原案のとおり可決しました。このほか、市長の資産等の公開に関する条例の一部改正など議案14件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、敬宮愛子内親王殿下の御誕生にあたり慶賀の意を表する決議など5件を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

11月19日	本会議	審議	会期の決定、市長の提案説明など
11月21日 22日	本会議	審議	議案や請願の議決と、普通決算特別委員会などの設置、代表質問など
11月21日 ~12月6日 17日	普通決算特別委員会	審議	一般会計などの決算の審査
11月21日 12月7日 17日	予算特別委員会	審議	一般会計などの補正予算の審査
12月10日 ~12月17日	常任委員会	審議	付託された議案や請願の審査など
12月18日	本会議	審議	決算の認定と、議案や請願、決議の議決など

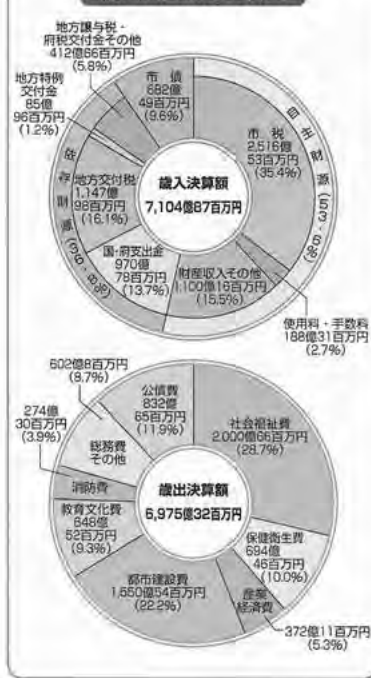
今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆平成12年度一般会計歳入歳出決算
歳入総額は7,104億8,700万円に対し、歳出総額は6,975億3,200万円となり、収支は129億5,500万円の黒字となりましたが、翌年度に繰り越すべき財源が122億8,900万円あるため、実質の収支は6億6,600万円の黒字です。しかし、せいぜい弱な財政基盤に立つ市の財政は、景気が一層悪化する中、歳入の根幹を成す市税収入に伸びを期待できず、歳出面でも新たな行

政需要や公債負担に多額の財政需要があることから、極めて厳しい状況にあります。

◆平成13年度一般会計補正予算(2件)
(賛成多数で認定)
国・府支出金、市債などを財源として、道路、公園整備などの公共事業や民間保育所の運営、知事選挙、緊急雇用創出対策に要する経費などを補正するものです。補正総額は、17億8,800万円です。(全会一致)

平成12年度一般会計 歳入歳出決算の概要



京都市会だより

第21号

平成14年(2002年)

5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上町
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



鳳上浄水場

市会議員の定数を 3減し69人に

5月市会定例会(代表質問)のテレビ中継開始
5月15日(水)にKBS京都放送で生中継します。

2月市会定例会

2月定例会は2月22日から3月26日までの33日間開かれ、市長提出議案146件、議員提出議案10件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成14年度一般会計予算など予算案19件とその関連議案16件については、2つの予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決しました。13年度一般会計補正予算など議案15件についても、同じく予算特別委員会に付託して審議することにも、公文書の公開に関する条例の全部改正など議案89件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、すべて原案のとおり可決しました。このほか、副市長(松井珍男子氏)や収入役(不室嘉和氏)の選任など議案7件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、京都市会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき市会議員の数に関する条例など8件の議案を原案のとおり可決しました。

また、梅林等副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行った結果、高嶋弘恵議員が選ばれました。これにより政令指定都市で初めて女性の正副議長が誕生しました。

■定例会の経過

開催日	開催形式	審議内容
2月22日	本会議	会期の決定や市長の提案説明、予算特別委員会の設置など
2月22日 25日 27日	予備特別委員会	一般会計補正予算など付託議案の審査
2月28日 3月1日	本会議	代表質疑、議案や請願の議決など
3月1日 ~14日 25日	予備特別委員会	一般会計予算など付託議案の審査
3月15日 18日 25日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
3月19日	議員定数等特別委員会	付託事件の審査
3月26日	本会議	副議長の選挙と議案や請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。

◆平成14年度一般会計予算など19会計予算

一般会計の14年度当初予算の規模は6千44億2千8百万円となり、前年度当初予算に比べ5.5%減となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計では、1兆6千348億2千6百万円となり、前年度当初予算に比べ0.6%増となりました。

(審議結果は4面参照)

◆京都市会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき市議員の定数に関する条例

市議員の定数を69人(現行72人)に減らすとともに、各選挙区における議員の数についても、北区、中央区、東山区、下京区を、現在の数からそれぞれ1減する一方、西京区の数を1増とするものです。この結果は、来年4月の統一地方選挙から適用されます。

市会議長のあいさつ



京都市会議長
磯辺とし子
(東山区選出 民主党)

市会議長に就任して2年目を迎えますが、初心を忘れることなく、勇気を持って、市民の皆様のご意見を大切にしながら市会運営に努めてまいります。

市会では、情報公開をより一層進めるため、今年度から5月市会のテレビ中継を実施いたします。また、厳しい財政状況を考慮し、昨年度に引き続き議員の報酬を5%削減することや、更に、議員の定数問題についても、公開の場で議論を重ね、35年ぶりの定数の削減と1票の格差是正を行うことになりました。

今後とも、市民の信頼を果たしてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

市会副議長就任のあいさつ



京都市会副議長
高嶋弘恵
(山科区選出 公明党)

私は、3月市会定例会において、第77代の市会副議長に選出されました。21世紀は、女性の時代とも言われています。女性の社会的な進出が進む中で、この度、副議長という重責を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いでございます。

今、男女共同参画社会の実現に向けて、女性の声、生活の現場の声を市政に反映することが求められています。

今後、市会の運営においても、女性の感性を生かし、市民の皆様と身近な議会となるよう、努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

京都市会だより

第22号

平成14年(2002年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中區寺町清浄池上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



梅小路公園

5月市会定例会

5月定例会は5月10日から24日までの15日間開かれ、市長提出議案89件、議員提出議案6件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成14年度国民健康保険事業特別会計補正予算など2件については、普通予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決しました。青少年活動センター条例の一部改正など議案68件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、市税条例等の一部改正など議案19件についても、原案のとおり可決しました。議員提出議案については、国民の生命と財産を守る有事法制関連法案に関する意見書など6件の議案を、原案のとおり可決しました。

国に対する「国民健康保険制度の安定化を求める意見書」などを可決
(2・3面に意見書の要旨を掲載)

■定例会の経過

5月10日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
5月14日 15日	本会議	代表質問、普通予算特別委員会の設置など
5月14日 16日 24日	普通予算特別委員	付託された補正予算の審査
5月17日 20日 24日	常任委員	付託された議案や請願の審査など
5月24日	本会議	議案や意見書、決議の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成14年度国民健康保険事業特別会計など2会計補正予算

国民健康保険事業特別会計と中央卸売市場第一市場特別会計では、13年度決算において、歳出額に対する歳入額の不足が見込まれるので、その不足見込額を14年度予算から繰り上げて充用するたに必要経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、国民健康保険事業特別会計が94億円、中央卸売市場第一市場特別会計が11億5千3百万円、2会計合わせて105億5千3百万円となります。

◆保健所条例及び青少年活動センター条例の一部改正
北区総合庁舎整備の一環として、隣接する旧歯科医師会館を改修し、北保健所と北青少年活動センターを移転整備するものです。

移転予定時期は、14年9月です。

◆東部クリーンセンター整備工事請負契約の締結
焼却炉から排出されるダイオキシン類を削減することを目的として、東部クリーンセンターの整備工事請負契約を締結するものです。

◆市立新設養護学校等新築工事請負契約の締結
発達遅滞、肢体不自由という障害種別に設置している養護学校を、障害種別の枠を超え、一人ひとりにより焦点を当てた指導が可能な新しい総合制・地域制養護学校に再編するに当たり、養護学校の新築工事請負契約を締結するものです。

なお、この養護学校は、老人デイサービスセンター及び在宅介護支援センターとの複合施設として、上京区成逸小学校跡地に整備され、16年4月に開校する予定です。

京都市会だより

第23号

平成14年(2002年)

11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御土上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



堀川通

病院・水道・下水道
市バス・地下鉄

各公営企業の健全な経営に向け活発な議論

公営企業決算を認定

9月市会定例会

9月定例会は、9月9日から10月8日までの30日間開かれ、市長提出議案65件、議員提出議案13件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計の13年度決算5件については、公営企業決算特別委員会を設置して審査のうえ、すべて認定しました。伝統的景観保全に係る防火上の措置に関する条例など議案55件については、それぞれ所管の常任委員会が審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

また、健康保険法等の一部改正に伴う関係条例や人事委員会委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、日朝国交正常化交渉と「拉致事件」の真相究明を求める意見書など10件の意見書・決議を、原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

9月9日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
9月11日 12日	本会議	議案や請願の議決、代表質問、公営企業決算特別委員会の設置など
9月11日 10月2日 10月8日	公営企業 特別委員 会 決算委員	各公営企業会計の決算の審査
9月30日 10月1日 8日	常任委員	付託された議案や請願の審査など
10月8日	本会議	決算の認定と、議案や請願、意見書・決議の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆伝統的景観保全に係る防火上の措置に関する条例の制定

長い歴史を通じてはぐくまれてきた京都市の伝統的な建築物や歴史的な町並みの景観を保全し、将来の世代に継承するため、こうした建築物などの意匠や構造などに関する新たな防火基準を本市独自に定めるものです。これにより、一定の条件を満たす地区内では、伝統的な意匠を残しながら、建替えや改築が可能となります。

◆火災予防条例の一部改正

消防法の一部改正により、立入検査の時間制限が廃止されたことと避難口などにみだりに物件が置かれることのないよう管理が義務付けられたことに伴い、規定の整備などを行うとともに、最近の社会情勢に適応した火災予防の徹底を図るために必要な事項を定めるものです。

〔公営企業会計決算概要〕

◆病院事業

診療収入は14億6千4百万円(対前年度比29%の増)で、一般会計からの繰入金27億2千8百万円などを加えた総収益は44億8千2百万円となり、一方、総費用も同額の収支均衡の決算となりました。

◆水道事業

昨年10月からの料金改定により、総収益は30億円(対前年度比15%の増)となり、総費用は28億4千3百万円で、1億5千7百万円の黒字となりました。また、累積黒字は30億4千2百万円となりました。

◆公共下水道事業

昨年4月からの使用料改定により、総収益は58億7千百万円(対前年度比63%の増)となり、総費用は56億8千2百万円で、19億8千9百万円の黒

字となりました。また、累積赤字は60億2千百万円となりました。

◆自動車運送(バス)事業

旅客数の減少による運送収入の減少などにより、総収益は23億3千9百万円(対前年度比21%の減)となり、総費用は26億8百万円で、28億6千9百万円の赤字となりました。また、累積赤字は11億2千6百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業

運輸収入は増加しましたが、広告料収入などの減少により、総収益は20億3千9百万円(対前年度比10%の減)となり、総費用は48億8千9百万円で、28億5千万円の赤字となりました。また、累積赤字は千95億千9百万円となりました。

京都市会だより

第24号

平成15年(2003年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上町
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

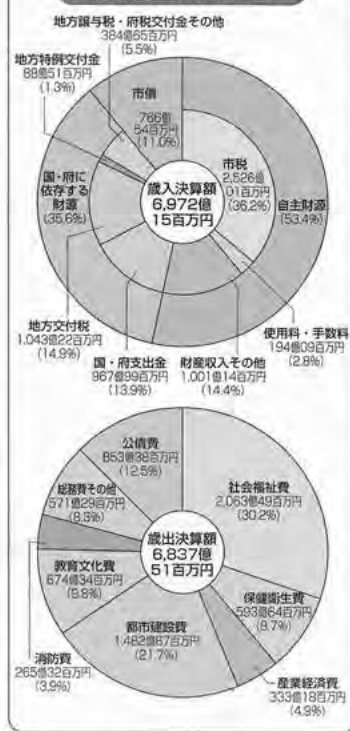


二条城 二の丸御殿(築城400年)

平成13年度

一般会計決算を認定

平成13年度一般会計歳入歳出決算の概要



今回審議した平成13年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

歳入総額6千972億1千5百万円に対し、歳出総額は6千837億5千1百万円となり、歳入歳出差引額は134億6千4百万円の黒字ですが、翌年度に繰越すべき財源が133億9千7百万円あるため、実質収支は19億3千3百万円の赤字となっています。

今回の一般会計決算について、①すべてのひとがいよいよ安心してくらせる「安らぎのある暮らし」づくり、②魅力と活力あふれる「華やきのあるまち」づくり、③信頼とパートナーシップの市政推進を三つの柱として、予算を編成し、財源の確保と効率的な予算執行に努めた。しかし収支の状況は、市税収入が予算を下回るなど極めて厳しい財政状況の下、市債の活用による財源対策や経費の節減に努めたものの、実質収支で11年度決算以来2年ぶりの赤字決算となったとの市長の説明が行われました。

(今回審議したその他の主な議案は4面に掲載されています。)

11月市会定例会

11月定例会は、11月19日から12月17日までの29日間開かれ、市長提出議案97件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成13年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。14年度一般会計補正予算など5件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、また市税条例の一部改正など議案68件については、それぞれ所管の常任委員会に付託・審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、職員給与条例の一部改正や人事委員会委員の選任など議案10件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、「国庫補助負担金の廃止・縮減に関する意見書」や「運動団体支部補助金虚偽報告の徹底解明と同和行政完全終結を求める決議」など5件の意見書・決議を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

開催日	開催形式	審議内容
11月19日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
11月21日 22日	本会議	議案や請願の議決、代表質問、普通決算特別委員会の設置など
11月21日 ~12月5日 16日	普通決算特別委員会	一般会計などの決算の審査
11月21日 12月6日 16日	普通予算特別委員会	一般会計などの補正予算の審査
12月9日 10日 16日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月17日	本会議	決算の認定と、議案や請願、意見書・決議の議決など

京都市会だより

第25号

平成15年(2003年)

5月1日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通船場上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



伏見瀬川の柳並木

総額1兆6千599億円の
平成15年度当初予算を可決

2月市会定例会

2月定例会は、2月21日から3月14日までの22日間開かれ、市長提出議案17件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成15年度一般会計予算など予算案19件とその関連議案33件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。14年度一般会計補正予算案と議案16件についても、同じく予算特別委員会に付託・審査のうえ、また市立中学校条例の一部改正など議案49件については、それぞれ所管の常任委員会に付託・審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、包括外部監査契約の締結など議案10件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市会議員の報酬額の特例に関する条例の一部改正や国から地方への税源移譲を求める意見書など6件の議案を原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。
(結果は4面参照)

◆平成15年度一般会計予算など19会計予算

一般会計の15年度当初予算の規模は6千407億7千万円となり、前年度当初予算に比べ0.4%減となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計では、1兆6千599億3千8百万円となり、前年度当初予算に比べ1.5%増となりました。予算の概要は下表のとおりです。

◆平成14年度一般会計補正予算など12会計補正予算

ダイオキシン対策に要する経費や高速鉄道建設出資金をはじめ、自動車運送事業の経営健全化支援、インフルエンザ対策等に要する経費を、国・府支出金や市債等を財源として補正するものです。補正総額は、33億6千4百万円です。

◆市立中学校条例の一部改正

今年4月に西京高等学校に開設する新学科「エンタープライジング科」の教育内容を、中高一貫教育により、更に効果的に発展・深化させるため、併設中学校として西京高等学校附属中学校を設置するものです。

◆市会議員の報酬額の特例に関する条例の一部改正

現下の厳しい財政状況を踏まえて、議員報酬の5%削減を15年度も引き続き実施するものです。

平成15年度当初予算額(会計別)

会計別	15年度当初予算額	14年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,467億7,000万円	6,494億2,800万円	△26億5,800万円	△0.4
特別会計	7,249億8,600万円	6,828億7,900万円	421億700万円	6.2
小計	1兆3,717億5,600万円	1兆3,323億700万円	394億4,900万円	3.0
公営企業会計	2,881億8,200万円	3,025億1,900万円	△143億3,700万円	△4.7
病院事業	157億8,300万円	158億円	△1,700万円	△0.1
水道事業	561億7,700万円	572億400万円	△10億2,700万円	△1.8
公共下水道事業	1,117億6,400万円	1,171億6,400万円	△54億円	△4.6
自動車運送事業	260億5,800万円	293億2,000万円	△32億6,200万円	△11.1
高速鉄道事業	784億円	830億3,100万円	△46億3,100万円	△5.6
合計	1兆6,599億3,800万円	1兆6,348億2,600万円	251億1,200万円	1.5

■定例会の経過

2月21日	本会議	会期の決定、市長の提案説明、予算特別委員会の設置など
2月21日 24日 26日	予算特別委員会	一般会計などの補正予算の審査
2月27日 28日	本会議	代表質疑、議案の議決など
2月28日 ～3月6日 11日 13日	予算特別委員会	一般会計などの予算の審査
3月7日 10日 13日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
3月14日	本会議	議案や請願、意見書・決議の議決など

京都市会だより

特集
号

平成15年
(2003年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町清原池上
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

本号は保存版として活用してください。



京都市会だより編

新市会の発足を衷心よりお慶び申し上げます。
今日、我が国は、少子高齢化の急速な進行、地球環境問題の深刻化など、まさに文明的な転換期の渦中にあります。こうした新しい時代に積極的に対応していくためには、市民の皆様とのパートナーシップを基礎として、市会と行政の連携をより一層強固にすることが極めて大切であります。
本年は、私の2期目の総仕上げとなる年で



京都市長
柏木 重義

新市会によせて

あると同時に、「安らぎ 華やき 京都21推進プラン」の折り返しの年であり、市民の皆様にお約束したことを確実に実行する大切な節目の年でもあります。
このため、本市におきましては、極めてひつ迫した財政状況にございますが、「事業の選択と財源の集中」の更なる徹底や聖域なき行政改革の断行など、あらゆる財源対策を講じ、福祉、教育を重点政策に位置付け、市民の皆様を守り、将来の京都の発展に向けた礎を築くため、私を先頭に全職員が一丸となつて取り組んでいくところであります。市民の皆様との期待にこたえるため、市会議員の先生方と議論を深め、地方分権時代にふさわしい魅力と活力あふれるまちづくりをまい進して参ります。

私たちは、五月市会定例会で、第七十一代の市会議長並びに第七十八代の市会副議長に選出されました。
大変光栄なことに存じますとともに、その職責



京都市会副議長
谷口 弘昌



京都市会議長
田中 セツ子

新市会の発足にあたって

の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。
景気の低迷が長引く中、今、京都市は極めて厳しい財政状況の下、急速に進む少子高齢化に対応した子育て支援や高齢者福祉の充実、地球環境問題が深刻化する中で資源循環型社会の構築など数多くの重要な課題に直面しております。
京都市会におきましても、地方分権の進展と共に、市民の期待と信頼にこたえ、新しい時代にあふさわしい京都市政の実現に向け、議会の機能をより一層発揮することが求められております。
今後とも、市会の情報公開を積極的に推進し、市民の皆様から親しまれ、信頼される「開かれた市会」を目指し努力してまいりますので、市民の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会派の名称は次のとおりです

- 自 民=自由民主党京都市議員団
- 共 産=日本共産党京都市議員団
- 民 主=民主・都みらい京都市議員団
- 公 明=公明党京都市議員団



宇都宮壯一 山口幸秀 高橋泰一期 椋田知雄 中村安良
右京区山科区伏見区南區西京区
民主 ⑦ 民主 ⑦ 自 民 ⑧ 自 民 ⑧ 自 民 ⑧



柴田章喜 久保省二 大道義知 日置文章 谷口弘昌 今枝徳蔵 鈴木マサホ 小林あきろう 内海貴夫 巻野渡 磯辺とし子
左京区西京区南區北區伏見区東區上京区西京区右京区北區伏見区左京区東山区
公 明 ③ 公 明 ③ 公 明 ④ 公 明 ④ 公 明 ④ 民 主 ⑥ 民 主 ⑤ 民 主 ⑤ 自 民 ④ 自 民 ④ 自 民 ⑤



久保勝信 津田早苗 竹内ゆずる 井上教子 天方晶英 宮本徹 加地浩 橋村芳和 小林正明
山科区伏見区上京区下京区西京区右京区北區伏見区左京区東山区
公 明 ① 公 明 ① 公 明 ② 公 明 ② 民 主 ④ 民 主 ⑤ 自 民 ③ 自 民 ③ 自 民 ③



木村力 曾我修 山岸たかゆき 小川裕樹 砂川祐司 安孫子和子 津田大三
中京区伏見区伏見区北區北區西京区右京区北區伏見区左京区東山区
公 明 ① 公 明 ① 民 主 ① 民 主 ② 民 主 ② 民 主 ② 自 民 ①



村山祥栄 湯浅光彦 隠塚功
左京区右京区左京区
無 所 属 ① 公 明 ① 民 主 ①

区別議員定数



無所属 (1人)	村山祥栄	湯津竹大曾柴久久木井谷日	山山砂小隠小宇今天安宮鈴	山山砂小隠小宇今天安宮鈴	山山砂小隠小宇今天安宮鈴
	山	浅田内道我田保保村上口置	川岸林塚川宮枝方子	川岸林塚川宮枝方子	川岸林塚川宮枝方子
	祥	光早ゆ義章省勝教弘文	幸た祐き裕壯徳晶和	幸た祐き裕壯徳晶和	幸た祐き裕壯徳晶和
	栄	彦苗る知修喜二信力子昌章	秀き司う功樹一蔵英子徹	秀き司う功樹一蔵英子徹	秀き司う功樹一蔵英子徹
					京都市会議員団 (12人)

京都市会議員 を紹介します

4月13日の京都市会議員選挙で各区から69人の議員が選出されました。議員定数が変更されてから初めての選挙でした。

議員の任期は平成19年4月29日までの4年間です。



北川 明 国枝克一郎 西脇 尚一 青木ヨシオ 加藤広太郎
西京区 ⑧ 自 民 ⑨ 自 民 ⑨ 自 民 ⑨ 共 産 ⑤



二之湯 智 井上与一郎 川中増次郎 北山ただお 山中 渡 藤原 冬樹 倉林 明子 山本 正志 佐藤 和夫 ふじい佐富
右京区 ⑤ 自 民 ⑦ 自 民 ⑦ 共 産 ⑥ 共 産 ⑤ 共 産 ⑦ 共 産 ③ 共 産 ⑤ 共 産 ③ 共 産 ④



加藤 盛司 繁 隆夫 富 きくお せのお直樹 井坂 博文 岩橋ちよみ 井上けんじ 西野さち子
中京区 ④ 自 民 ③ 自 民 ⑥ 共 産 ③ 共 産 ④ 共 産 ③ 共 産 ② 共 産 ②

この表の見方

氏	名
選	出
区	区
党派(略称)、当選回数	



中川 一雄 田中 英之 中村三之助 玉本なるみ 赤阪 仁 くらた共子 河合ようこ
伏見区 ① 自 民 ② 自 民 ② 共 産 ② 共 産 ① 共 産 ① 共 産 ①



田中セツ子 樋口 英明 宮田えりこ 加藤 あい
南区 ④ 自 民 ① 共 産 ① 共 産 ① 共 産 ①

※議長席から見ると、議員はこのように着席しています。



副団 京 日
副団 都 本
長 市 共
長 会 産
議員 議 党
団 員 員 員
(20人)

山宮ふ穂西玉せ佐く北河加加岩井赤倉山藤
本田い口野本お藤た山合藤藤橋上坂阪林中
正え佐英さなる直和共たよ広あけ博 明 冬
り 佐 なる 直 和 共 た よ 広 あ け 博 明 冬
志こ富明子樹夫子おこ郎いみじ文仁子渡樹

副団 京 自
副団 都 由
長 市 民
長 会 主
議員 議 党
団 員 員 員
(24人)

棕巻橋二西中中富津田田高小国北川加加内井磯青繁中
田野村湯脇村川 田中中橋林枝川中藤地海上辺木 村
知 芳 尚三一き大英セ泰正克 増盛 貴与としヨ隆安
雄渡和智一助雄お三之子朗明郎明郎 司浩夫郎 子 夫 良

会派の構成
五十音順

京都市会だより編

知っていますか？市会の一年

9月-11月定例会 (決算市会)

9月定例会では病院、交通、上下水道の各公営企業の前年度決算を審査する公営企業決算特別委員会を、また、11月定例会では、一般会計などの前年度決算を審査する普通決算特別委員会を、それぞれ設置し、決算などを審議します。

代表質問

5月、9月、11月定例会の本会議では、各会派を代表する議員が、市政一般について市長などに質問する代表質問を行います。

定例会と臨時会

市会には定例的に招集される定例会と必要に応じて招集される臨時会とがあり、いずれも市長が招集します。京都市会では、条例により定例会を年4回と定め、おおむね2月、5月、9月、11月に開かれます。

定例会や臨時会では、最初に会期が決定され、会期中に本会議や委員会を開き、議案の審議などの議会活動を行います。

定例会では、通常、議長が開会を宣言する会期初日の本会議に条例案などの議案を上げ、左図のような流れで可否の決定(表決)を行います。

会期は、予算や決算を審議する2月、9月、11月の定例会がおおむね30日、5月定例会がおおむね15日です。

1年の流れ

会議の流れ



常任委員会と特別委員会

本会議で審議する内容が複雑で幅広い分野にわたっていることから、専門的、効率的に審査・調査するため常設の委員会を設けています。これが常任委員会、京都市会では市の事務の部門別に5つの委員会を設置して、議員はそれぞれ1つの委員会の委員になります。

特別委員会は、特別の問題を審査又は調査する委員会で、必要に応じて市会の議決により設置されます。現在は予算や決算の審査を行うための特別委員会が設けられています。

なお、委員会は市会の閉会中においても、請願審査や市の事務調査など1年を通して活発な活動を行っています。

2月定例会 (予算市会)

2月定例会では、新年度の予算やその関連議案などを審議します。

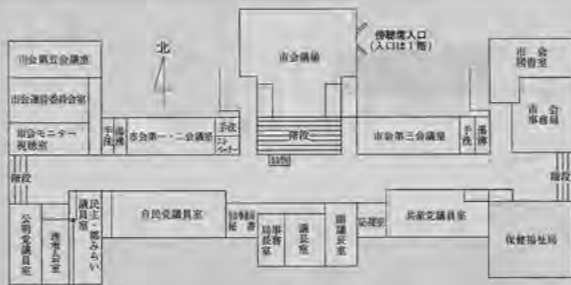
代表質疑

2月定例会の本会議では、各会派を代表する議員が、当初予算やその関連議案について市長などに疑問点をたずね代表質問を行います。

会派が結成されました

会派名	議員数	電話番号
自由民主党 京都市会議員団	24人	222-3718
日本共産党 京都市会議員団	20人	222-3723
民主・都みらい 京都市会議員団	12人	222-3724
公明党 京都市会議員団	12人	222-3732

会派とは主義主張や考えを同じくする議員の集まりです。京都市会では、5月市会に先立ち、四つの会派が結成されました。



※在室、現在改修工事をしていますので、若干配置が違っている場合があります。

市会をもっと身近に!

「本会議を傍聴してみませんか」

予算や市の基本方針、重要な施策、地元の身近な問題などについて、議員が質問し、市長などがそれに答える様子や、議員や市長から提案された議案の審議など、本会議の様子をあなたも実際に見ることが出来ます。

「委員会モニター視聴ができます」

普通・公営企業予算・決算・特別委員会の質疑を市庁舎内でモニター放映しています。委員会当日、視聴券を配布しておりますので、市役所本庁舎2階の市会受付までお越しください。

「京都市会ホームページにアクセス」

市会の最新情報をホームページで御覧いただけます。市会の仕組みについての分かりやすい解説や、顔写真入りの議員名簿、また、定例会の結果については、議案に対する各会派の賛否の結果、可決した付帯決議や意見書の全文などを掲載しています。

市会ホームページアドレス
<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



京都市会だより

第26号

平成15年(2003年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町御池上る
●TEL.075(222)3700
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



大沢池

京都市市民参加推進条例を可決

市会議員一般選挙後、初めての市会である5月定例会は、5月15日から29日までの15日間開かれました。

正副議長の選挙、各委員会委員の選任及び正副委員長の決定など、新しい市会の構成を決めた後、市長提出議案104件、議員提出議案5件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成15年度一般会計補正予算など5件については、普通予算特別委員会を設置して審議し、原案のとおり可決しました。

また、市民参加推進条例など議案85件については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審議し、原案のとおり可決しました。

更には、監査委員の選任など議案14件についても、原案のとおり可決しました。

そのほか、西京区選挙管理委員補充員の選挙を行い、京都市委員会条例の改正や重症急性呼吸器症候群(SARS)対策の強化を求めた意見書など議員提出議案4件も原案のとおり可決しました。

5月市会定例会

■定例会の経過

5月15日	本会議	会期の決定、議席の決定など
5月19日	本会議	正副議長の選挙、各委員会委員の選任、市長の提案説明及び普通予算特別委員会の設置など
5月19日 20日 27日	普通予算特別委員会	付託された補正予算の審査など
5月19日 21日 22日 27日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月28日	本会議	代表質問など
5月29日	本会議	議案や意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです(結果は4面参照)。

◆平成15年度一般会計など4会計補正予算

一般会計では、北部クリーンセンター整備事業に係る債務負担行為を補正するとともに、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計では、14年度決算において歳出に対する歳入の不足が見込まれるので、その不足見込額を15年度予算から繰り上げて充てるために必要な経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、国民健康保険事業特別会計が97億円、介護保険事業特別会計が8億6千5百万円、中央卸売市場第一市場特別会計が11億5千万円で、合計11億1千5百万円となります。

◆文化財建造物保存技術研修センター条例の制定

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物などを保存するための技術を継承する研修施設を、東山区に設置しようとするもので、平成15年9月開所予定です。

◆市民参加推進条例の制定

21世紀においても、京都が個性豊かな魅力あふれるまちとして発展し続けるためには、市民がその持てる力を存分に発揮し、地域社会の一員として自覚と責任を持ってまっすぐりを進めることも、市政に積極的に参加し、協働の成果を挙げることも必要です。

市では、これまでもワークショップやパブリックコメントの実施など、市民参加の推進のための取組を進めてきましたが、こうした取組をより確実なものとするため、市民参加推進条例を制定するものです。

この条例は、代表民主制を基本とする地方自治制度の下に、市民参加を推進することにより、市民の知恵と力を生かした市政と個性豊かなまちづくりの推進を図ることを目的とし、市民参加の基本理念や、行政、市民、市民活動団体のそれぞれが果たすべき役割などの原則を示すとともに、審議会等の公開、委員公募やパブリックコメントなどの市民参加手続について定めています。

京都市会だより

第27号

平成15年(2003年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-5571 京都府京都市中京区町田町地上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)1371

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



円山公園

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄 公営企業決算を認定 公営企業の健全な経営に向け活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月2日から10月3日までの32日間開かれ、市長提出議案81件、議員提出議案4件を審議しました。
市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計の14年度決算5件と関連議案1件については、公営企業決算特別委員会を設置して審査のうえ、すべて認定、可決しました。京北区での合併協議や来年の市長選における東山区での電子投票に関する条例など議案70件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
また、昨年ノーベル化学賞を受賞された田中耕一氏の京都市名誉市民の表彰や監査委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、農業委員会委員の推薦や高額療養費の返還(償還)制度の改善を求める意見書など3件の議案を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

9月 2日	本会 議	会期の決定、市長の提案説明など
9月 8日 9日	本会 議	議案の議決、代表質問、公営企業決算特別委員会の設置など
9月 8日 10日 24日	公営企業特別会 決算委員	正副委員長の互選、各公営企業会計の決算の審査など
9月 25日 29日	常任委員 議会	付託された議案や請願の審査など
10月 2日	常任委員 議会	
10月 3日	本会 議	決算や議案、請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆京都市・京北町合併協議会規約の設定及び京都市・京北町合併協議会の設置の協議
京北町との合併に関する協議などを行うため、市町村の合併の特例に関する法律等の規定により、京都市・京北町合併協議会規約を定めることや京都市・京北町合併協議会を執行するものです。
合併協議会では、合併に係る課題の検討等と市町村建設計画の作成を行います。

◆京都市長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定
平成16年2月任期満了の市長選挙において東山区で電子投票を導入するものです。電子投票は投票する人の意思が正確に反映され、目や手足が自由な人にも自分で投票していただけます。

公営企業会計決算概要

◆病院事業

診療報酬等の引下げや一般会計からの繰入金削減措置により、総収益は14億5千2百万円(対前年度比0.2%の減)と減少、一方、総費用は14億1千万円(対前年度比0.2%の増)となり、黒字となりました。

◆水道事業

総収益は水道料金改定の平年度化等により338億7千2百万円(対前年度比26%の増)となり、総費用は人件費を削減したことなどにより、326億4千7百万円と減少しました。この結果12億2千5百万円の黒字となり、累積黒字は42億6千7百万円となりました。

◆公共下水道事業

総収益は下水道使用料収入や一般会計からの繰入金金の減少により、560億5千万円(対前年度比43%の減)に減収しましたが、人件費の削減などに

より、総費用も54億6千百万円となり、結果、5億9千万円の黒字となりました。また、累積赤字は54億3千万円となりました。

◆自動車運送(バス)事業

旅客数の減少による運送収入の減少などにより、総収益は218億2千3百万円(対前年度比61%の減)となり、総費用は261億8千3百万円で、46億6千万円の赤字となりました。また、累積赤字は162億8千5百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業

運送収入などの減少により、総収益は205億5千2百万円(対前年度比18%の減)となり、総費用は461億3千万円で、255億7千8百万円の赤字となりました。また、累積赤字は2千213億9千7百万円となりました。

京都市会だより

第28号

平成16年(2004年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町西邊地上
●TEL 075(222)3697
●FAX 075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



洛西竹林公園

平成14年度 一般会計決算を認定

平成14年度一般会計 歳入歳出決算の概要



今回審議した平成14年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。結果は4面参照

歳入総額6千547億7千8百万円に対し、歳出総額は6千440億7千4百万円となり、歳入歳出差引額は107億4百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が117億2千万円あるため、実質収支は10億1千6百万円の赤字となっています。

平成14年度予算は、市税収入が前年度を大きく下回り、ピーク時の平成10年度予算と比較して300億円を超える減収見込みとなるなど、極めて逼迫した財政状況の下、財政の「非常事態」が言

言され、マイナスイロニングなどの従来の経費削減策に加え、全職員に及ぶ給与カットなど厳しい内容の緊急対策が取られました。予算の執行に際しては、市税徴収率の向上をはじめとする財源の確保と経費削減により、単年度収支は黒字を確保したものの、平成13年度決算で生じた赤字を解消するには至らず、2年連続の赤字決算となりました。(今回審議したその他の主な議案は4面に掲載しています。)

11月市会定例会

11月定例会は、11月18日から12月17日までの30日間開かれ、市長提出議案55件、議員提出議案4件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成14年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。15年度一般会計補正予算など6件については、2つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、また産業廃棄物の不適正な処理の防止等に四する条例の制定など議案32件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、教職員給与条例の一部改正や職員給与条例の一部を改正する条例による改正前の職員給与条例等の一部改正など議案3件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、「新たな雇用に創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書」や「観光立国へ積極的な施策推進を求める意見書」など3件の意見書を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

開催日	会議内容	審議事項
11月18日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
11月20日 21日	本会議	議案の議決、代表質問、予算・決算特別委員会の設置など
11月20日 11月25日 ~12月5日 12月16日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計などの決算の審査など
11月20日 12月8日 12月16日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計などの補正予算の審査など
11月20日 12月8日 12月16日	公営企業予算特別委員会	正副委員長の互選、病院事業特別会計の補正予算の審査など
12月9日 ~11日 12月16日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月17日	本会議	決算や議案、請願、意見書の議決など

京都市会だより

第29号

平成16年(2004年)

5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通四丁目上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



総額1兆6千579億円の 平成16年度当初予算を可決

宝ヶ池

◆市会議員の報酬の特例に関する条例の一部改正
現下の厳しい財政状況を踏まえて、議員報酬の5%削減を16年度も引き続き実施することとしました。これは、13年度から4年連続の取組となります。

◆建築物等のバリアフリーの促進に関する条例の制定
高齢者、身体に障害のある人などの社会参加の促進に資する良好な都市環境の形成を図るため、建築物のバリアフリーの促進等に関し、必要な事項を定めるものです。
※バリアフリー 高齢者や身体に障害のある人などの利用に配慮し、建築物等の利用上の支障が除去されている状態

◆平成15年度一般会計補正予算など11会計補正予算
消防ヘリコプター整備や市営住宅整備のほか、退職手当、自動車運送事業の経営健全化支援に要する経費等を、地方交付税、国・府支出金、市債等を財源として補正するものです。補正総額は、39億1千6百万円です。

◆平成16年度一般会計予算など20会計予算
一般会計の16年度当初予算の規模は6千552億2千7百万円となり、前年度当初予算に比べ1.3%増となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計では、1兆6千579億4千百万円となり、前年度当初予算に比べ0.1%減となりました。予算の概要は下表のとおりです。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。
(結果は4面参照)

2月市会定例会

2月定例会は2月27日から3月29日までの32日間開かれ、市長提出議案120件、議員提出議案8件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成16年度一般会計予算など予算案20件とその関連議案18件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。15年度一般会計補正予算など議案13件についても、同じく予算特別委員会、また建築物等のバリアフリーの促進に関する条例の制定など議案54件については、それぞれ担当の常任委員会にて審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。更に、副市長(高木壽一氏、毛利信二氏)や収入役(星川茂一氏)の選任など議案15件についても、原案のとおり可決しました。議員提出議案については、市会議員の報酬の特例に関する条例の一部改正など6件の議案を、原案のとおり可決しました。

平成16年度当初予算額(会計別)

会計別	16年度当初予算額	15年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,552億2,700万円	6,467億7,000万円	84億5,700万円	1.3
特別会計	7,123億8,200万円	7,249億8,600万円	△126億400万円	△1.7
小計	1兆3,676億900万円	1兆3,717億5,600万円	△41億4,700万円	△0.3
公営企業会計	2,903億3,200万円	2,881億8,200万円	21億5,000万円	0.7
病院事業	159億4,500万円	157億8,300万円	1億6,200万円	1.0
水道事業	547億2,600万円	561億7,700万円	△14億5,100万円	△2.6
公共下水道事業	1,093億3,600万円	1,117億6,400万円	△24億2,800万円	△2.2
自動車運送事業	262億9,300万円	260億5,800万円	2億3,500万円	0.9
高速鉄道事業	840億3,200万円	784億円	56億3,200万円	7.2
合計	1兆6,579億4,100万円	1兆6,599億3,800万円	△19億9,700万円	△0.1

■定例会の経過

開催日	委員会	審議内容
2月27日	本会議	会期の決定、市長の提案説明、予算特別委員会の設置など
2月27日 3月1日 3日	予算特別委員会	正副委員長互選、一般会計などの補正予算等の審査など
3月4日 5日	本会議	代表質疑や議案の議決など
3月5日 18日 27日	予算特別委員会	一般会計などの予算の審査など
3月19日 23日 27日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
3月29日	本会議	議案の議決など

京都市会だより

第30号

平成16年(2004年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町西側地上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



桂川

「介護予防対策の拡充を求める 意見書」などを可決

(2・3面に意見書・決議の内容を掲載)

5月市会定例会

5月定例会は5月14日から28日までの15日間開かれ、市長提出議案64件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成16年度国民健康保険事業特別会計補正予算など3件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。子ども保健医療相談事故防止センター条例の制定など54件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

また、監査委員の選任など議案7件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、介護予防対策の拡充を求める意見書と小川裕樹議員に対する辞職勧告決議の2件を、原案のとおり可決しました。

また、谷口弘昌副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行った結果、久保省二議員が選ばれました。

■定例会の経過

5月14日	本会議	会期の決定、議席の変更など
5月18日	本会議	市長の提案説明、普通予算特別委員会の設置など
5月18日 20日 27日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、付託された補正予算の審査など
5月19日	本会議	代表質問など
5月21日 24日 27日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月28日	本会議	副議長の選挙と議案や意見書、決議の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成16年度国民健康保険事業特別会計など3会
計補正予算

国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計では、15年度決算において、歳出額に対する歳入額の不足が見込まれるので、その不足見込額を16年度予算から繰り上げて充用するために、必要な経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、123億9千7百万円と

◆子ども保健医療相談・事故防止センター条例の制定

子どもたちを健やかで安全に育成することができる社会の形成に向けて、子どもの保健医療に関する相談、助言等を行うとともに、子どもの事故防止に関する知識の普及向上を図るための施設を中京区に設置しようとするもので、本年8月に開所予定です。

市会議長のあいさつ



京都市会議長
田中 セツ子
(南区選出 民進党)

市会議長として2年目を迎えることとなり、市民の皆様のご支援に改めて深く感謝申し上げます。

近年、地方分権の推進に伴い、地方議会は更なる機能強化を図るとともに、より市民の皆様が開かれた議会を実現する必要があります。その中で京都市会では、本市の厳しい財政状況を考慮し、16年度においても引き続き議員の報酬を5パーセント削減するとともに、議会の改革をより推進するために「京都市会改革検討小委員会」を設置いたしました。

今後とも、より身近な議会を目指してまいりましますので、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

市会副議長就任のあいさつ



京都市会副議長
久保 省二
(西京区選出 公明党)

この度の5月市会において79代の市会副議長に就任いたしました。議長は補佐役としてその責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

不安定な経済情勢や、かつてない少子高齢社会の到来を前に、本市では取り組むべき多くの課題を抱えており、京都市会では市民の皆様の声を市政に反映させるよう努めているところでございます。

より身近で開かれた市会の実現を目指し、田中議長と共に議会の改革に全力で取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いたします。

京都市会だより

第31号

平成16年(2004年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区各町通御土倉
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



山科疏水

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄

公営企業決算を認定

公営企業の健全な経営に向け活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月9日から10月8日までの30日間開かれ、市長提出議案58件、議員提出議案12件を審議しました。市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の15年度決算6件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成16年度一般会計補正予算1件と関連議案2件についても、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、里道管理条例の制定など議案47件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、人権擁護委員の推薦の議案2件についても、諮問のとおり可決しました。

そのほか、小川裕樹議員の辞職の許可や山科区選挙管理委員及び補充員の選挙などを行い、民間保育所運営費国庫負担金・補助金制度の継続及び総合施設の在り方についての意見書など議員提出議案11件を原案のとおり可決しました。

なお、9月9日の本会議の冒頭、7月19日に逝去された天方晶英議員に対する追悼演説が行われました。

■定例会の経過

日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
9月9日	本会議	議案の処理、代表質問、公営企業等決算特別委員会の設置など
9月13日 14日	本会議	
9月13日 15日 29日	公営企業等 決算 特別 委員 会	正副委員長互選、各公営企業会計等の決算の審査など
10月7日	普通予算 特別 委員 会	正副委員長互選、一般会計補正予算等の審査など
9月13日 30日 10月7日	普通予算 特別 委員 会	
10月1日 4日 7日	常 委員 任 会	付託された議案や請願の審査など
10月8日	本会議	決断や議案、請願、意見書の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

- ◆京都市及び北桑田郡京北町の廃置分合
- ◆京都市及び北桑田郡京北町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議
- 平成17年4月1日から京北町の区域を京都市に

〔公営企業会計決算概要〕

◆病院事業

延べ入院患者数の減少による入院収益の減少などにより、総収益は143億8千万円(対前年度比0.5%の減となりました)が、人件費等の削減により、総費用は143億2千2百万円となり、5千8百万円の黒字となりました。

◆水道事業

総収益は水需要の減少等により325億2千万円(対前年度比40%の減)となり、総費用は人件費や企業債利息等の減少により、317億2千6百万円と減少しました。この結果、7億9千4百万円の黒字となり、累積黒字は、47億9千万円となりました。

◆公共下水道事業

総収益は下水道使用料収入や一般会計からの繰入金金の減少等により、543億1千4百万円(対前年度比31%の減)となりましたが、企業債利息等の減少により総費用も542億6千6百万円と減少し、結果4千8百万円の黒字となりました。また、累積赤

字は、53億8千万円となりました。

◆自動車運送(バス)事業

旅客数は前年度を上回りましたが、旅客一人当たり単価の減少による運送収益の減少等により、総収益は216億2百万円(対前年度比10%の減)となり、総費用は人件費の削減等により204億8百万円となりました。この結果、11億9千4百万円の黒字となり、累積赤字は150億9千2百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業

運輸収益の増加や国の補助金制度の改正等により、総収益は232億1千万円(対前年度比129%の増)となり、減価償却費や人件費等の減少により、総費用は42億9百万円に減少しました。この結果、188億9千8百万円の赤字となり、累積赤字は2千91億9千9百万円となりました。

京都市会だより

第32号

平成17年(2005年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中區区寺町通堀上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



稲荷山からの眺め

平成15年度 一般会計決算を認定

11月定例会は、11月16日から12月16日までの31日間開かれ、市長提出議案70件、議員提出議案15件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成15年度一般会計歳入歳出決算など決算13件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。

平成16年度一般会計補正予算など2件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、また地球温暖化対策条例の制定など議案44件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、教育委員会委員の任命など議案11件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書など12件の議案を原案のとおり可決しました。

なお、議員提出議案の条例制定案2件については、建設消防委員会に付託し、提出会派の委員と他の委員との間で活発な質疑を行いました。

11月市会定例会

■定例会の経過

11月16日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など
11月18日 19日	本 会 議	議案の処理、普通予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月18日 11月22日 12月6日 ~12月15日	普 通 決 算 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、一般会計等の決算の審査など
11月18日 12月7日 12月15日	普 通 予 算 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
12月8日 ~12月10日	常 委 員 会 任 命 会	付託された議案や請願の審査など
12月16日	本 会 議	決算や議案、意見書・決議の議決など

今回審議した平成15年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

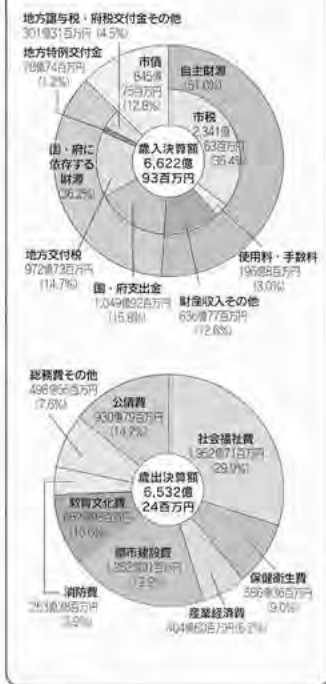
歳入総額6千222億9千3百万円に対し、歳出総額は6千532億2千4百万円となり、歳入歳出差引額は90億6千9百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が102億7千8百万円あるため、実質収支は12億9百万円の赤字となります。

平成15年度予算は、財政の「非常事態」を宣言した前年度を上回る極めて厳しい財政状況の下、マイナスイシューティングなどの従来型の経費削減に加え、全職員に及ぶ給与カットなど厳しい内容の緊急対策2年目の取組が実施される中で、限られた予算を集中的に配分する課題重視の重点配分型予算として編成

されました。予算の執行に際しても、一層の経費節減と市税徴収率の向上をはじめとする財源の確保が図られましたが、実質収支では3年連続の赤字決算となり、単年度収支も1億9千3百万円の赤字となりました。

※ 歳入歳出の差引額が翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額
※ 単年度収支の黒字額が翌年度の普通交付税を差し引いた額
※ 今回審議したその他の主な議案は4面に掲載しています。

平成15年度一般会計 歳入歳出決算の概要



京都市会だより

第33号

平成17年(2005年)

5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



深泥池

総額1兆7千453億円の
平成17年度当初予算を可決

より開かれた市会へ
常任委員会のモニター放映を実施

委員会開会中、市役所でご覧になれます。

2月市会定例会

2月定例会は、2月18日から3月18日までの29日間開かれ、市長提出議案209件、議員提出議案12件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成17年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案82件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。16年度一般会計補正予算など予算案11件とその関連議案1件についても、同じく予算特別委員会、また、みやこユニバーサルデザイン推進条例の制定など議案88件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。更に、副市長(星川茂一氏)や収入役(大槻泰氏)の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市会の議決に付すべき事件等に関する条例の制定など9件の議案を、原案のとおり可決しました。

平成17年度当初予算額(会計別)

会計別	17年度当初予算額	16年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,901億6,000万円	6,552億2,700万円	349億3,300万円	5.3
特別会計	7,599億4,700万円	7,123億8,200万円	475億6,500万円	6.7
小計	1兆4,501億7,000万円	1兆3,676億9,000万円	824億9,800万円	6.0
公営企業会計	2,951億6,400万円	2,903億3,200万円	48億3,200万円	1.7
病院事業	158億7,900万円	159億4,500万円	△6,600万円	△0.4
水道事業	563億5,000万円	547億2,600万円	16億2,400万円	3.0
公共下水道事業	1,118億1,400万円	1,093億3,600万円	24億7,800万円	2.3
自動車運送事業	309億4,600万円	262億9,300万円	46億5,300万円	17.7
高速鉄道事業	801億7,500万円	840億3,200万円	△38億5,700万円	△4.6
合計	1兆7,452億7,100万円	1兆6,579億4,100万円	873億3,000万円	5.3

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

【市長提出議案】

◆平成17年度一般会計予算など22会計予算
一般会計の17年度当初予算の規模は6千901億6千万円となり、前年度当初予算に比べ53%増となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計でも、1兆7千452億7千1百万円となり、前年度当初予算に比べ53%増となりました。予算の概要は右下表のとおりです。

【議員提出議案】

◆市会の議決に付すべき事件等に関する条例の制定
条例の制定や予算の議決など、市会が議決しなければならぬ事項に、基本計画の策定等と姉妹都市提携を新たに追加し、市会の関与を強めるものです。

◆政務調査費の交付に関する条例の一部改正

市会議員や会派の調査研究に資するために交付される政務調査費について、1件5万円以上の支出を対象に、領収書等の証拠書類の提出を新たに義務付けるなど、その用途の一層の透明化を図るものです。

◆市会議員の報酬の特例に関する条例の一部改正

現下の厳しい財政状況を踏まえて、議員報酬の5%削減を17年度も引き続き実施することとしました。これは、13年度から5年連続の取組となります。

◆みやこユニバーサルデザイン推進条例の制定
本市におけるユニバーサルデザインを採り入れた社会環境の整備を推進するため、その基本理念、市と事業者の責務、市民、観光旅行者その他の滞在者の役割などの基本事項を定めるものです。

※ユニバーサルデザイン
製品、設備、施設及び建築物その他工作物を、すべての人にとってできる限り利用しやすいデザインにすることを目指す考え方

京都市会だより

第34号

平成17年(2005年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通堀土居
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



鴨川

国に対する「列車脱線事故に 関する意見書」などを可決

(2・3面に意見書の内容を掲載)

5月市会定例会

5月定例会は5月17日から31日までの15日間開かれ、市長提出議案83件、議員提出議案5件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成17年度国民健康保険事業特別会計補正予算など4件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。斜面地等における建築物等の制限に関する条例など議案63件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。更に、教育委員会委員の任命など議案16件についても、原案のとおり可決しました。

そのほか、京都市選挙管理委員及び補充員などの選挙を行い、列車脱線事故に関する意見書など議員提出議案4件を原案のとおり可決しました。

また、田中セツ子議長と久保省二副議長は、辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、議長に巻野渡議員、副議長に日置文章議員がそれぞれ選ばれました。

■定例会の経過

5月17日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月19日	本会議	議案の処理、普通予算特別委員会の設置など
5月19日 23日 30日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、付託された補正予算の審査など
5月20日	本会議	代表質問など
5月24日 25日 30日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月31日	本会議	正副議長の選挙、議案や意見書の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成17年度国民健康保険事業特別会計など3会計補正予算

国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計は、16年度決算において、歳出額に対する歳入不足が見込まれるので、その不足見込額を17年度予算から繰り上げて充用するために必要な経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、1億4千1百万円となります。

◆斜面地等における建築物等の制限に関する条例の制定

斜面地等(高低差が3メートルを超えるもの)に建築物等を建てる場合、建築物等が地面と接する位置の高低差を6メートル以内で制限するなどにより、周辺地域の市街地の環境との調和を図るとともに、斜面地等及びその周辺地域の土地の安全性を確保し、良好な都市環境の保全及び形成を図ろうとするものです。

就任あいさつ



京都市会 市長
巻野 渡
(左京区選出 自民党)



京都市会 副市長
日置 文章
(北区選出 公明党)

私たちは、5月市会定例会において、第72代市会議長並びに第80代市会副議長に就任いたしました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに、身の引き締まる思いでございます。

現在、真の地方分権型社会の確立を目指して、国及び地方が一体となって財政面などについての活発な議論が進められております。分権型社会においては、自治体の力量が市民生活に大きく影響することとなり、住民の代表である地方議会の果たす役割は、ますます重要になってまいります。

京都市会におきましては、これまでも「市民に開かれた市会」について議論を重ね、様々な改革を実行してまいりましたが、これを更に前進させ、市民の方々に議会をより身近に感じていただくための「魅力あふれる市会」づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

これからも、市民の皆様方の期待と信頼に応えるため、全力を傾注して参りますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都市会だより

第35号

平成17年(2005年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075 (222) 3997
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



京都御苑

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄など 公営企業決算を認定

地下鉄運賃改定議案を可決
〔関連記事は4面に掲載〕

9月市会定例会

9月定例会は、9月12日から10月13日までの32日間開かれ、市長提出議案94件、議員提出議案9件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成16年度決算9件については、公営企業決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成17年度病院事業特別会計などの補正予算7件についても、普通予算及び公営企業等予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、高速鉄道旅客運賃条例の改正や伝統産業活性化推進条例の制定など議案74件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、中国古典文学者である白川静氏の京都市名誉市民の表彰など議案4件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、地方議会制度の充実強化に関する意見書など6件を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

9月12日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など
9月14日 15日	本 会 議	議案の処理、代表質問、公営企業等決算特別委員会の設置など
9月14日 16~30日 10月12日	公 決 委 員 会 監 算 員 委 員 会 公 予 算 委 員 会	正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など
9月14日 10月3・12日	公 予 算 委 員 会 監 算 員 委 員 会	正副委員長の互選、各公営企業会計等の予算の審査など
9月14日 10月3・12日	首 通 予 算 委 員 会 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
9月16・26日 10月3~6日 12日	常 任 委 員 会	付託された議案や請願の審査など
9月27日 10月13日	本 会 議	決算や議案、調議、意見書の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆高速鉄道旅客運賃条例の一部改正

東西線をはじめとする建設費の返済の財政負担が重く、地下鉄事業の経営が大変厳しい状況から、平成8年9月から据え置かれてきた地下鉄運賃を、平均74パーセント引き上げるものです。

なお、小・中・高校生の通学定期券運賃の1年間据置

〔公営企業会計決算の概要等〕

◆病院事業

患者一人一日当たりの収入額及び患者数の減少などにより、総収益は13億4千2百万円(対前年度比72%の減)となり、総費用は院外処方の実施による材料費の減少などにより、13億3千2百万円となり、結果、9千万円の赤字となりました。

◆水道事業

総収益は給水収益の減少などにより、22億6千5百万円(対前年度比11%の減)となりましたが、総費用も資産減耗費や企業債利息等の減少により、32億9千6百万円と減少しました。この結果、8億6千9百万円の黒字となり、累積黒字は52億4百万円となりました。

◆公共下水道事業

総収益は14年から休止されていた汚水資本費補助金の繰入れ等により、56億3千5百万円(対前年度比10%の増)となり、一方、総費用は企業債利息等の減少により、53億1百万円と減少しました。この結果、12億3千4百

◆地下鉄1日乗車券の新設など、乗客の負担軽減と利便性向上策を講じることとした。

◆伝統産業活性化推進条例の制定

伝統産業の活性化を総合的かつ計画的に推進するため、基本理念、市と事業者の責務や市民の役割と共に施策の基本事項を定めるものです。

◆自動車運送(バス)事業

一般会計から生活支援路線補助金の繰入れ等により、総収益は28億8千万円(対前年度比13%の増)と増加しましたが、管理の委託の拡大に伴う委託料や車両更新台数の増加などにより、総費用も20億1千8百万円と増加しました。この結果、8億6千2百万円の黒字となり、累積赤字は12億2千9百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業

駅共同使用料の減少や特例償元金償還金補助金の減額等により、総収益は20億6千2百万円(対前年度比11%の減)と減少し、一方、退職手当の増加等により、総費用は22億1千万円と増加しました。この結果、1億4千8百万円の赤字となり、累積赤字は2千200億4千7百万円となりました。

(このほか、地域水道及び京北町の簡易下水道下水道国民健康保険給付事業の会計決算についても、審議を行いました。)

京都市会だより

第36号

平成18年(2006年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御膳上5
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

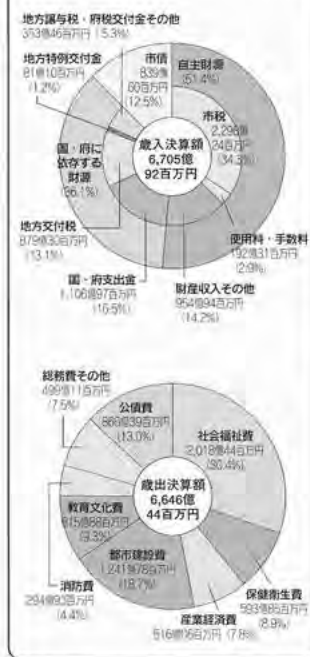


大文字山

平成16年度 一般会計決算を認定 288施設の指定管理者の指定議案を可決

(議案の概要及び付帯決議は4面参照)

平成16年度一般会計 歳入歳出決算の内訳



今回審議した平成16年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

歳入総額6千705億9千2百万円に対し、歳出総額は6千646億4千4百万円となり、歳入歳出差引額は59億4千8百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が70億5千万円あるため、実質収支は1億2百万円の赤字となっています。

平成16年度予算は、国の地方財政計画における徹底した歳入の見直しにより、地方交付税と臨時財政対策債の大幅削減などから、かつてない困難な予算編成となりましたが、新たに「戦略的予算編成システム」を導入し、あらかじめ見通した歳入に見合う歳出予算が編成されました。

予算の執行に際しても、徹底した経費削減と市税徴収率の向上をはじめとする財源の確保に取り組み

ととも、16年7月に策定した「財政健全化プラン」に掲げた具体的取組の早期着手が図られました。これらの結果、実質収支では4年連続の赤字決算となったものの、単年度収支は、2年振りに1億7百万円の黒字となりました。

※1 歳入増収
※2 歳入増収
※3 歳入増収

当年度の実質収支は前年度の実質収支を差引いた額
このほか、京北町の一般会計決算などについても審議を行いました。

(今回審議したそのほかの主な議案は4面に掲載しています。)

11月市会定例会

11月定例会は、11月17日から12月16日までの30日間開かれ、市長提出議案33件、議員提出議案12件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成16年度一般会計歳入歳出決算など決算20件については、普通決算特別委員会を設置して付託、審査のうえ、すべて認定しました。

また、平成17年度一般会計補正予算など5件については、普通予算特別委員会を設置して付託、審査のうえ、可決しました。指定管理者の指定など議案30件については、それぞれ担当の常任委員会で審査を行った結果、市会議員期末手当支給条例の一部改正議案を可決し、他の議案は原案のとおり可決しました。

更に、京都府公安委員会委員の推薦など議案3件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、個人情報保護条例の一部改正など10件の議案を原案のとおり可決しました。

※市会議員期末手当支給条例の一部改正
12月に支給する市会議員の期末手当の支給割合を引き上げようとするもの

■定例会の経過

開催日	本会議	審議内容
11月17日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
11月21日 22日	本会議	議案の処理、普通予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月21日 25日 ~12月7日 15日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計等の決算の審査など
11月21日 12月8日 15日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
11月24日 25日 12月9日 ~12月15日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
11月28日 12月16日	本会議	決算や議案、意見書・決議の議決など

京都市会だより

第37号

平成18年(2006年)
5月15日発行

●発行：京都市会
●編集：市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御膳上8
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



保津峡(小倉山付近)

総額1兆7千505億円の 平成18年度当初予算を可決

市会議員の報酬の5%削減を6年連続で実施

2月定例会は、2月17日から3月17日までの29日間開かれ、市長提出議案136件、議員提出議案7件を審議しました。

2月市会定例会

市長提出議案のうち、平成18年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案20件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。17年度一般会計補正予算など予算案13件とその関連議案1件についても、予算特別委員会で、また、条例の制定など議案68件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

更に、副市長(上原 任)の選任など議案12件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市会議員の報酬の額の特別に関する条例の一部改正など6件の議案を、原案のとおり可決しました。

平成18年度当初予算額(会計別)

会計別	18年度当初予算額	17年度当初予算額	対前年度比	
			金額	率(%)
一般会計	6,957億3,600万円	6,901億6,000万円	59億7,600万円	0.8
特別会計	7,578億9,100万円	7,599億4,700万円	A20億5,600万円	A0.3
小計	1兆4,536億2,900万円	1兆4,501億7,000万円	35億2,200万円	0.2
公営企業会計	2,968億4,600万円	2,951億6,400万円	16億8,200万円	0.6
病院事業	180億5,500万円	158億7,900万円	1億7,600万円	1.1
水道事業	584億2,100万円	563億5,000万円	20億7,100万円	3.7
公共下水道事業	1,144億3,300万円	1,118億1,400万円	26億3,900万円	2.4
自動車運送事業	275億5,900万円	309億4,800万円	A33億8,700万円	A10.9
高速鉄道事業	803億5,800万円	801億7,500万円	1億8,300万円	0.2
合計	1兆7,504億7,500万円	1兆7,452億7,100万円	52億4,000万円	0.3

2月定例会で審議した主な議案の概要等は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成18年度一般会計予算など22会計予算
一般会計の18年度当初予算の規模は6千957億3千8百万円となり、前年度当初予算に比べ0.8%増となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計でも、1兆7千504億7千5百万円となり、前年度当初予算に比べ0.3%増となりました。予算の概要は右下表のとおりです。

◆廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正
廃棄物の処理に要する費用の適正化を図るため、18年4月から一般廃棄物収集運搬業者に係る処理手数料につき必要な措置を講じるとともに、18年10月から市が定期的に収集する一般廃棄物(家庭ごみ、缶びん・ペットボトル等の特定資源ごみ)の処理について、有料指定袋制を導入しようとするものです。

1月臨時議会

直接請求による無防備・平和都市条例制定案を否決

1月臨時議会は、1月23日から1月30日までの8日間開かれ、無防備・平和都市条例制定請求の議案1件を審議しました。議案は、財政総務委員会に付託・審査のうえ、否決しました。

【直接請求による臨時議会の開催】
この臨時議会は、地方自治法の規定に基づき、同条例の制定を求める住民からの直接請求(有効署名数3万6千88筆)を受けて開かれたものです。

【無防備・平和都市条例の趣旨】
憲法の平和の理念、国際人道法や京都市会の非核・平和都市宣言に基づき、ジュネーブ条約に定める無防備地域宣言を行うことにより、住民の生

活と安全、文化を守ることを目指すものです。

【市長が付けた意見と請求人の意見陳述、審議経過】
本市が積極的に平和の実現等に取組んでいること、また無防備地域の条件を満たす権限がなく、本市が宣言を行うことの実効性がないなどの市長の意見が付けられ、議案として市会に提出されました。

議案は、1月23日の本会議で財政総務委員会に付託し、同委員会で請求代表者から条例制定の必要性など意見陳述が行われたうえで審査し、30日の本会議で表決の結果、否決しました。

京都市会だより

第38号

平成18年(2006年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



桃山丘陵の森

国に対する「出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書」などを可決

(2・3面に意見書・決議の内容を掲載)

5月市会定例会

5月定例会は5月16日から30日までの15日間開かれ、市長提出議案55件、議員提出議案7件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成18年度国民健康保険事業特別会計補正予算など3件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正など議案47件については、それぞれ担当の常任委員会が審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
また、人事委員会委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書など議員提出議案6件を原案のとおり可決しました。
また、日置文章副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行った結果、鈴木マサホ議員が選ばれました。

■定例会の経過

日	本会議	内容
5月16日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月18日	本会議	議案の処理、普通予算特別委員会の設置など
5月19日 22日 29日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、付託された補正予算の審査など
5月19日	本会議	代表質問など
5月23日 24日 29日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月30日	本会議	副議長の選挙、議案や意見書の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)
◆平成18年度国民健康保険事業特別会計など3会計補正予算
国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計は、17年度決算において、歳出額に対する歳入不足が見込まれるので、その不足見込額を18年度予算から繰り上げて充用するために必要な経費の補正を行うものです。
なお、補正予算の規模は、10億4千2百万円となります。

◆地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
都市計画に定める祇園町南側地区計画及び西京桂坂地区計画が変更され、新たに祇園町南側A地区、B地区及び桂坂第19地区として区分された区域内に地区整備計画が定められたことに伴い、歴史的細街路等の指定を受けた祇園町A地区において、建築物の壁面の位置の制限内容を定めるなど、それぞれ区域内での建築物に関する制限を定めるものです。

市会議長のあいさつ



京都市会議長
渡野 出 (左京区選出 自民党)

この度、市議長として2年目を迎え、京都市会への市民の皆様への御支援に改めて厚く感謝申し上げます。
自治体の力が問われる今日、市民の皆様を代表する地方議会が果たすべき役割は極めて大きくなっております。
こうした中で、京都市会では、昨年9月にインテリシティ会議中継を開始したほか、今年1月には第2次京都市会改革検討小委員会を設置し、皆様のご期待と信頼に応えられるよう、更なる検討を進めるところです。
今後、「市民より聞かれた魅力あふれる市会」を目指して、一層努力してまいりますので、御理解御協力をお願い致します。

市会副議長就任のあいさつ



京都市会副議長
鈴木マサホ (左京区選出 民主・都みらい)

この度の5月市会において81代の市会副議長に選任されました。議長の後継者として、その責務の重さを日々改めて感じております。
少子・長寿社会、地球温暖化対策、京都創生や安心・安全のまちづくりなど、多くの課題に本市が直面する中、京都市会と併走し、市民の皆様と一緒に、市政のチャレンジ機能や政策立案能力の向上等が求められております。
今後、巻野議長と共に、皆様と一緒に魅力を感じていただける議会づくりを進めるために、全力を挙げてまいりますので、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

京都市会だより

第39号

平成18年(2006年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御膳上る
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



西本願寺のイチョウ

公営企業決算を認定

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄
公営企業の健全な経営に向け、活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は9月8日から10月6日までの29日間開かれ、市長提出議案62件、議員提出議案9件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成17年度決算8件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。

また、障害者自立支援法の一部施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定など議案49件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、撤回された議案2件を除く、47件を原案のとおり可決しました。

更に、人事委員会委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、「市民の信頼回復と服務規律に関する調査特別委員会」の設置や農業委員会委員の推薦など5件を原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は、4面参照)

本市職員の不祥事の原因究明と再発防止に向け、集中調査

相次ぐ本市職員の不祥事に対し、市会では、全常任委員会による連合審査会や、8月臨時会において設置した職員の不祥事に関する調査特別委員会などにおいて、その原因究明と再発防止に向けて、集中的に調査を行いました。

〔常任委員会での集中調査〕

8月21日に連合審査会を開き、市長から不祥事発生の経過等の報告を聴取した後、5日間にわたり各常任委員会で所管局等に対する集中調査を行うとともに、同月28日には連合審査会を開き、市長・副市長に対する総括質疑を行いました。

〔8月臨時会の開会と特別委員会の設置〕

本市職員の不祥事の原因究明及び再発防止策の検討のための特別委員会設置のため、地方自治法に基づき、22人の議員(正副議長、市会運営委員、各常任委員長)により臨時会の招集請求を行い、8月臨時会を開きました。31日の本会議では、市長から抜本改革大綱(2面参照)が示された後、職員の不祥事に関する調査特別委員会を全会一致で設置しました。

〔職員の不祥事に関する調査特別委員会での調査〕

9月19日に説明聴取と資料要求を行った後、3日間にわたる各局別の質疑を経て、10月2日に市長・副市長に対する総括質疑を行い、10月6日の本会議では委員長から調査の経過と結果を報告し、調査を終了しました。

〔新たな特別委員会の設置〕

また、10月6日の本会議では、引き続き、抜本改革大綱の取組の点検と不祥事の再発防止を図るため、新たに市民の信頼回復と服務規律に関する調査特別委員会を設置しました。

■経過

日付	内容	報告聴取
8月21日	連合審査会	報告聴取
8月21日~25日	常任委員会	局別集中調査
8月28日	連合審査会	総括質疑
8月31日	8月臨時会本会議	特別委員会の設置
9月8日	9月定例会本会議	会期の決定など
9月12日~13日	9月定例会本会議	代表質問など
9月19日	職員の不祥事に関する調査特別委員会	説明・資料要求
9月20日~25日	職員の不祥事に関する調査特別委員会	局別質疑
10月2日	職員の不祥事に関する調査特別委員会	総括質疑
10月6日	9月定例会本会議	特別委員会の設置など

■平成17年度公営企業会計決算の概要 (収益的収支・消費税抜)

事業	総収益	総費用	当年純利益
病院事業	138億2,100万円	141億1,300万円	▲2億9,200万円
水道事業	316億1,000万円	312億6,500万円	3億4,500万円
公共下水道事業	524億3,300万円	516億9,900万円	7億3,400万円
自動車運送(バス)事業	216億1,300万円	213億200万円	3億1,100万円
高速鉄道(地下鉄)事業	237億7,700万円	425億6,800万円	▲187億8,900万円

〔このほか地域水道、京北地域水道、特定環境保全公共下水道の各特別会計についても、審議を行いました。〕

京都市会だより

第40号

平成19年(2007年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御膳上る
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



青蓮院のクスノキ

平成17年度 一般会計決算を認定

11月市会定例会

11月定例会は、11月17日から12月15日までの29日間開かれ、市長提出議案61件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成17年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。

また、平成18年度一般会計補正予算など3件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、可決しました。職員退職手当支給条例の一部改正など議案41件については、撤回された議案1件を除き、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、40件を原案のとおり可決しました。

更に、人事委員会委員の選任など議案3件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、認定子ども園の実施に関する意見書など7件の議案を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

11月17日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など
11月21日 22日	本 会 議	議案の処理、予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月21日 24日 6日 14日	普通決算特別 委員	正副委員長の互選、一般会計等の決算の審査など
11月21日 12月 7日 14日	普通予算特別 委員	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
11月21日 12月 7日 14日	公営企業等予算 特別委員会	正副委員長の互選、地域水運特別会計補正予算の審査など
12月 8日 11日 14日	常 任 委 員 会	付託された議案や質問の審査など
12月15日	本 会 議	決算や議案、意見書の議決など

今回審議した平成17年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

歳入総額6千804億1千6百万円に対し、歳出総額は6千715億6千5百万円となり、歳入歳出差引額は88億5千1百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が84億2千万円あるため、実質収支は4億3千1百万円の黒字となっています。

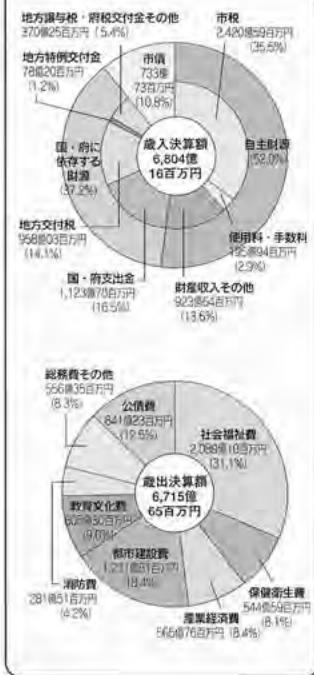
平成17年度予算は、「戦略的予算編成システム」により局裁量権の圧縮により捻出した財源を、政策重点化方針に掲げる重点政策分野に配分するとともに、事務事業評価の結果に基づく各局等主体の施策・事業の再構築など聖域なき改革の断行や自主財源の拡充強化に努め、「財政健全化プラン」に掲げた具体的取組方策の実行が図られました。

予算の執行に際しては、組織を挙げて税収の確保に努めた結果、市税徴収率を7年連続で向上させるなど、累積赤字の解消を目指し、全庁挙げて財源の確保や経費削減が取り組まれました。これら結果、実質収支では5年振りに黒字決算となり、単年度収支も、15億3千3百万円の黒字となりました。

※1 歳入歳出
※2 歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額
※3 当年度収支
※4 当年度の歳入歳出額から前年度の歳入歳出額を差し引いた額

今回審議したそのほかの主な議案は4面に掲載しています。

平成17年度一般会計 歳入歳出決算の内訳



京都市会だより

第41号

平成19年(2007年)

5月1日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御膳上6
●TEL.075-(222) 3697
●FAX.075-(222) 3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



東寺のツツジ

総額1兆7千493億円の
平成19年度当初予算を可決

新たな景観政策の策定関連議案と
市会決議を可決(2・3面に決議の内容を掲載)

2月市会定例会

2月定例会は、2月20日から3月13日までの22日間開かれ、市長提出議案15件、議員提出議案12件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成19年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案19件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

18年度一般会計補正予算など予算案13件とその関連議案2件についても、予算特別委員会でも、また、条例の制定など議案48件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、市長等の給与の額の特例に関する条例の一部改正など議案11件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市議員政治倫理条例の制定など9件の議案を、原案のとおり可決しました。

2月定例会で審議した主な議案の概要等は次のとおりです。(結果は4面参照)

「市長提出議案」

◆平成19年度一般会計予算など22会計予算
一般会計の19年度当初予算の規模は6千98億5千万円で、前年度当初予算に比べ、07%減となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計でも、1兆7千493億9千5百万円で、前年度当初予算に比べ、01%減となりました。予算の概要は右下表のとおりです。

◆新たな景観政策の策定関連議案

○眺望景観創生条例の制定
特定の視点場から特定の視対象を眺めるときの視界に入る建築物の高さ、形態及び意匠の制限を強化するなど、京都の優れた眺望景観を創出し、

市会議員政治倫理条例を制定

「議員提出議案」

◆市会議員政治倫理条例の制定
市会議員の責務や政治倫理基準など議員の政治倫理に関する基本となる事項を定めることにより、議員の政治倫理のより一層の向上に努め、市民に信頼される市会づくりを進め、市政の健全な発展に寄与しようとするものです。

■平成19年度当初予算額(会計別)

会計別	19年度当初予算額	18年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率%
一般会計	6,985億5,000万円	5,957億3,800万円	△48億8,800万円	△0.7
特別会計	7,477億4,300万円	7,578億5,100万円	△101億4,800万円	△1.3
小計	1兆4,365億9,300万円	1兆4,536億2,900万円	△150億3,600万円	△1.0
公営企業会計	3,107億2,000万円	2,968億4,800万円	138億5,800万円	4.7
病院事業	165億1,900万円	160億5,500万円	4億5,400万円	2.9
水道事業	577億5,000万円	584億2,100万円	△7億7,100万円	△1.2
公共下水道事業	1,148億3,500万円	1,144億5,300万円	3億8,200万円	0.3
自動車運送事業	286億3,000万円	275億5,900万円	10億7,100万円	3.9
高速鉄道事業	930億1,300万円	803億5,800万円	126億5,500万円	15.7
合計	1兆7,492億9,500万円	1兆7,504億7,500万円	△11億8,000万円	△0.1

これらを将来の世代に承継しようとするものです。

●屋外広告物等に関する条例の一部改正
看板や広告塔などの屋外広告物等の位置、規模、形態、意匠の制限を強化するなど、良好な都市景観を創出し、安全な都市環境を確保しようとするものです。

◆新たな景観政策については、自然風景保全条例の一部改正など4議案についても、審議しました。

◆市会議員の報酬の額の特例に関する条例の一部改正
現下の厳しい財政状況を踏まえて、議員報酬の5%削減を19年度も引き続き実施するものです。これは、平成13年度から7年連続の取組となります。

京都市会だより

特 集
号

平成19年
(2007年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通築地土居
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

本号は保存版として活用してください。



京都市会だより編

新市会の発足を心よりお慶び申し上げます。昨年末に地方分権改革推進法が成立し、地方自治体には、これまで以上に、個性あるまちづくりや持続的な発展が可能な都市経営戦略の推進が求められています。このような時代に対応するためには、市政を担う車の両輪である市会と行政との連携をより強固なものにすることが極めて大切であります。



京都市長
桝本頼兼

新市会によせて

こうした認識の下、京都市では、これまでから市会議員の先生方との真摯な議論を基に、全国でもトップクラスの行財政改革や、「国家戦略としての京都創生」など、50年後、100年後を見据えた様々な重要政策を展開して参りました。引き続き、この9月から実施する「新たな景観政策」をはじめ、子育て支援、環境政策及び安心安全と福祉のまちづくり、更には、「歩いて楽しむまちなか戦略」など、「未来への明るい展望を切り拓く」政策をしっかりと推進して参ります。

今後とも市会の先生方と、建設的で積極的な議論を重ねながら、「時を超え、美しくひと輝く 歴史都市・京都」の更なる発展に邁進して参る所存でございます。

4月8日に行われた京都市会議員選挙で69人の議員が決まり、新しい市会が発足しました。私たちは、5月市会定例会で、第73代議長並びに第82代副議長に選出されましたが、



京都市会副議長
宮本 徹



京都市会議長
内海貴夫

新市会の発足にあたって

その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今、本市は、地方分権が進む中で、少子長寿対策、環境や景観政策、また京都創生や安心・安全のまちづくりなど、多くの課題に直面しております。

こうした中で、京都市会におきましては、市民の皆様への期待と信頼にこたえ、行政に対するチェック機能の役割を十二分に果たすことはもちろん、議会の機能をより一層発揮することが求められていると考えております。

今後とも、様々な議会改革を実施する中で、市民の皆様への思いにしっかりと寄り添う、より開かれた市会を目指し、誠心誠意努力を傾けてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都市会議員 を紹介します

4月8日の京都市会議員選挙で各区から69人の議員が選出されました。
議員の任期は平成23年4月29日までの4年間です。



井上与一郎 高橋泰一朗 椋田 知雄 西脇 尚一 加藤広太郎
右京区伏見区南區下京区右京区
自 民 ⑧ 自 民 ⑨ 自 民 ⑨ 自 民 ⑩ 共 産 ⑦



橋村 芳和 小林 正明 加藤 盛司 繁 隆夫 山中 渡 倉林 明子 井坂 博文 北山ただお 佐藤 和夫 岩橋ちよみ
伏見区北區中區山科区伏見区北區山科区伏見区右京区
自 民 ④ 自 民 ④ 自 民 ⑤ 自 民 ④ 共 産 ⑥ 共 産 ④ 共 産 ⑤ 共 産 ⑦ 共 産 ④ 共 産 ④



寺田 一博 津田 大三 田中 英之 せのお直樹 井上けんじ 西野さち子 玉本なるみ 赤阪 仁
上京区中區右京区西區南區伏見区北區伏見区
自 民 ② 自 民 ② 自 民 ③ 共 産 ④ 共 産 ④ 共 産 ③ 共 産 ③ 共 産 ②



吉井あきら 田中 明秀 くらた共子 河合ようこ 樋口 英明 宮田えりこ
山科区西區上京区右京区西區左京区山科区
自 民 ① 自 民 ① 共 産 ② 共 産 ② 共 産 ② 共 産 ②



加藤 あい 西村 善美 とがし 豊
左京区右京区左京区
共 産 ② 共 産 ① 共 産 ①

この表の見方
氏 名
選 出 区
会派(略称)、当選回数



議長席から見た議席

※議長席から見ると、議員はこのように着席しています。

日本共産党
副団 副団 団 長 長 長
宮 榎 西 西 と 玉 せ 佐 北 河 加 加 岩 井 赤 井 倉 山
田 口 村 野 し 本 お 藤 た 山 合 藤 藤 橋 上 阪 坂 林 中
え 英 善 さ ち なる 直 和 共 た よう 広 あ ち け 博 明
り こ 明 美 子 豊 み 樹 夫 子 お 郎 い み じ 仁 文 子 渡
(19人)

自由民主党
副団 副団 団 長 長 長
吉 山 山 椋 卷 橋 西 西 中 富 寺 津 田 田 田 高 繁 加 大 大 内 小 井
井 本 元 田 野 村 脇 村 村 田 田 中 中 中 橋 藤 地 西 海 林 上
あ 恵 あ 知 芳 尚 義 三 き 一 大 英 七 明 泰 隆 盛 貴 正 与
き ら 一 雄 渡 和 一 直 助 お 博 三 之 子 秀 朗 夫 司 浩 均 夫 明 郎
(23人)

会派の構成
五十音順

京都市会だより編

ご存知ですか？市会の一年

**9月・11月定例会
(決算市会)**
9月定例会では、病院、上下水道、市バス、地下鉄の各公営企業会計の前年度決算などを審議する公営企業等決算特別委員会を、また、11月定例会では、一般会計などの前年度決算を審議する普通決算特別委員会を、それぞれ設置し、審査します。

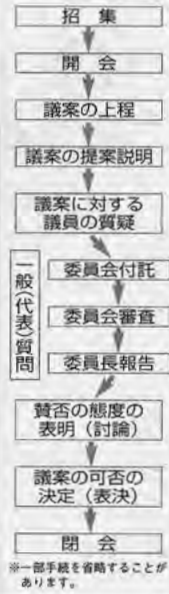
常任委員会と特別委員会
本会議で審議する内容が複雑で幅広い分野にわたっていることから、専門的・効率的に審査・調査するための常任委員会を設けています。京都市会では市の事務の部門別に5つの常任委員会を設置しており、議員は少なくとも1つの常任委員会の委員になります。
また、特定の事件の審査・調査等を行うため、必要に応じて特別委員会を市会の議決により設置します。予算や決算の審査を行うための特別委員会などが設けられます。
なお、委員会は市会の閉会中においても、請願審査や市の事務調査など1年を通して活発な活動を行っています。



2月定例会（予算市会）
2月定例会では、新年度の予算やその関連議案などを審議します。

代表質疑
2月定例会の本会議では、各会派を代表する議員が、当初予算やその関連議案について市長などに疑問点をただす代表質疑を行います。

会議の流れ



代表質問
5月、9月、11月定例会の本会議では、各会派を代表する議員が、市の事務一般について市長などに質問する代表質問を行います。

会派が結成されました

会派とは、主義主張や考えを同じくする議員の集まりです。京都市会では、5月市会に先立ち4つの会派が結成されました。

会派名	議員数	電話番号
自由民主党 京都市会議員団	23人	222-3718
日本共産党 京都市会議員団	19人	222-3728
民主・都みらい 京都市会議員団	14人	222-3724
公明党 京都市会議員団	12人	222-3732

(議員数は、6月1日現在)



※改装工事により、若干配座が異なっている場合があります。

市会をもっと身近に

「本会議を傍聴してみませんか」

予算や市の基本方針、重要な施策、地域の身近な問題などについて、議員が質問し、市長が答弁する様子や、議案を審議する様子など、本会議を傍聴することができます。
本会議開会の1時間前から、市役所本庁舎1階の庁舎案内所で、先着順に傍聴券を交付していますので、お受け取りのうえ、傍聴してください。
身体に障害がある方には、車いすでの傍聴や盲導犬・聴導犬の同伴ができるよう席を用意しています。また、開会日の5日前までに申請していただければ、傍聴席で手話通訳を実施します。

「委員会のモニター視聴ができます」

常任委員会及び予算・決算特別委員会の質疑の模様を、市会モニター視聴室でどなたでもご覧いただけます。(盲導犬等も同伴できます)。
委員会開会の1時間前から、市役所本庁舎2階の市会受付で先着順に視聴券を交付していますので、お受け取りのうえ、ご覧ください。

「京都市会ホームページにアクセスを」

市会のしくみ、顔写真入りの議員名簿、定例会・臨時会の審議結果や会議録録音システムなど市会の最新情報をホームページでご覧いただけます。
また、本会議の代表質問・代表質疑(録音放映)と予算・決算特別委員会の市長総質疑(生中継と録音放映)の模様をご覧いただける議会中継も行っています。
ぜひ、ご覧ください。

京都市会ホームページアドレス
<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



京都市会だより

第42号

平成19年(2007年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中央区南町通御池上
●TEL 075 (222) 3697
●FAX 075 (222) 3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



雲ヶ畑

路上喫煙等の禁止等に関する条例の制定に
付帯決議を付けて可決
(2・3面に付帯決議の内容を掲載)

5月市会定例会

市会議員一般選挙後、初めての市会となる5月定例会は、5月15日から29日までの15日間開かれました。

正副議長の選挙、各委員会委員の選任及び正副委員長決定など、新しい市会の構成を決めた後、市長提出議案33件、議員提出議案2件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算など2件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、路上喫煙等の禁止等に関する条例の制定など議案15件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、副市長(山崎一樹)の選任など議案16件についても、原案のとおり可決しました。

そのほか、青木かつゆき議員の辞職を許可し、議員提出議案2件を否決しました。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成19年度国民健康保険事業特別会計など2会計補正予算

国民健康保険事業特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計では、18年度決算において、歳出額に対する歳入額不足が見込まれるので、その不足見込額を19年度予算から繰り上げて充用するために必要な経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、88億3千3百万円となります。

◆職員の公正な職務の執行の確保に関する条例の制定

本市職員の職務の執行に関する不正な要求や不正な言動を伴う要望等に対し適正に対処するため、

当該要望等がなされた場合の対応等に関し必要な事項を定め、職員の公正な職務の執行を確保しようとするものです。

◆路上喫煙等の禁止等に関する条例の制定

路上喫煙等による身体や財産への被害を防止するとともに、健康への影響の抑制を図り、もって市民や観光旅行者等の安心かつ安全で健康な生活の確保に寄与しようとするものです。路上喫煙等禁止区域の指定に関する事項や罰則などを定めています。

※ 路上喫煙等
道路、公園等において、たばこを燃やして又は火の付いたたばこを所持すること。

■定例会の経過

5月15日	本会議	会期の決定など
5月17日	本会議	正副議長選挙、各委員会委員の選任、議案の提案説明、普通予算特別委員会の設置など
5月17日 18日 25日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、付託された補正予算の審査など
5月17日 21日 22日 25日	常任委員会	正副委員長の互選、付託された議案や請願の審査など
5月28日	本会議	代表質問など
5月29日	本会議	議案や意見書の議決など

京都市会だより

第43号

平成19年(2007年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御所上
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



栗尾峠の展望

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄

公営企業決算を認定

公営企業の健全な経営に向け、活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月6日から10月5日までの30日間開かれ、市長提出議案37件、議員提出議案11件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成18年度決算8件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成19年度一般会計の補正予算など3件についても、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の改正など議案22件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、能狂言師の茂山七三氏と小説家の瀬戸内寂聴氏の名誉市民の表彰など議案4件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、原簿症認定と被爆者救済対策強化についての意見書など8件の議案を原案のとおり可決しました。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正
本市職員に1日に30分認められている有給の休憩時間を、国家公務員の休憩時間が廃止されたことに準じ、20年1月から廃止しようとするものです。

◆工事委託契約の締結(京福電気鉄道嵐山線踏切電)

◆公営企業会計決算の概要

◆病院事業
外来患者数の減少等により、総収益は13億1千1百万円(対前年度比0.1%の減)となり、総費用は薬品費の減少等により、13億5千6百万円となりました。この結果、1億4千5百万円の赤字となりました。累積赤字は4億8千万円となりました。

◆水道事業
総収益は給水収益の減少等により、31億6千9百万円(対前年度比17%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、31億4千6百万円と減少しました。この結果、1億7千7百万円と6年ぶりの赤字となり、累積赤字は47億2千7百万円となりました。

◆公共下水道事業
総収益は下水道使用料収入の減少や一般会計からの負担金の減少等により、76億9千9百万円(対前年度比33%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、50億6千8百万円と減少しました。この結果、4億3千1百万円と6年連続の

黒字となりました。また、累積赤字は29億8千4百万円となりました。

◆自動運送(バス)事業
運送収益や一般会計補助金の増加等により、総収益は4億5千3百万円(対前年度比16%の増)と増加する一方、職員数の削減による人件費の減少等により、総費用は21億3千9百万円と減少しました。この結果、8億1千4百万円と4年連続の黒字となりました。また、累積赤字は13億4百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業
一般会計補助金の増加等により、総収益は25億5千3百万円(対前年度比15%の増)と増加する一方、職員数の削減等による経常人件費の減少や減価償却費の減少等により、総費用は48億1千3百万円と減少しました。この結果、16億6千万円の赤字となり累積赤字は2千78億9千7百万円となりました。

(このほか、東山線、京北地城水道、特定環境保全公営下水道の各特別会計についても、審議を行いました。)

定例会の経過

9月 6日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など
9月10日 11日	本 会 議	議案の処理、代表質問、公営企業等決算特別委員会の設置など
9月10日 12~14日 18~21日 25-26日	公営企業等 決 算 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など
10月 4日	普通予算 特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
9月10日 27日	普通予算 特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
10月 4日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
9月28日 10月 1日 4日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
10月 5日	本 会 議	決算や議案、請願、意見書の議決など

京都市会だより

第44号
平成20年(2008年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/



北野天満宮の梅

平成18年度 一般会計決算を認定

11月市会定例会

11月定例会は、11月16日から12月14日までの29日間開かれ、市長提出議案63件、議員提出議案12件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成18年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。
また、平成19年度一般会計補正予算など3件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、可決しました。市営住宅条例の一部改正など議案35件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
さらに、控訴の提起など議案11件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、子どもたちの携帯電話利用に関する意見書など7件の議案を原案のとおり可決しました。

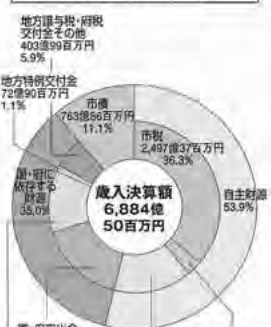
■定例会の経過

開催日	委員会	審議内容
11月16日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
11月20日 21日	本会議	議案の処理、予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月20日 22日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計の決算の審査など
12月3日 5日・13日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
11月20日 12月6日 13日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、病院事業特別会計補正予算の審査など
11月20日 12月6日 13日	公営企業等特別委員会	正副委員長の互選、議案の審査など
12月7日 10日 13日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月14日	本会議	決算などの議案、意見書の議決など

今回審議した平成18年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)
歳入総額6千884億5千万円に対し、歳出総額は6千786億5千6百万円となり、歳入歳出差引額は97億9千4百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が9億8千6百万円あるため、実質収支は7億8百万円の黒字となっています。
平成18年度予算は、引き続き財政非常事態の下、財政健全化の道筋を一層確かなものにするため、前年度に引き続き、戦略的予算編成システムにより予算が編成され、総人件費の抑制など財政健全化プランに掲げる取組が強力に進められました。そのうえで、削減目標の圧縮により捻出した財源は、政策重点化方針に掲げる重点政策分野に配分されました。

予算の執行に際しては、組織一丸となり税収の確保に努めた結果、市税徴収率が8年連続で向上するなど、自主財源の拡充強化が図られるとともに、削減努力反映制度の創設など年間を通じての経費削減の取組が一層進められました。これらの結果、実質収支では2年連続の黒字決算となりました。単年度収支も、2億7千7百万円の黒字となりました。

平成18年度一般会計 歳入歳出決算の内訳



(今回審議したもののほかの主な議案は4面に掲載しています)

京都市会だより

第45号

平成20年(2008年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上3
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



蹴上浄水場のツツジ

総額1兆6千656億円の
平成20年度当初予算を可決

2月市会定例会

2月定例会は、2月29日から3月25日までの26日間開かれ、市長提出議案72件、議員提出議案13件を審議しました。

市長提出議案のうち、20年度一般会計予算など予算案23件とその関連議案16件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。19年度一般会計補正予算など予算案12件とその関連議案3件についても、予算特別委員会で、また、後期高齢者医療に関する条例の制定など議案14件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、副市長(細見 吉郎)の選任など議案4件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、職員不祥事に関する調査特別委員会の設置や政務調査費の交付に関する条例の一部改正など12件の議案を、原案のとおり可決しました。

なお、2月29日の本会議において、さきの市長選挙で当選した門川市長の就任のあいさつが行われました。

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

〔市長提出議案〕

◆平成20年度一般会計予算など23会計予算
20年度当初予算は、市長選挙が20年2月に執行されたことから、緊急を要する一部の事業を除いて、人件費など任意に削減できない義務的経費や継続的な事業経費を中心とする、いわゆる骨格予算として編成されました。

職員不祥事に関する調査特別委員会を設置

〔議員提出議案〕

◆職員不祥事に関する調査特別委員会の設置
市民の信頼回復と服務規律に関する調査特別委員会の調査後においても、職員の服装休暇の不正取得や職場離脱による服務規律違反が新たに発生したことから、不祥事根絶に向けた職員の意識改革の徹底と職場風土の刷新に関して集中的に審査するため、特別委員会を設置するものです。

◆政務調査費の交付に関する条例の一部改正
議員や会派の調査研究に資するため交付される政務調査費について、これまで、1件5万円以上の支出(人件費等を除く)を対象としていた領収書等の証拠書類の提出を、すべての支出を対象とするなど、その使途の更なる透明化を図るものです。

そのため、一般会計の20年度当初予算の規模は6千595億3千5百万円で、前年度当初予算に比べ、45%減となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計でも、1兆6千655億5千1百万円で、前年度当初予算に比べ、48%減となりました。予算の概要は右表のとおりです。

平成20年度当初予算額(会計別)

会計別	20年度当初予算額	19年度当初予算額	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,595億3,500万円	6,908億5,000万円	△313億1,500万円	△4.5
特別会計	6,788億2,900万円	7,477億4,300万円	△689億1,400万円	△9.2
小計	1兆3,383億6,400万円	1兆4,385億9,300万円	△1,002億2,900万円	△7.0
公営企業会計	3,271億8,700万円	3,107億2,000万円	164億6,500万円	5.3
病院事業	177億円	165億1,900万円	11億8,100万円	7.1
水道事業	606億5,800万円	577億5,000万円	29億5,300万円	5.1
公共下水道事業	1,354億6,600万円	1,148億3,500万円	206億3,100万円	18.0
自動車運送事業	280億1,700万円	286億3,000万円	△6億1,300万円	△2.1
高速鉄道事業	853億4,600万円	930億1,300万円	△76億6,700万円	△8.2
合計	1兆6,655億5,100万円	1兆7,492億9,500万円	△837億4,400万円	△4.8

京都市会だより

第46号

平成20年(2008年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中區区中町御池上る
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



宇治川派流

門川市長の 平成20年度肉付補正予算を可決

5月市会定例会

5月定例会は5月16日から6月5日までの21日間開かれ、市長提出議案46件、議員提出議案6件を審議しました。市長提出議案のうち、平成20年度一般会計補正予算など8件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、京北区域内における建築物の制限に関する条例の制定など議案20件については、撤回された議案1件を除き、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案18件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、地方議会議員の位置付けの明確化に関する意見書など5件の議案を原案のとおり可決しました。

また、内海貴夫議長と宮本徹副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、議長に富きくお議員、副議長に小林あきろう議員がそれぞれ選ばれました。

肉付補正後の平成20年度一般会計予算の内訳 (行政目的別)

区分	補正額	補正後の額	対前年度比較	
			金額	率(%)
社会福祉費	12億1,700万円	2,178億3,600万円	48億8,700万円	2.3
保健衛生費	3億5,000万円	490億8,200万円	△88億1,000万円	△15.2
産業経済費	62億3,400万円	698億8,100万円	128億5,700万円	22.5
都市建設費	130億7,800万円	1,165億2,700万円	△133億3,000万円	△10.2
教育文化費	17億	587億8,400万円	△19億6,100万円	△3.2
消防費	2億3,000万円	300億7,700万円	△8億3,900万円	△2.7
総務費その他	72億3,800万円	629億8,600万円	47億5,800万円	8.2
公債費	-	843億8,200万円	11億7,000万円	1.3
合計	300億2,000万円	6,895億5,500万円	△12億9,500万円	△0.2

今回審議した平成20年度補正予算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

今回の補正予算は、いわゆる骨格予算であった20年度当初予算に対し、市長のメッセージを具体化する政策的事業や新規事業に必要な経費の追加補正を中心とする肉付予算として編成されたものです。

その規模は、一般会計300億円、特別会計15.9億円、公営企業会計27億円、合わせて486億円となりました。

この結果、一般会計の20年度予算の規模は6千895億5千500万円、前年度当初予算に比べ0.2%減となりました。内訳は、右下表のとおりです。

また、特別会計と公営企業会計を合わせた合計は、1兆7千141億5千800万円、前年度当初予算に比べ、2.0%減となりました。

就任あいさつ



京都市会副議長
小林 あきろう
(上京区選出 民主都みらい)



京都市会議長
(富) きくお
(山科区選出 自民党)

私たちは、5月市会定例会において、第74代市会議長並びに第83代市会議長に選出されました。誠に光栄なこと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

地方分権時代といわれる今日、大都市をはじめ地方自治体の力量が改めて問われる中で、地方議会の果たす役割はかつてなく重大なところであります。京都市におきましても、依然厳しい財政状況の下で、少子高齢化の進行、安心・安全・環境や景観、また京都創生など多くの課題に的確に対応して、明日のまちづくりを進めていかなければなりません。

こうした中、京都市会におきましても、市政を監視していくことはもとより、調査機能、政策立案機能を発揮していくことが重要であると考えております。

このため、私たち議員は、市民の代表としての初心を忘れず、政策のチェックや提言など自らの見識・能力を高める研鑽・努力をより一層重ね、市民に信頼される、開かれた市会づくりに取り組む所存であります。

今後とも、市民の皆様方からの期待と信頼に応えるため、全身全霊を傾けてまいりますので、ご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

京都市会だより

第47号

平成20年(2008年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



御池通のアイランドレイク(水の浮島)

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄
平成19年度公営企業決算を認定
公営企業の健全な経営に向け、活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月4日から10月3日までの30日間開かれ、市長提出議案34件、議員提出議案11件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成19年度決算8件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成20年度一般会計の補正予算など3件についても、普通予算特別委員会及び公営企業等予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、都市計画関係手数料条例の一部改正など議案19件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、発生物学者である岡田節人氏の名譽市民の表彰など議案4件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、非食用事故米の不正規流通事件に関する意見書など11件の議案すべてを原案のとおり可決しました。

経過	本会議	議案	内容
9月4日	本会議	議案	会期の決定、議案の提案説明など
9月8日	本会議	議案	議案の処理、公営企業等決算特別委員会の設置、代表質問など
9月8日	公営企業等決算特別委員会	議案	正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など
10月16日	公営企業等決算特別委員会	議案	正副委員長の互選、公営企業会計補正予算の審査など
10月22日	公営企業等決算特別委員会	議案	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
9月8日	公営企業等普通予算特別委員会	議案	正副委員長の互選、公営企業会計補正予算の審査など
10月2日	普通予算特別委員会	議案	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
9月26日	常任委員会	議案	付託議案や請願の審査など
10月2日	常任委員会	議案	付託議案や請願の審査など
10月3日	本会議	議案	決算の認定、議案の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

- ◆平成20年度一般会計補正予算(2件)
 - 原油等価格高騰対策に要する経費のほか、地下鉄東西線の第三セクター区間を直営化することに係る経費等を補正するもので、補正総額は41.2億4千万円です。
- ◆京京渉成小学校新築工事請負契約の締結
 - 下京渉成小学校を新築するため、工事契約を締結しようとするものです。同小学校は、下京区の六条院、楠瀬、崇仁の3小学校を統合するもので、平成22年4月の開校に向けて新校舎を整備します。

公営企業会計決算の概要

- ◆病院事業
 - 総収益は入院収益の増加等により、14.1億4千万円(対前年度比24%の増)となり、総費用は手術等にかかる材料費の増加等により、14.1億8千5百万円となりました。この結果、4千4百万円の赤字となり、累積赤字は5億2千4百万円となりました。
- ◆水道事業
 - 減価償却対象の見直し等による特別利益が生じたことなどにより、総収益は3.13億9百万円(対前年度比0.8%の増)と増加する一方、企業債支払利息の減少等により、総費用は3.06億8百万円と減少しました。この結果、7億1百万円と2年ぶりの黒字となり、累積黒字は54億2千8百万円となりました。
- ◆公共下水道事業
 - 総収益は下水道使用料収入の減少等により、50.2億5千8百万円(対前年度比0.9%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、49.3億9千6百万円となりました。この結果、8億6千2百万円と7年連続の黒字となり、累積赤字は21億2千2百万円となりました。
- ◆自動車運送(バス)事業
 - 総収益は運送収益や一般会計補助金の増加等により、22.4億3千7百万円(対前年度比2.2%の増)となり、総費用は原油価格の高騰による燃料費の増加等により、21.5億5千4百万円となりました。この結果、8億8千3百万円と5年連続の黒字となり、累積赤字は1.2億2千1百万円となりました。
- ◆高速鉄道(地下鉄)事業
 - 地下鉄東西線一、二、三、太秦天神川間開通などによる一般旅客数の増加等により、総収益は25.7億4千万円(対前年度比2.7%の増)と増加する一方、企業債支払利息の減少等により、総費用は41.6億1千5百万円と減少しました。この結果、前年度に比べ改善は見られたものの15.8億7千5百万円の赤字となり、累積赤字は2千98億7千2百万円となりました。

〔このほか地産水産、京北地産水産、特定環境保全公共下水、水道の各特別会計についても、審議を行いました。〕

京都市会だより

第48号

平成21年(2009年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通藤屋上
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



賀茂川

平成19年度 一般会計決算を認定

平成19年度

11月市会定例会

11月定例会は、11月18日から12月16日までの29日間開かれ、市長提出議案59件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成19年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。

また、平成20年度一般会計補正予算など5件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、可決しました。地域改善対策奨学金等の返還の債務の取扱いに関する条例の制定など議案35件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、ノーベル物理学賞を受賞された益川敏英氏の名誉市民の表彰など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

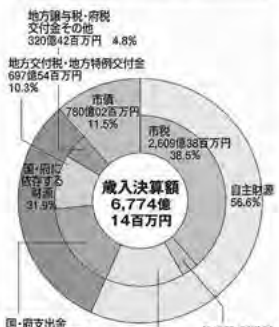
議員提出議案については、危険な気候を回避するために「気候保護法」の制定を求める意見書や京都の保育水準の維持拡充を求める決議など7件の議案を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

開催日	委員会	審議内容
11月18日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
11月20日	本会議	議案の処理、予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月20日 25~28日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計等の決算の審査など
11月20日 12月8日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
11月20日 12月8日	公営企業等予算特別委員会	正副委員長の互選、病院事業特別会計補正予算の審査など
12月9日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月16日	本会議	決算や議案、意見書の議決など

今回審議した平成19年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

平成19年度一般会計 歳入歳出決算の内訳



平成19年度の予算は、引き続き財政非常事態の下、市政改革実行プランと財政健全化プランに掲げる取組を強力に推進することとされ、行政評価システムを活用した施策・事業の再構築と、職員数の適正化等による総人件費の抑制などの歳出削減が進められました。

また、地方交付税等が大幅な減収となる状況の

中、歳入確保のため市税徴収率の更なる向上や保有資産の有効活用が進められました。

そのうえで、局裁量枠の圧縮により捻出した財源を政策重点化方針に掲げる重点政策分野に配分するなど、基本計画第2次推進プランの達成に向けて更なる前進が図られました。

これらの結果、実質収支では3年連続の黒字決算となりましたが、単年度収支は、平成15年度以来4年ぶりに3億2百万円の赤字となりました。

※1 実質収支は、繰上り繰下りを含む繰上り繰下りを含む歳入歳出の差額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた額
※2 単年度収支は、当該年度の歳入歳出の差額から翌年度の繰上り繰下りを含む繰上り繰下りを含む歳入歳出の差額を差し引いた額
(今回審議したそのほかの主な議案は4面に掲載しています)

京都市会だより

第49号

平成21年(2009年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中區中町通御池上本
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



五条通

総額1兆6千518億円の
平成21年度当初予算を可決

2月市会定例会

2月定例会は、2月19日から3月19日までの29日間開かれ、市長提出議案121件、議員提出議案10件を審議しました。

市長提出議案のうち、21年度一般会計予算など予算案23件とその関連議案42件については、一つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。20年度一般会計補正予算など予算案14件とその関連議案5件についても、予算特別委員会で、また、自転車等放物防止条例の一部改正など議案23件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、副市長(星川茂、由木文彦)の選任など議案14件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の制定など8件の議案を原案のとおり可決しました。

平成21年度当初予算額(会計別)

会計別	21年度当初予算額	20年度当初予算額 (肉付補正後)	対前年度比較	
			金額	率(%)
一般会計	6,939億9,300万円	6,895億5,500万円	44億3,800万円	0.6
特別会計	6,531億200万円	6,832億6,800万円	△301億6,600万円	△4.4
小計	1兆3,470億9,500万円	1兆3,728億2,300万円	△257億2,800万円	△1.9
公営企業会計	3,047億2,200万円	3,298億9,500万円	△251億7,300万円	△7.6
病院事業	185億9,500万円	177億円	8億9,500万円	5.1
水道事業	548億1,200万円	606億5,800万円	△58億4,600万円	△9.6
公共下水道事業	1,057億6,800万円	1,354億6,600万円	△296億9,800万円	△21.9
自動車運送事業	257億8,900万円	281億2,100万円	△23億3,200万円	△8.3
高速鉄道事業	997億5,800万円	879億5,000万円	118億800万円	13.4
合計	1兆6,518億1,700万円	1兆7,027億1,900万円	△509億100万円	△3.0

2月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

(市長提出議案)

◆平成21年度一般会計予算など23会計予算

一般会計の21年度当初予算の規模は6千939億9千300万円、前年度肉付補正後予算に比べ、0.6%増となりました。また、公営企業会計などを合わせた合計では、1兆6千518億1千700万円、前年度肉付補正後予算に比べ、3%減となりました。予算の概要は右下表のとおりです。

◆平成20年度一般会計補正予算など14会計予算

国の補正予算に対応した地域活性化・生活対策や子育て応援特別手当などのほか、職員の退職手当に要する経費等を、国庫支出金、市債等を財源として補正するものです。補正総額は、

300億2千200万円です。

◆「コミュニティセンター」条例の一部改正

コミュニティセンターを様々な行政課題に対応した施設に転用することとし、平成21年度に相談事業を廃止して、暫定的に貸館事業を実施するなどの見直しを行い、平成22年度末まで「コミュニティセンター」を廃止しようとするものです。

(議員提出議案)

◆市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の制定

現下の厳しい財政状況を踏まえて、平成21年度の議員報酬を5%削減するものです。平成13年度から平成19年度まで実施した5%削減措置を引き続く取組となります。

京都市会だより

第50号

平成21年(2009年)
7月15日発行

●発行 / 京都市会
●編集 / 市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通東側上る
●TEL.075 (222) 3697
●FAX.075 (222) 3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



ねねの道

国に対する「新型インフルエンザ対策」に関する意見書などを可決
(23面に意見書の内容を掲載)

京都市会だより編

就任あいさつ



京都市会副議長
安孫子 和子
(中居通出 民主・櫻井らじ)



京都市会議員
櫻井 隆夫
(伏見通出 自民党市議員)

私たちは、5月市会定例会において、第75代市会議長並びに第84代市会副議長に選出されました。誠に光栄なこと存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

地方分権の進展に伴い、地方自治体の権限や機能が拡大する中で、それぞれの自治体の政策の監視機能を果たすべき役割と責任はますます重大なようになっております。

京都市におきましても依然厳しい財政状況のもと、先進的な環境政策、少子高齢対策、経済の活性化、景観の保全・再生、都市基盤の整備などの課題に的確に対応し、未来のまちづくりを進めることが求められております。

こうした中、京都市会では、市政に対する監視はもとより、市民意見を的確に反映した政策立案機能や調査機能を発揮し、開かれた魅力ある市会づくりを進めていくことが重要であると考えております。私たちは市民の代表として、自らの見識・能力を高める研鑽、努力を重ねながら、不断の議会改革に取り組みを進めてまいります。

今後とも市民の皆様のご期待と信頼にこたえるため、誠心誠意全力を傾注してまいりますので、ご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

5月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成21年度一般会計補正予算など4会計予算
国補助金等を活用し、環境モデル都市として環境共生のまちづくりを進める取組を加速させるほか、雇用対策事業の追加など、雇用の確保と産業振興・観光振興の更なる推進に要する経費等を補正するものです。また、国民健康保険事業特別会計において、前年度の歳入不足を補う繰上充用に要する経費を補正するものです。

正額は、一般会計が5億7千4百万円、4会計の合計が10億7千5百万円です。

◆自転車等駐車場条例の二部改正
自転車や原動機付自転車の利用者の利便の増進を図るとともに、自転車等の放置の防止に資するため、北区西賀茂大道口町と中京区御射山町に計約1千3百台分の駐輪場を設置するものです。

5月市会定例会

5月定例会が5月15日から5月29日までの15日間開かれました。

今回の定例会では、富きくお議長と小林あきろう副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、新議長に櫻井隆夫議員、新副議長に安孫子和子議員がそれぞれ選ばれました。

議長については、市長提出議案29件、議員提出議案8件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成21年度一般会計補正予算など7件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

自転車等駐車場条例の一部改正など議案17件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

そのほか、市選挙管理委員及び補充員などの選挙を行い、新型インフルエンザ対策に関する意見書など議員提出議案8件を原案のとおり可決しました。

定例会の経過

開催日	委員会	議題
5月15日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月19日 20日	本会議	正副議長の選挙、普通予算特別委員会の設置、議案の委員会付託、代表質問など
5月19日 21-28日	普通予算特別委員会	正副委員長互選、一般会計補正予算の審査など
5月22日 25-28日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
5月26日 29日	本会議	追加議案の提案説明、議案や意見書の議決など

京都市会だより

第51号

平成21年(2009年)
12月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通御土倉
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



渡月橋

一般会計など25会計 平成20年度決算を認定

9月市会定例会

9月定例会は、9月15日から10月28日までの14日間開かれ、市長提出議案70件、議員提出議案6件を審議しました。平成20年度決算は、地方財政健全化法の本格実施に伴い、従前は11月定例会で審議していた一般会計決算等も含め、全会計の決算が提出されました。

市長提出議案のうち、平成20年度各会計決算25件については、普通決算特別委員会及び公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成21年度一般会計補正予算など12件についても、普通予算特別委員会及び公営企業等予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、証明等手数料条例の一部改正など議案28件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、個別外部監査の実施など議案5件についても原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書など6件の議案すべてを原案のとおり可決しました。

平成20年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	実質収支額
一般会計	7,327億4,753万円	7,313億3,023万円	14億1,729万円	△30億3,585万円
特別会計*	6,708億6,958万円	6,769億2,194万円	△59億5,236万円	△60億6,457万円

*公営企業会計を除く19会計

平成20年度公営企業会計決算

	総収益	総費用	損益	累積損益
病院事業	138億5,287万円	139億8,359万円	△1億3,072万円	△6億5,489万円
水道事業	300億6,700万円	298億 532万円	2億6,168万円	52億6,842万円
公共下水道事業	463億4,632万円	463億1,798万円	2,834万円	△20億3,384万円
自動車運送事業	222億5,576万円	217億 934万円	5億4,642万円	△116億7,464万円
高速鉄道事業	260億 94万円	404億2,117万円	△144億2,023万円	△304億9,195万円

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆一般会計

〔平成20年度決算〕(右下の表もご覧ください。)

歳入総額が7千327億4千8百万円に対し、歳出総額が7千313億3千万円となり、歳入歳出差引額は14億1千7百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が44億5千3百万円あるため、実質収支は30億3千6百万円の赤字となっています。

市税収入については、はかるうじて予算額を確保したものの、平成20年秋以降の急激な景気後退の影響を受けて、府税交付金が大幅な予算割れとなったことなどから、実質収支が4年ぶりの赤字決算となり、単年度収支が34億4千2百万円と2年連続の赤字となりました。

◆自動車運送事業

総収益は一般会計からの補助金が減少したことなどにより、222億5千6百万円(対前年度比0・8%の減)と減少する一方、総費用は退職手当や原油価格高騰に伴う燃料費の増加などにより、217億9百万円(対前年度比0・7%の増)と増加しましたが、5億4千6百万円と6年連続の黒字となりました。累積赤字は111億7千5百万円となりました。

◆高速鉄道事業

総収益は一般旅客数や広告料等の増加などにより、260億1千万円(対前年度比1・0%の増)と増加する一方、総費用は企業債支払利息の減少等により、404億2千1百万円(対前年度比2・9%の減)と減少しました。この結果、前年度に比べ改善は見られたものの144億2千万円の赤字となり、累積赤字は3千42億9千2百万円となりました。

〔平成21年度一般会計補正予算など6補正予算〕
依然として厳しい状況にある経済・雇用情勢を踏まえ、5月と6月の補正予算に引き続いて、生活者支援や追加の経済対策を講じるものです。補正額は、一般会計が86億7千8百万円、6会計の合計が99億1千6百万円です。

※1 歳入歳出
※2 歳入歳出の差引額(繰り越すべし)を控除した額
※3 単年度収支
※4 該年度の決算収支額から前年度の繰り越収支額を差し引いた額
注 文中及び表中の金額は、下位を四捨五入しています。

京都市会だより

第52号

平成22年(2010年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区河町通御池上る
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



補助金等の交付等に 関する条例を可決

京都御苑

◆自転車等駐車場条例の一部改正
自転車や原動機付自転車の利用者の利便の増進を図るとともに、自転車等の放置の防止に資するため、西京区嵐山宮ノ前町に約260台分

◆補助金等の交付等に関する条例の制定
補助金等に係る予算の執行及び補助金等の交付の決定の適正化を図るとともに、これらにおける公平性及び透明性を確保するため、補助金等の交付の申請、決定等に関する事項その他補助金等に係る予算の執行に関する基本的事項を条例で定めるものです。
このような条例の制定は、政令指定都市で初となります。

◆平成21年度一般会計補正予算など2補正予算
依然として厳しい状況にある経済・雇用情勢を踏まえ、中小企業金融対策預託金や緊急雇用対策事業を追加するほか、新型インフルエンザ対策に要する経費等を補正するものです。
補正額は、合計で218億5千7百万円です。

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

の駐輪場(松尾駅自転車等駐車場)を設置するものです。

◆市立高等学校条例の一部改正
現在、西京区大枝沓掛町にある市立音楽高等学校を、中京区の元城築中学校跡地に新校舎を整備して、移転するとともに、名称を市立京都堀川音楽高等学校に改めようとするものです。

◆市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正
諸般の状況により、21年12月以後に支給する市会議員の期末手当の支給割合の限度を改定し、6月に支給する期末手当を0・15月分、12月に支給する期末手当を0・1月分減額するものです。

※補助金等
特定の業務又は事業を助成し、育成し、又は奨励する目的をもって、本市が本市以外のものに対して交付する補助金等の他の法的根拠なく、その交付に對し相当の返納付を要しないものをいいます。

11月市会定例会

11月定例会は、11月25日から12月10日までの16日間開かれ、市長提出議案58件、議員提出議案14件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成21年度一般会計補正予算など2件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、可決しました。補助金等の交付等に関する条例の制定など議案55件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
さらに、人権擁護委員の推薦の議案1件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、改正貸金業法の早期完全施行を求める意見書など14件の議案を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

11月25日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など
11月30日	本 会 議	議案の処理、普通予算特別委員会の設置など
12月 1日	本 会 議	代表質問など
11月30日 12月 2日 9日	普通予算 特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
11月25日 27日 12月 3日 4・9日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月10日	本 会 議	議案や意見書の議決など

京都市会だより

第53号

平成22年(2010年)
5月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-6571 京都市中京区寺町通西上る
TEL.075(222)3897
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



鳥羽水環境保全センター

**総額1兆6千554億円の
平成22年度当初予算を可決**
(予算に付けた付帯決議は3面参照)

■定例会の経過

2月17日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明、予算特別委員会の設置など
2月17日 18日 22日	普 通 予 算 会 特 別 委 員 会 公 営 企 業 等 算 会 予 算 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、21年度補正予算の審査など
2月23日 24日	本 会 議	代表質疑、議案の処理など
2月24日 ～26日 3月1日～5日 10・15・19日	普 通 予 算 会 特 別 委 員 会	22年度一般会計予算の審査など
2月24日 ～26日 3月1日～5日 8・19日	公 営 企 業 等 算 会 予 算 特 別 委 員 会	22年度各公営企業会計予算の審査など
3月11日 12・18日	常 任 委 員 会	付託された議案や請願の審査など
3月15日	本 会 議	追加議案の提案説明など
3月19日	本 会 議	予算などの議案や意見書の議決など

2月市会定例会

2月定例会は、2月17日から3月19日までの31日間開かれ、市長提出議案10件、議員提出議案17件を審議しました。

市長提出議案のうち、22年度一般会計予算など予算案23件とその関連議案30件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、市立看護短期大学の廃止条例は否決し、それ以外の議案は原案のとおり可決しました。21年度一般会計補正予算など予算案14件とその関連議案3件についても、予算特別委員会では、それぞれ担当の委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、固定資産評価審査委員会委員の選任など議案11件についても、議員提出議案については、議員報酬を5%削減する「市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部改正」など13件を原案のとおり可決しました。

■ 主な議案の概要、予算の審査、付帯決議 2 3

■ 審議結果、意見書・決議、委員会の新体制 6 7

■ 本会議の代表質疑から 4 5

■ 市会の活動、お知らせなど 8

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

京都市会だより

第54号

平成22年(2010年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区有町通藪池上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



桂川左岸からの西山

市立看護短期大学の 廃止条例を可決

5月市会定例会

5月定例会が5月14日から5月28日までの15日間開かれました。
今回の定例会では、繁隆夫議長と安孫子和子副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、新議長に加藤盛司議員、新副議長に柴田章喜議員がそれぞれ選ばれました。議長については、市長提出議案26件、議員提出議案9件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算など2件については、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。市立看護短期大学の廃止条例など議案18件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
さらに、監査委員の選任など議案6件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、B型・C型肝炎ウイルス患者の救済に関する意見書など7件の議案を原案のとおり可決しました。

■定例会の経過

日付	会議	内容
5月14日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月18日 19日	本会議	正副議長の選挙、普通予算特別委員会の設置、議案の委員会付託、代表質問など
5月18日 20・27日	普通予算特別委員会	正副委員長互選、国民健康保険事業特別会計補正予算の審査など
5月21日 24・27日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
5月28日	本会議	議案や意見書の議決など

5月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

- ◆平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算など2会計補正予算
依然として厳しい状況にある経済・雇用情勢を踏まえ、緊急雇用対策事業を追加するほか、国民健康保険事業特別会計において、前年度の歳入不足を補う繰上充用に要する経費等を補正するものです。補正予算の規模は、89億1千5百万円となります。
- ◆市立看護短期大学の廃止条例
学生の高等志向が高まったことや、全国的

に四年制の看護学科の設置が進んだこと等から、これまで市立看護短期大学が提供している教育環境の必要性が相対的に低下している中、今後、四年制の看護学科を設置している、又は設置しようとする市内私立大学と協力して、医療の高度化や専門化に対応できる看護師の養成及び市立病院をはじめとする市内医療機関での質の高い看護師の確保を図ることから、市立看護短期大学を廃止しようとするものです。

就任あいさつ



京都市会副議長
柴田 章喜
(左京区選出、公明党市議員)



京都市会議長
加藤 盛司
(中京区選出、自民党市議員)

私たちは、5月市会定例会において、第76代市会議長並びに第85代市会副議長に選出されました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。
近年の地方分権の推進により、地方自治体の権限が拡大し、その能力が問われる中、その意思決定機能と監視機能を有する議会の果たす役割と責任は、ますます重大になっております。
京都市におきましても、厳しい財政状況の中、環境との共生、少子長寿対策、歴史・文化・景観の継承、産業の活性化などに適切に取り組み、「魅力ある京都」を持続させることが求められています。
こうした中、京都市会では、「地域主権」型社会に対応した、市民意見を的確に反映する開かれた市会づくりを進め、市民の皆様の期待と信頼にこたえていくことが重要であると考えております。
そのために、私たち議員は、自らの見識・能力を高める努力を一層重ねるとともに、不断の議会改革に取り組みまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都市会だより

第55号

平成22年(2010年)
12月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区西陣南橋上2
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



円通寺

地球温暖化対策条例の全部改正条例を可決

一般会計など24会計
平成21年度決算を認定

9月市会定例会

9月定例会は、9月15日から10月28日までの4日間開かれ、市長提出議案116件、議員提出議案10件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成21年度各会計決算24件については、普通決算特別委員会及び公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成22年度一般会計補正予算など11件についても、普通予算特別委員会及び公営企業等予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、地球温暖化対策条例の全部改正など、議案77件については、それぞれの担当の常任委員会にて審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。さらに、人事委員会委員の選任など議案4件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案の自転車安全条例の制定については、くらし環境委員会にて審査のうえ、修正可決しました。

その他、B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書など、9件の議員提出議案を原案のとおり可決しました。

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

〔平成21年度決算(右下の表もご覧ください)〕

◆一般会計
歳入総額が7千340億7,221万円に対し、歳出総額が7千303億7,221万円となり、歳入歳出差引額は36億3千5百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が46億8千6百万円あるため、実質収支は10億5千1百万円の赤字となりました。

前年度後半からの急激な景気後退の影響などにより、大幅な財源不足に見舞われましたが、市長を本部長とする「財政健全化推進本部会議」を新たに設置し、経費節減及び歳入確保の各種取組を全庁挙げて推進したことなどにより、実質収支は19億8千5百万円で3年ぶりの黒字となりました。

◆高速鉄道事業

総収益は、新型インフルエンザなどの影響により旅客数が減少したものの、平成20年度末に京都高速鉄道株式会社を解散し、直営化したことに伴う債務の継承によって、その償還金に対する一般会計等の補助金を引き継いだことなどにより、262億5千5百万円(対前年度比10%の増)と増加し、また、総費用も同様で、同社の資産を継承したことによって、減価償却費及び支払利息が増加したことなどから、412億8千2百万円(対前年度比21%の増)と増加しました。この結果、純損失は前年度に比べ増加し、150億2千7百万円の赤字となり、累積赤字は3千133億1千9百万円となりました。

〔その他の主な議案〕

◆地球温暖化対策条例の全部改正
社会経済情勢の変化を踏まえ、本市の区域内における二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量の削減に係る新たな目標を定めるほか、その目標を達成するために地球温暖化対策に関して必要な事項を定める必要があることから、条例を改正するものです。

◆廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正
廃棄物の発生抑制及び再生利用の促進による廃棄物の減量、廃棄物の適正な処理並びに生活環境の清潔の保持を図るため、特定事業者等への計画策定の義務付けや資源ごみ等の持去りの禁止など、必要な措置を講じようとするものです。

◆自転車安全条例の制定
自転車の安全利用を促進し、事故防止・交通安全確保に寄与するとともに、「歩くまち・京都」憲章にのっとり、市民や観光客が歩く魅力・誇りを満喫できるように、観光客等へのもてなしを向上させるため、条例を制定するものです。

平成21年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	実質収支額
一般会計	7,340億7,221万円	7,303億7,221万円	36億3,506万円	△10億5,087万円
特別会計*	6,571億6,925万円	6,627億2,987万円	△55億6,062万円	△56億2,414万円

※公営企業会計を除く1日合計

平成21年度公営企業会計決算

	総収益	総費用	損益	累積損益
病院事業	135億2,964万円	135億2,635万円	329万円	△6億5,160万円
水道事業	293億4,327万円	282億6,140万円	10億8,187万円	60億8,861万円
公共下水道事業	428億5,911万円	441億6,857万円	△13億9,466万円	△34億310万円
自動車運送事業	226億2,139万円	196億9,890万円	29億2,249万円	△87億5,215万円
高速鉄道事業	262億5,525万円	412億8,235万円	△150億2,710万円	△3,133億1,905万円

注 文中及び表中の金額は、千円を四捨五入しています。

京都市会だより

第56号

平成23年(2011年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通藤屋上る
●TEL.075(222)3687
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

京都市基本計画を可決



動修寺書院の梅

◆平成22年度一般会計補正予算など4補正予算
国の経済危機対応、地域活性化準備費を活用した道路等整備事業や災害復旧事業に要する経費のほか、太陽光発電普及促進事業費及び府市会議員選挙に要する経費等を補正するものです。また、現下の厳しい社会経済情勢を踏まえ、国の緊急総合経済対策による補助金や交付金を活用し、市民生活の安心・安全を支える施策や経済の活性化に取り組むとともに、必要な都市基盤整備等を前倒しして実施する経費等を補正するものです。
補正額は、合計で33億1千4百万円です。

◆京都市基本計画の策定
21世紀の京都のまちづくりの方針を理念的に示す長期構想である「基本構想」を具体化するため、平成23年度から10年間の京都の未来像と主要施策を明示する都市経営の基本となる計画を定めるものです。市会の議決に付すべき事件等に関する条例第2条の規定により、議会の議決が必要となり、今定例会で初めて審議が行われました。

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

11月市会定例会

11月定例会は、11月18日から12月10日までの23日間開かれ、市長提出議案45件、議員提出議案13件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成22年度一般会計補正予算など4件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。京都市基本計画の策定については、基本計画審査特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。
また、眺望景観創生条例の一部改正など議案128件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。このうち、指定管理者の指定に関する議案10件の審議に当たっては、市民に理解が得られる公平公正な選定方法の確保の必要性などについて、質疑や意見がありました。
そのほか、人事委員会委員の選任など議案12件については、原案のとおり可決しました。
議員提出議案のうち、ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書など、11件の議案を原案のとおり可決しました。
また、市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正については、市会運営委員会が審査のうえ、否決しました。
そのほか、議員の処遇の在り方については、市会運営委員会の小委員会である市会改革推進委員会において、全会派が引き続き検討していくことを決定しました。

定例会の経過

11月18日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明など	11月24日 29・30日 12月1日 6・9日	基本計画審査特別委員会	正副委員長の互選、基本計画の策定の審査など
11月24日	本 会 議	議案の処理、予算特別委員会や基本計画審査特別委員会の設置など	11月18日 22日 12月2日 3・9日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
11月24日 12月9日	市 会 選 挙 審 査 委 員 会	付託された議案の審査など	12月10日	本 会 議	議案や意見書の議決など
11月25日	本 会 議	代表質問など			
11月24日 26日 12月9日	普 通 予 算 特 別 委 員 会 公 営 企 業 普 通 予 算 特 別 委 員 会	正副委員長の互選、22年度補正予算の審査など			

京都市会だより

第 57 号

平成23年(2011年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



**総額1兆6千174億円の
平成23年度当初予算を可決**
(予算に付けた付帯決議は3面参照)

成 園 涉

1月臨時会は、1月24日から1月31日までの8日間開かれ、市会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき市会議員の数に関する条例の一部改正案を可決しました。(審査の概要については、7面を御覧ください)

1月臨時会
—直接請求による市会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき市会議員の数に関する条例の一部改正案を可決—

■定例会の経過

2月22日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明、 予算特別委員会の設置など
2月22日 23・25日	普通予算 特別委員会 公営企業等 予算特別委員会	正副委員長の互選、 22年度補正予算の審査など
2月28日 3月1日	本 会 議	代表質疑、議案の処理など
3月1日~4日 10・14日	普通予算 特別委員会	23年度一般会計予算の審査など
3月1日~3日 7・14日	公営企業等 予算特別委員会	23年度各公営企業会計予算の 審査など
3月8日 9・14日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
3月15日	本 会 議	予算などの議案や意見書の議決 など

2月市会定例会

2月定例会は、2月22日から3月15日までの22日間開かれ、市長提出議案12件、議員提出議案9件を審議しました。
市長提出議案のうち、23年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案34件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。22年度一般会計補正予算など犯罪被害者等支援条例の制定など議案37件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。
さらに、包括外部監査契約の締結の議案1件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、議員報酬を10%削減する「市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部改正」など7件を原案のとおり可決しました。

■ 主な議案の概要、予算の審査、付帯決議

2 3

■ 本会議の代表質疑から

4 5

■ 審議結果、意見書、1月臨時会の審査など

6 7

■ 市会の活動、お知らせなど

8

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

京都市会だより

特
集
号

平成23年
(2011年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通羅池上
●TEL.075(222)3887
●FAX.075(222)3713

本号は保存版として活用してください。



新市会の発足にあたって



京都市会議員
小林正明



京都市会副議長
安井つとむ

4月10日に行われた京都市議会議員選挙で69人の議員が決まり、新しい市会が発足しました。私たちは、5月市会定例会において、第77代市会議長並びに第86代市会副議長に選出されました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

新市会によせて



京都市長
門川大作

市民の審判を経て選ばれた、議員の皆様による新しい市会の発足を衷心よりお慶び申し上げます。現在、東日本大震災の甚大な影響や厳しい経済情勢等により、日本全体が困難な状況にあります。しかし我が国は過去幾多も困難を克服してきました。今も京都市民の皆様をはじめ全国の人々が、心一つに危機に立ち向かい、明るい未来を信じて果敢に取り組んでおられます。

現在、国を挙げて東日本大震災の被災地及び被災者への支援に力を注ぐ中、先行き不透明な社会情勢を受け、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しく、財政的危機的状況、少子高齢化の進展、地球温暖化の加速といった多くの課題に直面しています。こうした中、自治体の意思決定機能と監視機能を有する議会の役割は、ますます大きくなっており、京都市会におきましても、市民の皆様への期待と信頼に応えるとともに、市民から「見える市会」、市民に「伝わる市会」を推進していくことが重要であると考えております。

そのために、私たち議員は自らの見識・能力を高める研鑽、努力を重ねながら、一層の議会改革に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

その取組において、私は京都が先頭に立つ気概を持ち、議員の皆様を御指導いただきながら、オール京都で日本の未来を切り拓く取組を進めてまいりたいと決意しています。本年度は、私の任期の最終年であり、「京都未来まちづくりプラン」の総仕上げと、昨年、市会の議決をいただきました新たな基本計画「はばたけ未来へー京プラン」のスタートの年でもあります。今後とも議員の皆様と、徹底した未来志向の下、建設的で積極的な議論を重ね、力を合わせて京都のまちを、更には京都から日本を、元気にしてまいります。皆様の御協力をお願いいたします。

(3)

会派の名称は次のとおりです

- 自 民=自由民主党京都市議員団
- 共 産=日本共産党京都市議員団
- 民 主=民主・都みらい京都市議員団
- 公 明=公明党京都市議員団
- 京 都=地域政党京都党京都市議員団
- み・無=みんなの党・無所属の会



今枝 徳蔵 小林あきろう 鈴木マサホ 橋村 芳和 加藤 盛司
 下 京 区 上 京 区 左 京 区 伏 見 区 中 京 区
 民 主 ⑥ 民 主 ⑦ 民 主 ⑦ 自 民 ⑤ 自 民 ⑥



久保 勝信 津田 早苗 井上 教子 天道 義知 ひおき 文章 谷口 弘昌 山岸たかゆき 安井つとむ 宮 本 徹 中川 一雄 寺田 一博
 山 科 区 伏 見 区 下 京 区 南 区 北 区 伏 見 区 伏 見 区 伏 見 区 右 京 区 伏 見 区 上 京 区
 公 明 ③ 公 明 ③ 公 明 ④ 公 明 ⑥ 公 明 ⑥ 公 明 ⑥ 民 主 ③ 民 主 ⑥ 民 主 ⑧ 民 主 ⑦ 自 民 ② 自 民 ③



平山よしかず 吉田 孝雄 湯浅 光彦 曾我 修 矢方 浩之 中野 洋一 隠塚 功 山元 あき 西村 義直
 西 京 区 上 京 区 右 京 区 伏 見 区 西 京 区 東 山 区 左 京 区 右 京 区 西 京 区
 公 明 ② 公 明 ② 公 明 ③ 公 明 ③ 民 主 ② 民 主 ② 民 主 ③ 自 民 ② 自 民 ②



村山 祥栄 国本 友利 青野 仁志 松下 真誠 青木よしか 山本ひろふみ 高木 京司 椋田 隆知
 左 京 区 左 京 区 中 京 区 山 科 区 右 京 区 伏 見 区 南 区 南 区
 京 都 ③ 公 明 ① 公 明 ① 民 主 ① 民 主 ② 民 主 ② 自 民 ① 自 民 ①



江村 理紗 中島 拓哉 佐々木たかし 片桐 直哉 清水ゆう子 森川 央 小林 正明
 右 京 区 南 区 中 京 区 北 区 伏 見 区 西 京 区 北 区
 京 都 ① 京 都 ① 京 都 ① 民 主 ① 民 主 ① 自 民 ⑤

※議長席から見ると、議員はこのように着席しています。

代 表 清 森 水 川 ゆう子 (2人) みんなの党・無所属の会	団 長 中 佐 江 村 島 々 木 村 山 拓 た 理 祥 哉 か し 紗 栄 (4人) 地域政党京都党 京都市議員団	副 団 長 吉 湯 平 ひ 津 大 曾 国 井 青 久 谷 田 浅 山 お き 田 道 我 本 上 野 保 口 孝 光 文 早 義 友 教 仁 勝 弘 彦 彦 章 苗 知 修 利 子 志 信 昌 (12人) 公明党 京都市議員団	副 団 長 山 安 宮 松 中 鈴 小 片 隠 天 青 山 今 本 井 本 下 木 林 桐 塚 方 木 今 ひ つ 真 洋 木 林 あ き 直 浩 よ し か ろ つ と 徹 蔵 一 直 哉 功 之 枝 ふ み 微 蔵 一 蔵 一 蔵 一 蔵 一 蔵 (13人) 民主・都みらい 京都市議員団	宮 田 えりこ
--	--	---	--	---------

京都市会議員 を紹介します

4月10日の京都市議会議員選挙で各区から69人の
議員が選出されました。
議員の任期は平成27年4月29日までの4年間です。



繁 隆 夫 菅 きくお 内海 貴夫 井上与一郎 高橋泰一朗
伏見区 山科区 東山区 右京区 伏見区
自 民 ⑤ 自 民 ⑥ 自 民 ⑥ 自 民 ⑨ 自 民 ⑩



津田 天三 田中 英之 中村三之助 大西 均 山中 渡 倉林 朝子 井坂 博文 北山ただお 岩橋ちよみ 井上けんじ
中京区 右京区 京区上 京区左 京区下 京区中 京区北 区山科区 右京区 南
自 民 ③ 自 民 ④ 自 民 ④ 自 民 ⑤ 共 産 ⑦ 共 産 ⑧ 共 産 ⑥ 共 産 ⑧ 共 産 ⑤ 共 産 ④



吉井あきら 田中 朗秀 山本 恵一 西野さち子 玉本なるみ くらた共子 河合ようこ 樋口 英明
山科区 西京区 北山区 伏見区 北山区 上京区 西京区 左京区
自 民 ② 自 民 ② 自 民 ② 共 産 ④ 共 産 ④ 共 産 ③ 共 産 ③ 共 産 ③

この表の見方
氏 名
選 出 区
会派(略称)、期数

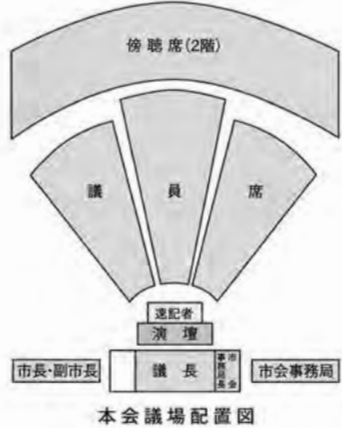


桜井 泰広 平村あきら 宮田えりこ 加藤 あい 西村 善美 とがし 豊
左京区 下京区 山科区 左京区 右京区 左京区 豊
自 民 ① 自 民 ② 共 産 ③ 共 産 ③ 共 産 ② 共 産 ②

【一〇メモ】
議長は本会議では議長席に座りますが、慣例として他の議員と同様に議席を設けています。



議長席からみた議席



本会議場配置図

日本共産党 京都市議員団 (15人)
副団長 山本 恵一
副団長 中村 三之助
副団長 西野 さち子
副団長 玉本 なるみ
副団長 くらた 共子
副団長 河合 ようこ
副団長 田中 朗秀
副団長 吉井 あきら
副団長 樋口 英明
副団長 加藤 あい
副団長 西村 善美
副団長 とがし 豊
副団長 桜井 泰広

自由民主党 京都市議員団 (23人)
副団長 井上 けんじ
副団長 村上 三之助
副団長 海部 貴
副団長 西村 盛
副団長 藤井 正
副団長 小坂 泰
副団長 桜井 隆
副団長 島崎 泰
副団長 高橋 明
副団長 高橋 秀
副団長 田中 英
副団長 田中 博
副団長 津田 大
副団長 寺田 一
副団長 富田 義
副団長 富田 直
副団長 中川 和
副団長 西村 隆
副団長 橋本 芳
副団長 山元 知
副団長 山本 一
副団長 山本 隆
副団長 吉田 恵
副団長 吉田 美

会派の構成
五十音順

京都市会だより編

市会の構成

(平成23年5月30日現在)

市会議長・副議長をはじめ、市会の運営や議長の諮問などについて協議する市会運営委員会、条例などの議案や請願・陳情を専門的に審査する常任委員会の所属委員など、市会の構成は次のとおりです。

議長 小林 正明 (自民・北)
副議長 安井つとむ (民主・伏見)

委員長 副委員長 理事

Table listing members of the City Council Executive Committee (市会運営委員会) with names, party affiliations, and constituencies.

* オブザーバーとして、村山祥栄議員(京都・左京)が参加。

議員名 議員団
議員名 議員団
議員名 議員団

市会選出監査委員

繁 隆夫 (自民・伏見)
津田 早苗 (公明・伏見)

常任委員会

Table listing members of various standing committees including Economic Revitalization, Urban Planning, Education, and Disaster Prevention.

市会改革推進委員会(20人)

Table listing members of the City Council Reform Promotion Committee.

予算(決算)特別委員会(正副委員長)

Table listing members of the Special Committee on Budget and Accounting.



京都市会ホームページアドレス
http://www.city.kyoto.jp/shikai/

「京都市会ホームページにアクセスを」
市会の役割や構成などを分かりやすく説明するとともに、会議の日程や審議結果、会議録検索システムなど、最新の詳しい情報を掲載しています。



「委員会モニター」視聴ができます
常任委員会や予算・決算特別委員会などは、モニターテレビによる放映を行っています。

「本会議を傍聴してみませんか」
市会の本会議は、公開されており、自由に傍聴することができます。

会派が結成されました

会派とは、主義主張や考えを同じくする議員の集まりです。京都市会では、6つの会派が結成されました。

Table listing the newly formed political parties and their members: 自由民主党京都市会議員団, 日本共産党京都市会議員団, 民主・都みらい京都市会議員団, 公明党京都市会議員団, 地域政党京都京都市会議員団, みんなの党・無所属の会.

(平成23年5月30日現在)

【市役所本庁舎2階見取図】



※改装工事を7月～9月に実施する予定であり、改装後の見取図を掲載しています。工事が完了するまでは実際の配置と一部異なる場合がありますので御了承ください。

「見える市会」「伝わる市会」を推進します!



またさち(市会マスコットキャラクター)

京都市会だより

第58号

平成23年(2011年)
7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通御所上る
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



賀茂大橋からの鴨川

改選後の初市会を開会

東日本大震災対策の補正予算が成立

議員報酬削減等で生じた額を財源に活用するため
全会一致で修正可決(詳細は下記及び4面参照)

5月市会定例会

市会議員一般選挙後、初めての市会となる5月定例会は、臨時議長のもとで5月16日に開会し、5月30日までの15日間開かれました。

正副議長の選挙を行った結果、議長に小林正明議員、副議長に安井つとむ議員がそれぞれ選ばれました。また、各委員会委員の選任及び正副委員長長の決定など、新しい市会の構成を決めた後、市長提出議案38件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成23年度一般会計補正予算など5件については、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、平成23年度一般会計補正予算など3件は修正可決し、それ以外の議案は原案のとおり可決しました。

また、市税条例の一部改正など議案10件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案23件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、京都市会委員会条例の一部改正、京都市会会議規則の一部改正や公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書など6件を原案のとおり可決しました。

5月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成23年度京都市一般会計補正予算など4会
計補正予算

東日本大震災の被災地及び被災者の支援に機動的かつきめ細かく対応するための経費及び震災の影響を受けている経済への対策に要する経費のほか、国民健康保険事業特別会計において、前年度の歳入不足を補う繰上充用に要する経費等を補正するものです。

補正額は総額で2億7千2百万円です。
なお、議案について予算特別委員会で審査した結果、一般会計補正予算など3件については、議員報酬の1割削減と費用弁償の廃止により生じた1億300万円を震災対策の財源に活用して、公債償還基金の取崩し額を減額することとし、全会一致で修正可決しました。

※ 公債償還基金

地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられた基金

◆京都市会委員会条例の一部改正
常任委員会のうち「まちづくり消防委員会」を「まちづくり委員会」に、「交通水道委員会」を「交通水道消防委員会」に改めるとともに、全議員が所属する予算(決算)特別委員会の設置に伴い副委員長長の数の上限を改めるもの

◆京都市会会議規則の一部改正
市会改革に関する協議又は調整を行うことを目的とする市会改革推進委員会を新たに設置するものです。



またきち
(総合マスコットキャラクター)

新任期が始まりました。
今後ともよろしくお願いたします。

定例会の経過

日	会 議	内 容
5月16日	本 会 議	会期の決定など
5月18日	本 会 議	正副議長の選挙、各委員会委員の選任、議案の提案説明、予算特別委員会の設置など
5月18日 19-26日	予 算 特 別 会	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
5月18日 20-23-26日	常 任 委 員 会	正副委員長の互選、付託議案の審査など
5月27日	本 会 議	代表質問など
5月30日	本 会 議	議案や意見書の議決など

京都市会だより

第59号

平成23年(2011年)
12月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

～議長から市民の皆様へのメッセージ～

平成23年9月定例会が、9月27日から10月31日まで開かれ、22年度一般会計決算や条例の改正などの議案について審議いたしました。

また、この9月定例会から、本会議の傍聴者に対して代表質問項目の一覧を配布することとし、現在、市会改革推進委員会において議論を行っている「市民により分かりやすい議会」の取組の推進をお願い申し上げます。

今後とも、地域主権時代にふさわしい市会を目指し、誠心誠意、努力を傾けてまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。



第78代市長 山本 直人

進に向け、一歩前進することができました。

このように、京都市会では、市民の皆様への期待と信頼に応え、自治体の意思決定と行政の監視機能としての役割を十分に果たしていくとともに、市会が一層身近に感じることができるよう、時代の要請に即応した議会改革に取り組みまいります。

一般会計など23会計 平成22年度決算を認定



清水寺奥の院からの舞台と市街地

9月市会定例会

9月定例会は、9月27日から10月31日までの35日間開かれ、市長提出議案42件、議員提出議案12件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成22年度各会計決算23件については、決算特別委員会を設置して付託、審査のうえ、全て認定しました。平成23年度一般会計補正予算など3件についても、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、地域コミュニティ活性化推進条例の制定など、議案13件をそれぞれ担当の常任委員会へ審査し、地域コミュニティ活性化推進条例の制定については修正可決、それ以外の議案は原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案3件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、定期接種に関する、早期に国の制度確立を求める意見書など11件の議案を原案のとおり可決しました。

平成22年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出引当額	実質収支額
一般会計	7,714億3,079万円	7,673億3,500万円	40億9,579万円	7億3,107万円
特別会計*	5,950億689万円	5,989億1,880万円	△39億1,190万円	△40億2,038万円

*公営企業会計を除く17会計

平成22年度公営企業会計決算

	総収益	総費用	損益	累積損益
病院事業	141億9,531万円	140億2,698万円	1億6,833万円	△4億3,327万円
水道事業	292億7,437万円	279億8,888万円	12億8,549万円	62億3,222万円
公共下水道事業	469億9,903万円	431億9,641万円	38億282万円	3億3,952万円
自動車運送事業	208億9,443万円	186億8,337万円	22億1,106万円	△85億4,109万円
高速鉄道事業	268億9,731万円	359億6,530万円	△90億6,799万円	△328億3,704万円

～決算特別委員会の審査における理事者(市長等)からの主な答弁内容～

- 洛西ニュータウンで発生した水道管破裂事故を受け、一帯で老朽化した水道管(計13キロ)の更新期間を今後5年から2年に短縮する。
- 本市に避難している東日本大震災の被災者の市営住宅等への入居期間を1年間から2年間に延長する。

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

- ◆一般会計
 - 歳入総額が7,714億3,079万円に対し、歳出総額が7,673億3,500万円となり、歳入歳出差引額は40億9,579万円の黒字ですが、繰入歳出差引額を差し引くと33億6,500万円の黒字となり、実質収支は7億3,107万円の黒字となりました。
 - 人件費の削減や徹底した事務事業の見直しなどの聖域なき行政改革、地方交付税の確保等により、実質収支は3年ぶりの黒字となりました。
- ◆自動車運送事業
 - 総収益は一般会計からの補助金が減少したことなどにより、208億9,443万円(対前年度比76%の減)と減少する一方、総費用も、退職手当や減価償却費の減少などにより、186億8,337万円(対前年度比52%の減)と減少しました。この結果、22億1,106万円と8年連続の黒字となりました。なお、累積赤字は65億4,109万円となりました。
- ◆高速鉄道事業
 - 総収益は、駅周辺の大型店舗の開業等の効果などによる旅客数の増加や「コトナカ四条」の開業をはじめとした駅ナカビジネスの拡大などにより、268億9,731万円(対前年度比24%の増)と増加する一方、総費用は、退職手当や駅職員業務の一部民間委託の拡大などにより、359億6,530万円(対前年度比29%の減)と減少しました。この結果、前年度に比べ改善は見られたものの、90億6,799万円の赤字となり、累積赤字は328億3,704万円となりました。

地域コミュニティ活性化推進条例の制定

本市における地域コミュニティの活性化の推進に際し、その基本理念を定め、本市等一事業者の責務及び地域住民の役割を明らかにするとともに、地域コミュニティの活性化の推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、地域コミュニティの活性化を総合的かつ計画的に推進するため、条例を制定するものです。

※本市の条例内における、地域住民の役割は「地域住民」とし、本市の条例内における、地域住民の役割は「市民」とし、文中の「市民」は、下位を指す入ります。

地域コミュニティ活性化推進条例の制定について修正可決

地域コミュニティ活性化推進条例の制定に係る議案については、くらし環境委員会に付託され、その審査過程において、①自民党、民主主義、公明党の各議員団から共同して修正案が、また、②共産党から修正案が、それぞれ提出されました。同委員会における審査及び本会議における審議を経て、①の修正案のとおり修正可決しました。

可決した修正案では、共同住宅の居住者の交流促進に向けた事業者の取組を規定する条項において、「戸建等の分譲地についても、入居者間相互の交流や、入居者と地域住民との交流を促進する必要がある」とから、その旨の規定を追加するようになりました。

親子ふれあい議場見学会の開催

11月3日(木・祝)に、市内在住・在学の小学4～6年生の児童と保護者の方を対象に「京都市会親子ふれあい議場見学会」を開催しました。当日は、42組(102名)の児童と保護者が参加され、市会議場などを見学しながら、市会の仕組みや役割を学ばれました。



京都市会だより

第60号

平成24年(2012年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通堀池上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

京都市会だよりは
創刊60号目を
迎えました!



この度、本紙は、創刊後60号目を迎えました。本紙は、市会の活動状況や仕組み等を広く市民の皆様に向けて情報発信するために、平成9年5月に発行された広報紙であり、年4回(議員の改選年は特集号を発刊するため年5回)、それぞれ約65万部を発行しています。本紙は、市民しんぶん(区版)に挟み込んで市内全世帯に配布するとともに、区役所など市の主な施設やコンビニエンスストアにも置いてあります。また発刊当初から視覚障害者向けに点字版、文字拡大版、録音版も併せて発行しています。またこれからも分かりやすく見やすい紙面づくりを心掛けてまいりますので、引き続き御愛読くださいたいと思います。

国に対する「『こころの健康を守り推進する基本法(仮称)』の法制化を求める意見書」などを可決



賀茂川右岸からの眺め

11月市会定例会

11月定例会は、11月25日から12月12日までの18日間開かれ、市長提出議案28件、議員提出議案8件を審議しました。
市長提出議案のうち、平成23年度一般会計補正予算など2件については、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。
また、特別用途地区(岡崎文化芸術・交流拠点地区)の区域内における建築物の制限の緩和に関する条例の制定など議案23件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。
さらに、京都府公安委員会委員の推薦など議案3件についても、原案のとおり可決しました。
議員提出議案については、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書など、8件の議案を原案のとおり可決しました。

定例会の経過

11月25日	本会議	会期の決定、議案説明など	11月30日 12月2日 9日	予算特別委員会	正副委員長 の互選、23年 度補正予算 の審査など
11月30日	本会議	議案の処理、委員 会特別設置 など	11月29日 12月5日 6・9日	常任委員会	付託された 議案や請願 の審査など
12月1日	本会議	代表質問など	12月12日	本会議	議案や意見書 の議決など

◆11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)
◆平成23年度一般会計補正予算など2補正予算
保育所待機児童の解消及び災害復旧事業に要する経費等を補正するとともに、「平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法」等の施行に伴い子ども手当給付費の減額等を行うものです。また、基金特別会計において、動物園整備基金への積立てに要する経費を補正するものです。補正額は、合計で33億8千4百万円(減額補正)です。
◆京都市計画(京都国際文化観光都市建設計画)特別用途地区(岡崎文化芸術・交流拠点地区)の区域内における建築物の制限の緩和に関する条例の制定
平成23年3月に策定された岡崎地域活性化ビジョンの実現に向けた都市計画制限等の見直しの一つとして、建築基準法の規定に基づき、特別用途地区(岡崎文化芸術・交流拠点地区)の区域内における建築物の

平成24年2月市会定例会の
日程等をお知らせするチラシ
とポスターを公共施設をはじめ
各所で配架・掲出します。
京都市会初の試みです!



広報の取組①

京都市会ポスター [平成24年2月～]

平成24年2月市会

京都市会 2月市会定例会

平成24年度予算審議

2月24日(金) 本会議(招集)

3月1日(水)・2日(金) 本会議(代表質疑)

15日(水)・16日(金) 予算特別委員会(市長総括質疑)

27日(火) 本会議(最終)

午前10時開会

京都市役所本庁舎2階市会議場

本会議場で直接傍聴できます

KBS京都TVで同時中継

インターネット議会中継

お問い合せ

京都市会事務局 TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

平成24年9月市会

京都市会 9月市会定例会

九月二四日(月)・十月二六日(金)

十月一日(水)・二日(金) 代表質問

十七日(水)・十八日(金) 決算特別委員会の市長総括質疑

いずれも午前10時開会

無駄遣いがないか厳しくチェック!

ぜひ傍聴にお越しください!!

定例会の結果全市会の情報は、ホームページや京都市会ポスターをご覧ください!

ホーピーや京都市会ポスターを掲載ください!

京都市会の基本理念、市の役割、市民の権利を、市政基本条例で定めることにより、市民の暮らしをよりよくしていくこととする。

関西広域連合の推進を図る。

関係機関との連携を図る。

京都市会事務局

TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

平成25年11月市会

京都市会 11月市会定例会

11月26日(水)から12月11日(水)まで

12月2日(月)に代表質問を行います。

ぜひ傍聴にお越しください!!

市会NEWS

9月市会にて、台風18号による豪雨災害に関する議案を緊急に可決!!

○第一号の緊急議案として、41億7485万円の修正予算案に賛成し、削減した議員報酬をその財源に活用する修正を行い、可決しました。

○国に対して、台風18号による被害の早い日も早い復旧と復興のための支援措置を要請する意見書を可決しました。

京都市議会基本条例(案)を取りまとめ!

○パブリックコメントを実施! 詳しくはホームページで、

京都市会事務局

TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

平成27年2月市会

京都市会 2月市会

2/20(金)~3/20(金) 開催

平成27年度予算を審議します

2/26(木)・27(金) 本会議の代表質疑

3/12(木)・13(金) 予算特別委員会の総括質疑

市役所本庁舎 市会議場 / 午前10時開会

市会NEWS

11月市会を11月25日から12月22日まで開催しました

12月特別市会を12月26日に開催しました

京都市会事務局

TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

平成28年5月市会

京都市会 5月市会

5.20(金)~6.3(金) 開催

本会議 代表質問

5.25(水) 市役所本庁舎 市会議場

午前10時開会

市会NEWS

2月市会の報告

2.24(金)~3.25(金)

平成28年度当初予算を審査のうえ可決

議員報酬率により、手話言語条例を制定

平成28年度も引き続き議員報酬を10%削減

京都市会事務局

TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

平成29年9月市会

京都市会 9月市会

9.28(水)・29(金) 本会議 代表質問

10.26(水)・27(金) 決算特別委員会 市長総括質疑

9.21(水)~11.2(金) 開催

市会NEWS

市会の機能を強化!

ネットライブ配信の開始

議決の決定には市長の議決が必要となります!

親子ふれあい 議場見学会

11月3日(水)~4日(木)

京都市会事務局

TEL: 075-222-3697

FAX: 075-222-3713

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

京都市会だより

第61号

平成24年(2012年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通染地1番
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

平成24年5月市会定例会の日程等をお知らせするチラシとポスターを公共施設をはじめ、各所で配架・掲出します。

見かけたら要チェックだにゃ!!



またきち
(市会マスコットキャラクター)

総額1兆7千131億円の 平成24年度当初予算を可決 (予算に付けた付帯決議は2面参照)



下鴨神社の糺の森と鳥居

■定例会の経過

2月24日	本会議	会期の決定、議案の提案説明、 予算特別委員会の設置など
2月24日 27・29日	予算特別委員会	正副委員長長の互選、 23年度補正予算の審査など
3月1日 2日	本会議	代表質疑、議案の処理など
3月5日~9日 12・15・16 ・26日	予算特別委員会	24年度一般会計予算の審査など
3月19日 21・26日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
3月27日	本会議	予算などの議案や意見書の議決 など

2月市会定例会

2月定例会は、2月24日から3月27日までの33日間開かれ、市長提出議案104件、議員提出議案16件を審議しました。市長提出議案のうち、24年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案25件については、予算特別委員会に付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。23年度一般会計補正予算など予算案8件とその関連議案3件についても、予算特別委員会、また、暴力団排除条例の制定など議案32件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。

さらに、京都市長等の給与の額の特例に関する条例の制定など議案14件についても、原案のとおり可決しました。議員提出議案の技能労務職への職員の採用等に関する条例の制定については、経済総務委員会で審査のうえ、否決しました。

その他、議員報酬を10%削減する「市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部改正」など、12件の議員提出議案を原案のとおり可決しました。

■ 主な議案の概要、付帯決議、予算の審査

2 3

■ 本会議の代表質疑から

4 5

■ 審議結果、意見書・決議、委員会の新体制

6 7

■ 市会の活動、お知らせなど

8

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

京都市会だより

第62号

平成24年(2012年)7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区紅橋四丁目
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

http://www.city.kyoto.jp/shikai/

就任あいさつ



京都市会副議長
山岸 たかゆき
(伏見区選出 民主・都みらい)



京都市会議員
大西 均
(左京区選出 自民党市議員)

私たちは、5月市会定例会において、第79代市会議長並びに第87代市会副議長に選出されました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

地方分権改革の進展に伴い、地方議会が地域住民の意思を的確に把握し、自治体の政策に反映させることがより一層求められており、地方議会が果たすべき役割と責任は、ますます大きくなっております。

こうした中、京都市会におきましても、市民の皆様に見える市会、その息吹が一伝わる市会を一層推進するため、二元代表制の趣旨を十分に踏まえ、活発な議会活動を通じて、自治体の意思決定や執行機関の監視機能を担っていくとともに、政策提案能力の更なる向上に取り組む必要があると考えております。

そのために、私たち議員は自らの見識・能力を高める研鑽、努力を重ねながら、一層の議会改革に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

関西広域連合に加入するための規約改正案を可決



桂川左岸からの眺め

5月市会定例会

5月定例会が5月14日から5月28日までの15日間開かれました。今回の定例会では、井上与一郎議長と安井つとむ副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、新議長に大西均議員、新副議長に山岸たかゆき議員がそれぞれ選ばれました。

議案については、市長提出議案27件、議員提出議案11件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成24年度一般会計補正予算など6件については、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

市税条例の一部改正など議案13件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案8件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、夏の電力不足対策に関する意見書など8件の議案を原案のとおり可決しました。

定例会の経過

5月14日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月16日 17日	本会議	正副議長の選挙、予算特別委員会の設置、議案の委員会付託、代表質問など
5月18日 18・25日	予算特別委員会	正副委員長との互選、一般会計補正予算の審査など
5月21日 22・25日	常任委員会	付託議案の審査など
5月28日	本会議	議案や意見書の議決など

5月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆平成24年度一般会計補正予算など4会計補正予算
京都公会館再整備、関西広域連合加入などに要する経費や水道の配水管の破損による損害賠償に要する経費等のほか、国民健康保険事業特別会計において、前年度の歳入不足を補う繰上充用に要する経費を補正するものです。

補正予算の規模は、15億8千万円となります。

◆関西広域連合を組織する地方公共団体の数の増加及びこれに伴う関西広域連合規約の変更に関する協議
本市及び神戸市が関西広域連合に新たに参加することに伴い、関西広域連合規約の一部を変更することについて、地方自治法の規定に基づき、関係地方公共団体と協議しようとするものです。

関西広域連合については、左記のコラムを御参照ください。



またきち

関西広域連合って何？

Q 関西広域連合とは？

A 地方自治法の規定に基づき、分権型社会の実現のための主体的な行動として、府県域を越える広域課題の解決に取り組む責任主体となることにも、国の出先機関の事務の受け皿となり、国と地方の二重行政を解消するために設けられた特別地方公共団体です。現在、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県及び徳島県の7府県並びに大阪市及び堺市の2指定都市により構成されています。



京知郎くん



都ちやん

Q 広域連合議会の議員はどのように選出される？

A 構成団体の議会の議員のうちから、構成団体の議会において選挙されます。現在の規約においては、人口25万人未満の指定都市の議会から選挙する広域連合議員の人数は、1人となっており、人口約147万人の本市は、本市議会から1人の議員を選挙することとなります。

京都市会だより

第63号

平成24年(2012年)
12月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

24年度補正予算を修正可決

京都市会では、総額40億6千2百万円の平成24年度9月補正予算について、議員報酬の削減による7千9百万円を、以下のとおり活用することとし、全会一致で修正可決しました。

議員報酬削減分 7千9百万円

これらの事業に活用!!



京町家・水道住宅の耐震改修に係る支援事業の費用を更に2千万円増額!!
5千万円→7千万円



通学路の安全対策について財源の更正を行い市債を5千9百万円減額!!

一般会計など22会計 平成23年度決算を認定



二条城 二の丸御殿

9月市会定例会

9月定例会は、9月24日から10月26日までの33日間開かれ、市長提出議案55件、議員提出議案12件を審議しました。平成23年度各会計決算及び関連議案24件については、決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、全会一致で可決しました。平成24年度一般会計補正予算など2件についても、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、平成24年度一般会計補正予算については修正可決、もう1件は原案のとおり可決しました。また、廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正など、議案27件をそれぞれ担当の常任委員会で審査し、原案のとおり可決しました。さらに、人権擁護委員の推薦の議案2件についても、原案のとおり可決しました。そのほか、山科区、西京区選挙管理委員及び補充委員の選挙などを行うとともに、会議規則の一部改正、B型・C型肝炎ウイルス患者の救済に関する意見書など、11件の議案を原案のとおり可決しました。

平成23年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	実質収支額
一般会計	7,535億9,420万円	7,480億1,050万円	55億8,369万円	14億 551万円
特別会計*	6,137億9,981万円	6,151億 28万円	△13億 38万円	△13億7,355万円

*公営企業会計を除く17会計

平成23年度公営企業会計決算

	総収益	総費用	損益	累積損益
水道事業	285億1,960万円	278億2,701万円	6億9,258万円	58億9,932万円
公共下水道事業	460億6,741万円	424億4,249万円	36億2,492万円	38億2,492万円
自動車運送事業	206億 552万円	177億1,269万円	28億4,283万円	△36億4,826万円
高速鉄道事業	274億 972万円	350億3,750万円	△76億2,778万円	△3,360億1,482万円

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)
〔平成23年度決算〕(右下の表も御覧ください。)
●一般会計
歳入総額が7千535億9千4百万円に対し、歳出総額が7千480億1千1百万円となり、歳入歳出差引額は55億8千4百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が41億7千8百万円あるため、実質収支は14億6百万円の黒字となっています。人件費の削減などの行財政改革努力の継続、地方交付税の確保に加え、徴収率の向上等による市税収入の増取などから、単年度収支も、6億7千4百万円で3年連続の黒字となりました。

●水道事業
総収益は、有取水量の減少に伴う給水収益の減少等で営業収益が減少したことなどにより、285億2千万円(対前年度比26%の減)と減少する一方、総費用も、業務費、支払利息及び企業債取扱諸費の減少などにより、278億2千7百万円(対前年度比0.6%の減)と減少しました。この結果、6億9千3百万円と5年連続の黒字決算となりました。

●高速鉄道事業
総収益は、駅周辺における大型店舗開業等の効果の通年化などによる旅客数の増加や、「コトチカピ」及び「コトチカ御池」をはじめとした駅チカビジネスの拡大などにより、274億1千万円(対前年度比19%の増)と増加する一方、総費用は、減価償却費や人件費、支払利息の減少などにより、350億3千7百万円(対前年度比26%の減)と減少しました。この結果、前年度に比べ改善は見られたものの、累積赤字は3千360億1千5百万円となりました。

市税条例の一部改正

65歳以上の方で、総所得金額等の合計額が一定の範囲にある高齢者に対する市民税の減免措置を廃止しようとするものです。なお、この議案については、付帯決議を付しました。(4面参照)

8月臨時会

8月14日、京都市が関西広域連合に加入したことに伴い、関西広域連合協議会の議員を1名選出することとなりました。そこで、8月17日に臨時会を開会し、井上与一郎議員(右京区選出)自民党市選出)を選出しました。



井上与一郎 議員

なお、関西広域連合協議会の活動については、関西広域連合のホームページを御覧ください。
(<http://kouki-kansai.jp/>)

市会改革の取組

- ◆ 市会の役割、議員の使命、市民との関係などについて定めた「京都市会の基本理念」を取りまとめました。
- ◆ 議会基本条例の制定についての検討に当たり、市会改革推進委員会において、法政大学の廣瀬克哉教授からお話を伺うとともに、質疑を行いました。
- ◆ 市会改革推進委員会に議会基本条例検討部会を設置しました。
- ◆ 議員定数、議員報酬の在り方に関する議論が始まりました。
- ◆ 議会基本条例について、市民の皆様との意見交換会を実施します。

詳しくは、ホームページで!



京都市会だより

第 64 号

平成25年(2013年)
2月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区寺町通御池上る
●TEL.075(222)3897
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

11月市会定例会の報告

議員提案による
「清酒の普及の促進に関する条例」が可決! ……2ページ

40件の議案を審議しました!

議案の審議結果を
掲載しています。

……3ページ



9人の議員が、 本会議で 代表質問!



……4・5ページ

議会基本条例Q&A
市会改革推進委員会の取組
など読みどころ満載!

今号はページを
倍増してお届け!

特集

議会基本条例を 検討中! ……6・7・8ページ



■ 定例会の概要	2	■ 定例会の審議結果	3
■ 本会議の代表質問から	4 5	■ 議会基本条例を検討中	6 7 8

京都市会だより

第 65 号

平成25年(2013年)
5月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
〒604-8571京都市中央区南洞町通堀上
TEL.075(222)3697
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

委員会の新体制が
決まりました。
新しい
メンバーで、
頑張ります!
(7面参照)



平成25年度 予算案を可決

予算案について、徹底的にギリギリまで審議し、土地開発公社の解散や学童保育所利用料などについて、厳しい意見を付けました。
(2・3・6面参照)

平成25年2月定例会



平成25年度も
引き続き、
議員報酬を
10%削減します。
(2・6面参照)



職員厚生会条例について、
補助金の適正化に向け
修正可決し、付帯決議も付けました。
(2・3・6面参照)

- 主な議案の概要、付帯決議、予算の審査
- 審議結果、意見書、委員会の新体制

- 2
- 3
- 6
- 7

- 本会議の代表質疑から
- 市会の活動、お知らせなど

- 4
- 5
- 8

■定例会の経過

2月20日	本 会 議	会期の決定、議案の提案説明、 予算特別委員会の設置など
2月20日 21・25日	予 算 特別委員会	正副委員長の互選、 24年度補正予算の審査など
2月26日 27日	本 会 議	代表質疑、議案の処理など
2月27日 28日 3月1・4~7日 12・13・22日	予 算 特別委員会	25年度一般会計予算の審査など
3月14日 15・22日	常任委員会	予算などの議案や意見書の議決 など
3月22日	本 会 議	予算などの議案や意見書の議決 など

2月市会定例会

2月定例会は、2月20日から3月22日までの33日間開かれ、市長提出議案105件、議員提出議案19件を審議しました。市長提出議案のうち、25年度一般会計予算など予算案22件とその関連議案39件については、予算特別委員会に付託・審査のうえ、「職員厚生会条例の全部改正」については修正可決、それ以外の議案は原案のとおり可決しました。24年度一般会計補正予算など予算案11件とその関連議案3件についても、予算特別委員会、また、「新型インフルエンザ等対策本部条例の制定」など議案16件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。

さらに、「市長等の給与の額の特例に関する条例の一部改正」など議案14件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、議員報酬を10%削減する「市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部改正」や「政務調査費の交付に関する条例の一部改正」など、13件の議員提出議案を原案のとおり可決しました。

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

京都市会だより

第66号

平成25年(2013年)7月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区中町通西面上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

5月市会定例会が開催されました!



京都市会副議長
隠塚 功
(左京区選出 民主・都みらい)



京都市会議長
橋村 芳和
(伏見区選出 自民党市議員)

新しい議長・副議長が選出されました

5月市会定例会

交通安全基本条例が全会一致で可決

5月定例会が5月14日から5月28日までの15日間開かれました。今回の定例会では、大西均議長と山岸たかゆき副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、新議長に橋村芳和議員、新副議長に隠塚功議員がそれぞれ選ばれました。

議案については、市長提出議案28件、議員提出議案9件を審議しました。市長提出議案のうち、平成25年度一般会計補正予算など6件については、予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。市税条例の一部改正など議案15件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、全て原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案7件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、京都市交通安全基本条例など6件の議案を原案のとおり可決しました。

私たちは、5月市会定例会において、第80代市会議長及び第88代市会副議長に選出されました。誠に光栄なこと存じますとともに、その職責の重さに対する引き締まる思いでございます。

京都市会では、二元代表制の一翼を担う合議制の議決機関として、市長をはじめとする執行機関に対するチェック機能の強化はもちろんのこと、自らの見識・能力を高める研修、努力を重ねながら、清酒の普及の促進に関する条例や交通安全基本条例といった執行機関では成し得ない政策立案を積極的にを行い、より良い政策・施策の実現に努めています。

また、議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定めた議会基本条例の検討を重ねており、市民の皆様のご意見を賜りながら、条例を磨き上げているほか、議員定数及び議員報酬の在り方についても、学識者から提出された意見書を参考に、今年度中に一定の結論を得るべく、一層の議会改革に取り組んでいるところであります。

今後とも、市民の皆様のご期待と信頼に応えるため、誠心誠意、全力を傾注してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

議員提案により

京都市交通安全基本条例を制定しました!

本条例は、祇園地域や亀岡市の通学路において相次いで発生した暴走事故を受け、自民党、民主・都みらい、公明党の3党派と無所属2名が5月14日の本会議において共同提案したもので、提案者を代表して、吉井あきら議員(自民党)が提案説明を行いました。その後、くらし環境委員会に付託、条例の目的や効果などについて質疑が行われ、5月28日の最終本会議において、全会一致で可決しました。

本条例では、本市における道路交通の安全に関し、その基本理念を定めて、本市のほか、市民、事業者や観光旅行者などの責務を明らかにするとともに、交通安全に関する施策の基本となる事項を定めています。「観光都市・京都」ならではの視点として、観光旅行者の事故の防止に関する規定も設けています。

本条例が制定されたことにより、本市の交通安全に関する取組が更に加速され、かつ継続的に行われるとともに、市民の皆様などに交通安全に対する意識を持ち続けていただくことが期待できます。

条例の全文は、市会ホームページで、御覧いただけます。

京都市会

■定例会の経過

5月14日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
5月16日 17日	本会議	正副議長の選挙、予算特別委員会の設置、議案の委員会付託、代表質問など
5月16日 20・27日	予算特別委員会	正副委員長長の互選、一般会計補正予算の審査など
5月22日 22・27日	常任委員会	付託議案の審査など
5月28日	本会議	議案や意見書の議決など

定例会の日程等を市バス・地下鉄の車内広告でお知らせしています。

京都市会では、平成25年4月から、年4回開催される定例会の日程等周知ポスターを、市バス・地下鉄の車内広告に掲出し、市民の皆様にも広くお知らせしています。

日程の他にも、審議内容や市会改革の動き等の情報を掲載しております。9月以降の定例会についても掲出しますので、ぜひ御覧になってください!



またまち(市会マスコットキャラクター)



5月市会ポスター

京都市会だより

第 67 号

平成25年(2013年)
12月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571京都市中京区中町通御所上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

9月市会定例会

9月定例会は、9月24日から10月28日までの35日間開かれ、市長提出議案97件、議員提出議案13件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成24年度各会計決算及び関連議案23件については、決算特別委員会を設置して付託審査のうえ、全て認定しました。平成25年度一般会計補正予算など3件についても、予算特別委員会を設置して付託審査し、1件については付帯決議を付して原案のとおり可決しました。また、追加で提出された台風18号による豪雨災害

一般会計など22会計 平成24年度決算を認定

台風18号による 豪雨災害に関する議案を 緊急に可決しました。

第一弾の復旧復興対策として、41億7千8百万円の補正予算を緊急に審議し、削減した議員報酬をその財源に活用する修正を行い、可決しました。



スピード感を持って審議しました!

またち(市会マスコットキャラクター)

また、国に対して、台風18号による被害の1日も早い復旧と復興のための支援措置を要望する意見書を可決しました(2・3面参照)。

(平成24年度決算) 〔五下の表も御覧ください〕

◆一般会計
歳入総額が7千265億4千8百万円に
対し、歳出総額が7千265億2千1百万
円となり、歳入歳出差引額は60億2千
7百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り
越すべき財源が41億6千2百万円ある
ため、実収支は18億6千5百万円の
黒字となっています。

◆水道事業
総収益は、有収水量の減少に伴う給
水収益の減少等で営業収益が減少した
ことなどにより、280億7千2百万円
〔対前年度比16%の減〕と減少する一
方、総費用は、山ノ内浄水場廃止に伴
う未償却資産の除却及び配水管の破損
事故に伴う損害賠償に要する経費が
58億4千3百万円発生したことなどにより、
35億7千3百万円〔対前年度比
206%の増〕と増加しました。この結果、
55億円の赤字決算となりました。

◆高遠鉄道事業
総収益は、5万人増客に向けた全庁を挙げた
取組や利便性向上策の浸透に加え、駅ナカビ
ジネスの拡大などにより、200億4百万円〔対
前年度比5.8%の増〕と増加する一方、総費用
は、人件費や減価償却費の減少などにより、
35億8千万円〔対前年度比42%の減〕と減少し
ました。

◆その他の主な議案
◆執行機関の附属機関の設置等に関する条例の制定
政策や施策、事業等について検討する審議会
等のうち、要綱等について開催されている審議会
の中で、条例で定める附属機関として設置する方
が適当であると判断したもののついて、必要な
条項を定めようとするものです。

◆平成24年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算	歳出決算	歳入歳出差引	実質収支
一般会計	7,325億4,837万円	7,265億2,117万円	60億2,721万円	18億6,496万円
特別会計(※)	6,891億9,435万円	6,872億6,758万円	19億2,677万円	14億1,288万円

※公営企業会計をのぞく17会計(4面参照)

◆平成24年度公営企業会計決算

	総収益	総費用	損益	累積損益
水道事業	280億7,235万円	335億7,306万円	△55億71万円	△2億139万円
公共下水道事業	449億1,053万円	414億7,559万円	34億3,494万円	34億3,494万円
自動車運送事業	196億5,900万円	170億4,559万円	26億1,341万円	△10億3,485万円
高遠鉄道事業	290億4,287万円	335億7,994万円	△45億7,567万円	△3,405億9,049万円

USTREAMによる常任委員会等の生中継及び 録画の配信を実施しています!

市会改革の取組の一つとして、市会からの更なる情報発信を行うため、11月5日から常任委員会、予算・決算特別委員会(局別質疑)、市会改革推進委員会のUSTREAM(ユーストリーム)による生中継及び録画の配信を実施しています。京都市会のホームページからアクセスできますので、ぜひ御覧になってください。



京都市会 検索



関西広域連合議会の
議員の選出

曾我修 議員
関西広域連合議会の議員
定数見直しに伴い、9月30日、同議員として、曾我修議員(公明党・伏見区)が新たに選出されました。



京都 市会だより

第68号

平成26年(2014年) 2月15日発行

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

●発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通西側上九軒町東町486番地 ●TEL:075(222)3697 FAX:075(222)3713

今回の定例会 2月定例会 5月定例会 9月定例会 11月定例会



平成25年 11月定例会の報告

平成25年11月26日～12月11日(会期16日間)



市会だよりは、今号から紙面をリニューアルしました!

台風第18号の被害 復旧支援第二弾を含む 補正予算を可決

今回の定例会では、台風第18号の被害に対する第二弾の復旧支援を盛り込んだ平成25年度一般会計補正予算のほか、空き家の活用や適正管理などについて規定する条例案など41件が、市長から提案されました。

それぞれの議案について、予算特別委員会分科会と常任委員会で局別の質疑や審査が行われ、その後の本会議において、各委員会の審査報告を受け、市長から追加で提出された議案9件を含めた50件の議案が原案どおり可決されました。

意見書や決議に関する議員提出議案11件については、7件の議案が原案のとおり可決されました。

また、12月2日の本会議では代表質問が行われ、9人の議員が各会派を代表して、市政一般にわたって質問をしました(233面参照)。

主な議案の審議経過

◆平成25年度一般会計補正予算などを可決

台風第18号の被害に対し、9月補正予算に引き続き、第二弾としての復旧支援などを盛り込んだ補正予算を可決しました。そのうち、平成25年度一般会計補正予算には、小栗栖排水機場周辺の浸水被害に関する責任の所在を明確にしたうえで十分な総括を速やかに行うことを求める警告を付したほか、付帯決議で、被害に遭われた方々の生活再建のためのきめ細かな対応を速やかに実施し、賠償の請求にも応じることを求めました。

【補正予算の主な内容】

- ・台風第18号に係る災害復旧及び被災者支援 25億1,100万円
- ・台風第18号被害を踏まえた水害対策の強化 2億2,300万円
- ・子育て支援・教育の充実等 8億3,800万円
- ・新観光振興計画策定の前倒し その他 1億9,000万円

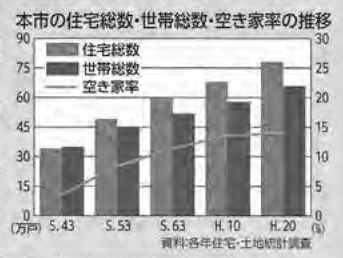
議第188号 平成25年度京都市一般会計補正予算 ほか2件

◆空き家の活用や適正管理に関する条例を可決

空き家が増加することで地域の生活環境や景観が悪影響を受けることを防ぐとともに、空き家の活用を総合的に推進して、地域における安心・安全な生活環境を確保し、地域コミュニティの活性化やまちづくりの促進に寄与することを目的とした「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」の制定について可決しました。

なお、本条例が、行政として個人資産への踏み込んだ内容となっていることから、所有者の意向を最大限に尊重して取り組むとともに、市民に対する丁寧な説明に努めることを求める付帯決議を付けました。

議第202号 京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例の制定



◆市バス・地下鉄の運賃に関する条例の一部改正を可決


消費税・地方消費税の税率の引上げに伴い、市バス・地下鉄の運賃に転嫁するための関係条例の一部改正を可決し、付帯決議で、算定根拠を市民に分かりやすく説明し、顧客サービスの充実に向け、バス待ち環境の整備などを更に推進していくことを求めました。

議第226号 京都市乗合自動車旅客運賃条例の一部を改正する条例の制定
議第227号 京都市高速鉄道旅客運賃条例の一部を改正する条例の制定

またきちの用語解説

委員会

本会議で審議される案件を事前に詳しく審査、調査をするための組織です。委員会には特定の案件を審査するために臨時に設けられる特別委員会と条例に基づき常設される常任委員会とがあり、様々な案件を部門別に審議しています。





京都 市会だより

第69号
平成26年(2014年) 5月15日発行

京都府 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 ●TEL.075(222) 3697 FAX.075(222) 3713

京都府ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

平成26年 2月市会定例会の報告

平成26年2月14日～3月17日(会期32日間)

平成26年度 予算案を可決

≫2面参照

予算案を徹底的に審議し、消費税率引上げへ対応するための関連議案などと共に可決しました。



京都市会 基本条例を制定

≫2・8面参照

市会や市会議員の活動指針を定めました。

市会議員の定数を 69人から67人に変更

≫2・8面参照
上京区 5人→4人
左京区 9人→8人

平成26年度から通年議会を導入

およそ1年間を会期とする通年議会を平成26年度から導入しました。
≫2・6面参照

目次	≫2面	主な議案の審議経過、 予算の審査	≫4・5面	本会議の代表質疑から 市会FOCUS「通年議会」、 京都市会10大ニュース	≫7面	委員会の新体制
	≫3面	審議結果	≫6面		≫8面	市会改革の取組、 市会からのお知らせ

平成26年2月市会定例会は、2月14日から3月17日までの32日間開かれました。

今定例会では、市長提出議案として、平成25年度一般会計補正予算や平成26年度予算、平成26年4月からの消費税率引上げへ対応するための議案など176件が提案され、それぞれの議案について、予算特別委員会と常任委員会で質疑や審査を行い、全て、原案どおり可決されました。

そのうち、平成26年度一般会計予算と身体障害者リハビリテーションセンター条例の一部改正に対して、付帯決議が付されています。

議員提出議案については、2月21日の本会議で、通年議会の導入について決定したほか、3月17日の本会議で、京都市会基本条例の制定について可決し、市会議員の定数に関する条例や議員報酬を平成26年度も引き続き10%削減するための条例の改正などについても決めました。そのほか、意見書や決議などの議案を含め24件が提出され、そのうち19件が原案どおり可決されました。

2月20日と21日の本会議では代表質疑が行われ、15人の議員が各党派を代表して、議案に対する質疑を行いました(4・5面参照)。

定例会の経過

2月14日	本会議	会期の決定、議案の提案説明、 予算特別委員会の設置など
2月14日・17日・19日	予算特別委員会	正副委員長の互選、平成25年度 補正予算の審査など
2月20日・21日	本会議	代表質疑、議案の処理など
2月21日・24～28日、 3月3日・6日・7日・14日	予算特別委員会	平成26年度一般会計予算の 審査など
3月10日・11日・14日	常任委員会	付託された議案や請願の 審査など
3月17日	本会議	予算などの議案や意見書の 議決など

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

広報の取組②

京都市会10大ニュース [平成25年度～]

平成25年度（京都市会だより第69号掲載）

平成25年度 京都市会 10大ニュース

市会議員の投票により、平成25年度の京都市会10大ニュースを決定しました。結果は下のとおりとなっています。それぞれのニュースの詳細は市会ホームページを御覧ください。

- 1位 議員定数の見直し
- 2位 通年議会の導入の決定
- 3位 京都市会基本条例の制定
- 4位 本会議での質問・質疑に分割方式を選択制で導入
- 5位 台風第18号による被害復興対策に関する議案を緊急可決
- 6位 議員報酬を10%カット、その後台風第18号被害復興対策関連予算に充当

- 7位 議員提案による京都市交通安全基本条例の制定
- 7位 委員会のUSTREAM配信による生中継・録画放映の開始
- 9位 議会基本条例説明会の開催
- 10位 平成24年度海外行政調査の報告会の開催、市長への調査報告書の提出

上位3位に選ばれた、「議員定数の見直し」や「通年議会の導入の決定」、「京都市会基本条例の制定」については、今後の市会のあり方を方向付けるものとして、議員同士で活発な議論を進めてきたものなんだ。今号の市会だよりでも、上欄や8面で詳しく取り上げているよ。

平成27年度（京都市会だより第80号掲載）

平成27年度 京都市会 10大ニュース 発表!!

市会議員の投票により、平成27年度の京都市会10大ニュースを決定しました。結果は右のとおりとなっています。それぞれのニュースの詳細は市会ホームページを御覧ください。

- 1位 京都市会議員選挙で1/3の新人議員を含む67人の議員が選ばれ、市会の新任期を開始
※67人の顔ぶれについては、市会ホームページを御覧ください。
- 2位 市会議員全員で共同提案した「京都市手話言語がなくなること豊かな共生社会を目指す条例」を全会一致で可決
※関連記事を1面に掲載しています。
- 3位 議員報酬10%カット、その後、7月の台風被害対応策への活用を9月市会で決定
- 4位 「若者の政治参加を考える」をテーマに学生と市会改革推進委員が意見交換
- 5位 アンヌ・イダルゴパリ市長の歓迎式を開催

- 6位 大規模災害を想定した初動対応訓練を京都市会で初めて実施
- 7位 市会の審議結果等を報告するための議長記者会見を初めて実施
- 8位 インターネット議会中継のスマートフォン対応を開始
- 9位 早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査2014で昨年度に引き続き全国9位に
- 10位 京都市会公式Facebookページを開設

平成29年度（京都市会だより第94号掲載）

議員が選ぶ! 平成29年度京都市会 10大ニュース 発表!

議員報酬（10%削減分）を社会福祉事業に関する補正予算の財源に活用

2位

「民泊」関連議案について、集中審査を実施（2月市会）

1位

京都市会基本条例の一部改正
～ネーミングライツの対象施設の決定には市会の議決が必要に～

3位

関連する全ての局の出発のもと実施しました。

- 4位 インターネット議会中継に手話通訳を導入
本会議及び予算決算特別委員会市長総括質疑で実施しています。
- 5位 予算・決算特別委員会における審議について、働き方改革の観点から日程の見直しを実施

- 6位 早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査ランキング2016で、昨年に引き続き政令市2位に
- 7位 子ども議場見学会で、市内15の小学校、合計474名の児童が京都市会を訪問

- 8位 市会改革推進委員会による京都市会基本条例の取組状況の評価・検証
- 9位 広井良典氏による「人口減少社会を希望にーこれからの日本社会とコミュニティ」をテーマとする議員研修を実施
- 10位 京都教育大学附属桃山中学校の皆さんが観光政策にかかる提案書を京都市会に提出

それぞれのニュースの詳細は市会ホームページをご覧ください。



京都 市会だより

第70号
平成26年(2014年) 7月15日発行

京都府 京都市会 ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町御通路上る上本願寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 ●FAX.075(222)3713

平成26年 5月市会の報告 平成26年 5月16日～ 5月30日



平成26年5月市会では、4月の消費税率引上げに伴う経済活性化などを盛り込んだ平成26年度一般会計補正予算案のほか、福知山市の花火大会で起きた露店での火災事故等を受けた火災予防条例改正案など、46議案が市長から提案されました。

それぞれの議案について、予算特別委員会と常任委員会で個別質疑が行われ、その後の本会議において、各委員会の審査報告を受け、更に市長から追加で提出された議案17件を含めた63件の議案が可決されました。

意見書に関する議員提出議案9件については、7件が原案のとおり可決されました。

また、5月21日の本会議では代表質問が行われ、9名の議員が各会派を代表して、市政一般にわたって質問を行いました(2・3面参照)。

新しい議長・副議長が選出されました

私たちは、5月市会において、第81代議長及び第89代副議長に選出されました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

地方分権改革の進展に伴い、二元代表制の一翼を担う議会の役割や責務も一層重要となっており、行政に対する監視機能や議会自らの政策立案機能に加え、昨年、京都を襲った台風18号のような大規模災害への迅速かつ確かな対応など、多くの期待が地方議会に寄せられています。

京都市会では、こういった市民の皆様期

待に応えるべく、「京都市会基本条例」を制定し、京都市会のあるべき姿や目指すべき方向性を明確にするとともに、平成26年4月から会期を概ね1年とする「通年議会」を導入し、災害等の突発的事案や緊急性のある課題に対し、速やかな対応を執るなど、議会の権能強化に努めてきました。

今後とも、京都市会が、市民の皆様の負託に応え、市民生活の向上と市政の発展に資する機関であり続けられるよう、誠心誠意、全力を傾注してまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。



京都市会議長
中村三之助
(上京区選出
自民党市議団)



京都市会副議長
井上教子
(下京区選出
公明党市議団)

関西広域連合議会の議員の選出

曾我修議員(公明党、伏見区)の関西広域連合議会議員の辞職が関西広域連合議会議員に許可されたことに伴い、同議会議員の選挙を京都市会において行い、恩塚功議員(民主・都、左京区)が選出されました。

平成24年8月に選出された関西広域連合議会議員 井上与一郎議員(自民党、右京区)は、変更ありません。



恩塚功 議員

主な議案の審議結果

平成26年度補正予算を可決

消費税率引上げに伴う需要の反動減が危惧される中、消費喚起に向けた市独自の取組を盛り込んだ平成26年度補正予算を可決しました。

補正予算では、市内商店街でのクレジットカードの利用促進キャンペーンなどの経済活性化策や国からの交付金を活用した人材育成、就業支援などの雇用創出事業等に3億3,370万円、洛陽工業高校と伏見工業高校を統合した新工業高校の整備のための立命館中学・高等学校の土地等の購入や民間保育所の整備助成等に24億5,530万円などが計上されています。

議案155号 平成26年度京都市一般会計補正予算
議案156号 平成26年度京都市雇用対策事業特別会計補正予算

火災予防条例の一部改正を可決

火災予防条例について、福知山市の花火大会での火災事故や不特定多数の方が利用する施設などで多くの死傷者を伴う火災が近年発生していることを踏まえ、その一部改正を可決しました。

この改正に基づき、緑日や花火大会等の大規模な催しでは、責任者に防火管理業務を義務付けるとともに、不特定多数の方が利用する施設等では、重大な消防法等違反がある場合、その建物を公表することなどになります。

条例の運用に当たっては、条例改正の趣旨を十分に関係者に周知し、催しにおける火災予防上の取扱いにきめ細かく対応することなどを求める付帯決議を付しました。

議案170号 高槻市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について



第71号
平成26年(2014年)12月15日発行

京都市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池の上 上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

平成26年9月市会の報告

平成26年 9月19日～10月27日



平成26年9月市会では、平成26年度補正予算や平成25年度決算のほか、いじめの防止やいわゆる「ごみ屋敷」の解消に関する条例の制定など、139議案が市長から提案されました。

9月26日の本会議では、平成26年度一般会計補正予算を修正可決したほか、いじめの防止等に関する条例案など、49件の議案を可決しました。

平成25年度決算など、その他の議案87件は、それぞれ決算特別委員会や常任委員会に付託され、13日間にわたって質疑や審査が行われました。

その後、10月27日の最終本会議において、各委員会の審査報告を受け、更に市長から追加で提案された議案3件を含めた90件の議案が可決され、意見書の提出に関する議員提出議案12件については、6件が原案のとおり可決されました。

また、9月29日・30日の本会議では代表質問が行われ、16名の議員が各会派を代表して、市政一般にわたって質問を行いました(2・3面参照)。

平成26年度 一般会計補正予算を修正可決

8月の豪雨災害による被害への対策が盛り込まれた平成26年度一般会計補正予算について、全議員で共同提案した修正案を可決しました。修正案では、議員報酬の1割を削減することで生じた7,900万円を、農林や道路の災害復旧など、8月豪雨による被害対策の財源に活用することとしています。

平成25年度決算を認定

平成25年度決算を審査するため9月26日に決算特別委員会を設置し、一般会計決算など決算22件と関連議案2件を付託し、審査を行ったうえで、全て原案どおり可決しました。

なお、一般会計決算の認定にあたっては、既存建築物の耐震化の向上や自転車損害賠償保険の普及促進を求める意見が付けられました。

平成25年度決算の内容

平成25年度一般会計決算は、市税徴収率の向上、職員数の削減などの結果、平成20年度にリーマンショックの影響により過去最大の赤字となった実質収支が19億8,600万円の黒字となりました。また、公営企業も収支改善し、市バス・地下鉄事業や水道事業を含む全会計の連結実質収支も黒字を維持・拡大しました。

一般会計・特別会計

	歳入	歳出	実質収支
一般会計	7,190億5,129万円	7,116億4,264万円	19億8,574万円
特別会計(17会計)	6,877億2,971万円	6,841億8,156万円	33億7,579万円

公営企業特別会計

	総収益	総費用	損益
水道事業	292億892万円	272億3,789万円	19億7,103万円
公共下水道事業	439億7,232万円	399億4,850万円	40億2,381万円
自動車運送事業	196億8,909万円	168億3,366万円	28億5,543万円
高速鉄道事業	285億4,604万円	347億7,648万円	△62億3,043万円

またちの用語解説

決算特別委員会

決算の審査をするための委員会です。京都市会では通常、前年度決算が議案として提出される9月市会に設置され、全議員で構成されます。委員会では、審査する内容に従い、グループに分かれて局別に質疑を行い詳しく審査し、市長や副市長に対する総括質疑を行った後、本会議で、委員長からの審査内容の報告を受け、決算を認定するかどうかが諮られます。

その他の主な議案の審議結果

子どものいじめを防止、再発を防止

いじめの未然防止やいじめへの迅速かつ適切な対応、また、いじめの再発防止などに総合的に取り組むための条例を可決しました。昨年9月に国の「いじめ防止対策推進法」が施行されたことを受けて作成されたこの条例では、子どもが安心して生活し学ぶことができる環境を構築することが目指されています。

議第264号 京都市いじめの防止等に関する条例の制定について

「ごみ屋敷」の解消に向けた取組を推進

いわゆる「ごみ屋敷」の不良な生活環境を解消するための支援などについて定めた条例を可決しました。

条例を可決するにあたって、不良な生活環境を解消するための取組は「支援」を基本としつつも必要となる「措置」は適切に行い、行政上の強制力を行使する際に複数の有識者による会議に諮ることなどを求める付帯決議を付けました。

議第256号 京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定について

京都市会初！ 議会報告会を開催しました。詳しくは4面を御覧ください。



京都 市会だより

第72号
平成27年(2015年)
2月15日発行

京都 市会ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

平成26年 11月市会の報告 平成26年 11月25日~ 12月22日



平成26年11月市会では、平成26年度補正予算や指定管理者の指定など、173議案が市長から提案されました。

そのうち、衆議院議員選挙の実施に要する経費を盛り込んだ一般会計補正予算や平成25年の台風18号の浸水被害に対応するための損害賠償の額の決定など、迅速に審議する必要のあった40件の議案は、11月25日の本会議で予算特別委員会や常任委員会に付託され、審査の後、11月27日の本会議で可決されました。

民間保育所整備等の子育て支援の更なる充実などのための補正予算など128件の議案は、11月27日の本会議で所管の委員会に付託された後、審査され、市長から追加で提案された議案5件とともに、12月22日の最終本会議で可決されました。

意見書の提出に関する議員提出議案5件については、4件が原案のとおり可決されました。

また、11月28日の本会議では代表質問が行われ、9名の議員が各党派を代表して、市政一般にわたって質問を行いました(2・3面参照)。

平成26年度 補正予算を 可決しました


11月市会に提案された平成26年度補正予算は、総額20億9,900万円で、民間保育所の整備助成などによる子育て支援の更なる充実や急激な円安へ対応するための緊急支援などが盛り込まれているほか、職員の給与等の改定や衆議院議員選挙の実施に必要な経費などで編成されています。各補正予算は、予算特別委員会に付託され、慎重な審査のうえ、本会議で全て可決されました。

補正予算の主な内容	子育て支援の更なる充実	2億4,200万円
	急激な円安等による原材料及び燃料費の高騰等に対する本市独自の緊急支援	3,000万円
	給与と改定その他	15億1,700万円
	衆議院議員選挙等の実施に要する経費	3億1,000万円

議案第366号 平成26年度京都市一般会計補正予算 ほか

またきちの用語解説

付託



議会が処理すべき案件について、本会議での議決に先立って、詳しい審査を常任委員会や特別委員会などの内部機関へ部門別に委ねることです。

付託されるものには議案や請願などがあります。付託された案件は委員会でも審査され、結果が出たうえで、本会議での議題となります。

その他の主な議案の審議結果

指定管理者を指定

京都市国際交流会館や京都市男女共同参画センターなどの公の施設の指定管理者を指定する議案101件を可決しました。

指定管理者


平成15年9月に施行された改正地方自治法によって、それまで地方公共団体の出資法人などに限定されていた公の施設の管理運営を、株式会社等の民間事業者も行うことが可能となりました。これら公の施設の管理運営を行う団体を指定管理者といいます。

個々の指定管理者は、議会の議決を経て、期間を定めて指定することが定められています。

議案第378号 指定管理者の指定について(総合企画局関係) ほか

まちづくり条例を改正

京都市土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例(まちづくり条例)については、制定から14年が経過し、その間に社会情勢が変化していることなどから、良好なまちづくりを更に進めていくため、対象建築物の拡充や意見調整の仕組みの充実などを目的として提案された一部改正条例を可決しました。



議案第374号 京都市土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例の一部を改正する条例の制定について



京都 市会だより

第73号
平成27年(2015年) 5月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町西側町上る上本町 488 番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

平成27年 2月市会の報告 平成27年 2月20日～ 3月20日

平成27年度 当初予算を可決

総額約1兆7,000億円に上る平成27年度当初予算を可決



マグリース マスコット キャラクター またさち

平成27年度も引き続き議員報酬を10%削減することを決定

市民のくらしに直結する議案を数多く審議

市長から提案された条例案を市会が修正して可決

動物との共生に向けたマナー等に関する条例へ修正可決

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の改正、客引き行為等の禁止等に関する条例、ペット霊園の設置等に関する条例を可決

平 成27年2月市会は、2月20日から3月20日までの29日間開かれました。

平成27年度当初予算など141件の議案が市長から提案され、動物との共生に向けたマナー等に関する条例への修正可決を行ったほか、廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正など、その他の議案140件について全て原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、

3月20日の本会議で、議員報酬を平成27年度も引き続き10%削減する条例について提案・可決したほか、意見書や決議などの議案13件が提出され、6件を可決しました。

また、2月26日と27日の本会議では代表質疑が行われ、15人の議員が各会派を代表して、平成27年度当初予算に関する議案について質疑を行いました(4・5面参照)。



2月市会の流れ

2月20日	本会議	議案の提案説明、予算特別委員会の設置など
2月20日・23日・25日	予算特別委員会	正副委員長の互選、平成26年度補正予算の審査など
2月20日・25日	常任委員会	付託された議案の審査など
2月26日・27日	本会議	代表質疑、議案の処理など
3月9日	本会議	議案の提案説明、議案の処理など
3月2日～6日・9日・12日・13日・19日	予算特別委員会	平成27年度当初予算の審査など
3月16日・17日・19日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
3月20日	本会議	予算などの議案や意見書の議決など

本号は、紙面を8ページに倍増してお届けします。

目次	▶2面 主な議案の審議結果	▶4・5面 本会議の代表質疑から	▶7面 京都市会年間カレンダー
	▶3面 審議結果一覧	▶6面 市会改革のあゆみ	▶8面 京都市会10大ニュース、市会からのお知らせ ほか

京都 **市会だより** 本号は保存版として活用してください **特集号**
 平成27年(2015年) 7月15日発行
 京都市会ホームページ <http://www2.city-kyoto.lg.jp/shikai/>
 ●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区東町通御池上る上本願寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713



京都市会だより編

新市会の発足にあたって



京都市会議員
津田大三



京都市会副議長
大道義知

私たちは、5月開会市会において、第82代議長及び第90代副議長に選出されました。誠に光栄なことと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

「地方創生元年」とも言われ、地方のやる気・力量が本当の意味で問われる時が今まさに訪れて

新市会によせて



京都市長
門川大作

市民の皆様への審判により選ばれた、議員の皆様による新しい市会の発足を心からお慶び申し上げます。

本市では、三元代表制の下、議員の皆様と徹底した議論を行い、様々な取組により市民生活の向上を図るとともに、住んでよし、訪れてよし、働いてよしの京都のまちづくりを進めてまいりました。

おり、三元代表制の「裏」を担う地方議会の果たすべき役割は、これまでになく重要なものとなっております。

京都市会においても、行政に対する監視機能はもとより、政策立案や災害対応、また市民の皆様への広報活動など、あらゆる面での機能強化を図り、皆様から寄せられる期待に応えるべく取組を進めてまいります。

議会では、テレビ中継されている代表質問の時だけでなく、予算・決算特別委員会や常任委員会など、一年を通じて議員と市長をはじめとする執行機関との間で活発な議論が交わされています。今後、この「市会だより」をさらに充実させ、議会活動についてより積極的にお知らせしていきたいと思っておりますので、是非御注目ください。

今後とも、皆様には、京都市会に対する御関心と御理解を深めていただき、京都市会をより身近に感じていただければ幸いです。

しかし、人口減少、少子化対策、経済の更なる活性化、安定した雇用の創出、さらには地震や水災害への防災・減災対策、安心安全のまちづくり、また、これらを実現するための行財政改革など、課題は依然山積しています。

特に、人口減少問題に対しては、市民や関係団体等の皆様と行政が危機感を共有し、同時に使命感や夢も共有しながら、自ら考え、共に行動し、それぞれの力を最大限発揮しなければなりません。

今後とも、市民の皆様から信託を受けられなくなった議員の皆様と、徹底した深みのある議論を行い、スピード感を持って、未来の京都のまちづくりに全力を尽くしてまいります。

京都市会議員

4月12日の京都市会議員選挙で各区から67人の議員が選出された



鈴木マサホ 左京区南公民主⑧ 大道 義知 伏見区北⑦ 公明 ⑦ ひおき文章 伏見区北⑦ 公明 ⑦ 寺田かずひろ 上京区上④ 自民 ④ 中村三之助 上京区上⑤ 自民 ⑤



村山 祥栄 左京区④ 民主 ④ 天方 浩之 西京区③ 民主 ③ 中野 洋一 東山区③ 民主 ③ 隠塚 功 左京区④ 民主 ④ 山岸たかゆき 伏見区④ 民主 ④ 安井つとむ 伏見区⑦ 民主 ⑦ 曾我 修 伏見区④ 公明 ④ 久保 勝信 山科区④ 公明 ④ しまもと京司 南区② 自民 ② 椋田 隆知 南区② 自民 ② 下村あきら 下京区③ 自民 ③

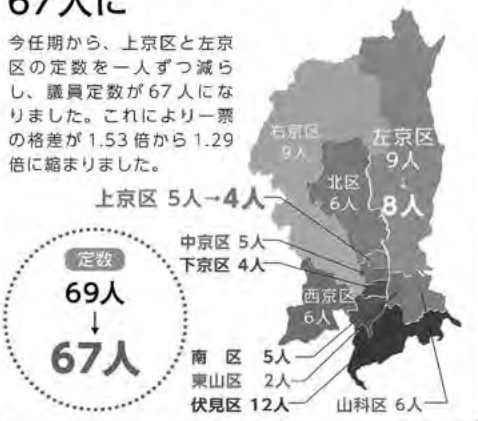


江村 理紗 右京区② 京都 ② 山集麻衣子 下京区① 京都 ① 山本ひろふみ 伏見区③ 民主 ③ 青野 仁志 中京区② 公明 ② 平山よしかず 西京区③ 公明 ③ 吉田 孝雄 伏見区③ 公明 ③ 湯浅 光彦 右京区④ 公明 ④ 森田 守 東山区① 自民 ①

区別議員定数

議員定数を2人削減、67人に

今任期から、上京区と左京区の定数を一人ずつ減らし、議員定数が67人になりました。これにより一票の格差が1.53倍から1.29倍に縮まりました。



森 かれん 上京区① 京都 ① 大津 裕太 中京区① 京都 ① 西山 信昌 下京区① 公明 ① かわしま優子 伏見区① 公明 ① 国本 友利 左京区② 公明 ② 平山たかお 東山区① 自民 ①

一票の重みの違いが改善されたのね。



菅谷 浩平 北区 維新・無① こうち大輔 右京区 維新・無① 宇佐美けんいち 左京区 維新・無① 豊田 貴志 山科区 維新・無①

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| <p>維新の党・無所属 (5人)
京都市会議員団
団長 豊田 貴志
宇佐美けんいち
こうち 大輔
菅谷 浩平
森川 央</p> | <p>地域政党京都党 (5人)
市会議員団
団長 江村 理紗
大津 裕太
村山 祥栄
森 かれん
山集 麻衣子</p> | <p>民主・都みらい (7人)
京都市会議員団
団長 安井 つとむ
副団長 山岸 たかゆき
天方 浩之
隠塚 功
鈴木 マサホ
中野 洋一
山本 ひろふみ</p> | <p>公明党 (11人)
京都市会議員団
団長 曾我 修
副団長 久保 勝信
青野 仁志
かわしま 優子
国本 友利
大道 義知
西山 信昌
ひおき 文章
平山 よしかず
湯浅 光彦
吉田 孝雄</p> | <p>ほり 信子
森田 ゆみ子
山田 こうじ
やまね 智史
山本 陽子</p> |
|---|---|---|---|---|

を紹介します

した。議員の任期は平成31年4月29日までの4年間です。

この表の見方

氏名
選出区
会派(略称)、期数



京都府マスコット
キャラクター
またきち

会派の名称は次のとおりです

- 自 民 = 自由民主党京都市議員団
- 共 産 = 日本共産党京都市議員団
- 公 明 = 公明党京都市議員団
- 民 主 = 民主・都みらい京都市議員団
- 京 都 = 地域政党京都党市議員団
- 維新・無 = 維新の党・無所属京都市議員団



橋村 芳和 小林 正明 繁 隆夫 富 さくお 井上 与一郎
伏見区北 区北 区伏見 区山科 区右京 区右京
自 民 ⑥ 自 民 ⑥ 自 民 ⑥ 自 民 ⑨ 自 民 ⑩



西村 義直 吉井 あきら 田中 明秀 山本 恵一 山中 渡 井坂 博文 北山 ただお 玉本 なるみ 西野 さち子 井上 けんじ
西京区山科区西京区北 区下京区北 区北 区山科区北 区北 区伏見区南 区伏見区南
自 民 ③ 自 民 ③ 自 民 ③ 自 民 ③ 共 産 ⑥ 共 産 ⑦ 共 産 ⑨ 共 産 ⑤ 共 産 ⑤ 共 産 ⑤



田中 たかのり 大西 ケンジ みちはた 弘之 くらた 共子 河合 ようこ 樋口 英明 加藤 あい 赤 阪 仁
右京区左京区伏見区上京区西京区左京区左京区伏見区
自 民 ① 自 民 ① 自 民 ① 共 産 ④ 共 産 ④ 共 産 ④ 共 産 ④ 共 産 ③



加藤 昌洋 津田 大三 西村 善美 ほり 信子 山田 こうじ 森田 ゆみ子
中京区中京区右京区右京区右京区南 区
自 民 ① 自 民 ④ 共 産 ③ 共 産 ① 共 産 ① 共 産 ①



森川 央 山本 陽子 平井 良人 やまね 智史
西京区山科区中京区伏見区
維新・無 ② 共 産 ① 共 産 ① 共 産 ①

議長席から見ると、議員はこのように着席しているよ。



本会議場配置図



マタリース

議長は本会議では議長席に座るけど、他の議員と同様に議席が設けられているのよ。



会派の構成(五十音順)

会派とは、主義主張や考えを同じくする議員の集まりです。京都市会では、6つの会派が結成されました。

- | | | | |
|-----------------------|---|-----------------------|--|
| 自由民主党
京都市議員団 (21人) | 井上 与一郎
山本 恵一
大西 ケンジ
加藤 昌洋
小林 正明
繁 隆夫
しまもと 京司
下村 あきら
田中 明秀
田中 たかのり
田中 大三
寺田 かずひる
富 さくお
中村 三之助
西村 義直
橋村 芳和
平山 たかお
みちはた 弘之
椋田 隆知
森田 守
吉井 あきら | 日本共産党
京都市議員団 (18人) | 山中 渡
井坂 博文
北山 ただお
赤 阪 仁
井上 けんじ
加藤 あい
河合 ようこ
くらた 共子
玉本 なるみ
西野 さち子
西村 善美
樋口 英明
平井 良人 |
|-----------------------|---|-----------------------|--|

市会の新しい構成が決まりました

5月18日の本会議で市会議長・副議長をはじめ、市会運営委員会と5つの常任委員会、市会改革推進委員会の構成を決めました。

また、同日、各委員会の正副委員長も選任しました。

ここでは市会議長・副議長や各委員会のメンバーをお知らせします。

議長：津田 大三（自民/中京） 副議長：大道 義知（公明/南）

自 民＝自由民主党京都市議員団
共 産＝日本共産党京都市議員団
公 明＝公明党京都市議員団
民 主＝民主・都みらい京都市議員団
京 都＝地域政党京都市議員団
維新・無＝維新の党・無所属京都市議員団

◎＝委員長、○＝副委員長、△＝理事

市会運営委員会 定数15人

本会議の運営方法の協議や市会内部の連絡交渉などのために置かれており、所属議員5人以上の会派から委員を選出し、組織されています。市会運営委員会では、議長の諮問に応じるほか、議案や請願・陳情などの取扱いといった本会議の議事運営や会議規則、委員会条例など市会に関する重要事項について協議します。

- | | | | | |
|----------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|
| ○△吉井あきら（自民/山科） | ○△尾塚 功（民主/左京） | △江村 理紗（京都/右京） | 田中 明秀（自民/西京） | 西村 善美（共産/右京） |
| ○△加藤 あい（共産/左京） | △橋村 芳和（自民/伏見） | △豊田 賢志（維新・無/山科） | 椋田 隆知（自民/南） | 吉田 孝雄（公明/伏見） |
| ○△湯浅 光彦（公明/右京） | △井坂 博文（共産/北） | しまもと京司（自民/南） | 赤坂 仁（共産/伏見） | 山本ひろふみ（民主/伏見） |

常任委員会

1年を通して、部門別に構成された5つの委員会が活動しており、議員は常任委員会に必ず所属することになっています。執行機関の業務について、5つの委員会がそれぞれ担当する局ごとに、本会議から付託された議案の審議や請願の答復のほか、執行機関の業務全般について審議を行います。

経済総務委員会 定数13人
行政、財政、総合企画、産業観光、企画管理、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

- ◎橋口 英明（共産/左京）
- 小林 正明（自民/北）
- 森川 央（維新・無/西京）
- 田中 明秀（自民/西京）
- 中村 三之助（自民/上京）
- 平山 たかお（自民/東山）
- くらた共子（共産/上京）
- 山田 こうじ（共産/右京）
- 山中 凌（共産/下京）
- 青野 仁志（公明/中京）
- 西山 信昌（公明/下京）
- 中野 洋一（民主/東山）
- 江村 理紗（京都/右京）

くらし環境委員会 定数13人
環境政策局及び文化市民局の所管に属する事項

- ◎ひおき文章（公明/北）
- 富 きくお（自民/山科）
- 西村 善美（共産/右京）
- 大西ケンジ（自民/左京）
- 田中たかのり（自民/右京）
- 橋村 芳和（自民/伏見）
- 井坂 博文（共産/北）
- 森田ゆみ子（共産/南）
- やまね智史（共産/伏見）
- 国本 友利（公明/左京）
- 山岸たかゆき（民主/伏見）
- 森 がれん（京都/上京）
- 宇佐美けんいち（維新・無/左京）

教育福祉委員会 定数14人
保健福祉局及び教育委員会の所管に属する事項

- ◎西村 義直（自民/西京）
- 玉本なるみ（共産/北）
- 久保 勝信（公明/山科）
- 加藤 昌洋（自民/中京）
- 寺田かずひろ（自民/上京）
- 椋田 隆知（自民/南）
- 森田 守（自民/右京）
- 加藤 あい（共産/左京）
- ほり 信子（共産/右京）
- かわしま優子（公明/伏見）
- 天方 浩之（民主/西京）
- 鈴木マサホ（民主/左京）
- 大津 裕太（京都/中京）
- こうち大輔（維新・無/右京）

まちづくり委員会 定数14人
都市計画局及び建設局の所管に属する事項

- ◎安井つとむ（民主/伏見）
- 繁 隆夫（自民/伏見）
- 山藤麻衣子（京都/下京）
- 井上与一郎（自民/右京）
- 下村あきら（自民/下京）
- 津田 大三（自民/中京）
- 赤坂 仁（共産/伏見）
- 井上げんじ（共産/南）
- 西野さち子（共産/伏見）
- 山本 陽子（共産/山科）
- 曾我 修（公明/伏見）
- 吉田 孝雄（公明/伏見）
- 尾塚 功（民主/左京）
- 豊田 賢志（維新・無/山科）

交通水害消防委員会 定数13人
消防局、交通局及び上下水道局の所管に属する事項

- ◎山本 恵一（自民/北）
- 河合ようこ（共産/西京）
- 山本ひろふみ（民主/伏見）
- しまもと京司（自民/南）
- みちはた弘之（自民/伏見）
- 吉井あきら（自民/山科）
- 北山ただお（共産/山科）
- 平井 良人（共産/中京）
- 大道 義知（公明/南）
- 平山よしかず（公明/西京）
- 湯浅 光彦（公明/右京）
- 村山 裕栄（京都/左京）
- 都谷 浩平（維新・無/北）

予算・決算特別委員会（正副委員長）

予算や決算を審査する必要があるとき、予算特別委員会と決算特別委員会を設け、審議を行います。委員会は全市会議員67人で構成されます。

- | | |
|---------------|---------------|
| ◎田中 明秀（自民/西京） | ○天方 浩之（民主/西京） |
| ○椋田 隆知（自民/南） | ○しまもと京司（自民/南） |
| ○赤坂 仁（共産/伏見） | ○くらた共子（共産/上京） |
| ○国本 友利（公明/左京） | |

市会改革推進委員会 定数15人

議会機能の充実と強化を図り、間かれた市会をより一層推進していくため、地方自治法に規定する「協議・調整の場」として、市会改革に向けた様々な議論を行います。

- | | | |
|----------------|--------------|------------------|
| ◎寺田かずひろ（自民/上京） | 橋村 芳和（自民/伏見） | 西村 善美（共産/右京） |
| ○井坂 博文（共産/北） | 椋田 隆知（自民/南） | 国本 友利（公明/左京） |
| ○吉田 孝雄（公明/伏見） | 吉井あきら（自民/山科） | 中野 洋一（民主/東山） |
| ○鈴木マサホ（民主/左京） | 赤坂 仁（共産/伏見） | 大津 裕太（京都/中京） |
| 田中 明秀（自民/西京） | 加藤 あい（共産/左京） | 宇佐美けんいち（維新・無/左京） |

市役所本庁舎 2階見取図



各会派の連絡先

会派名	電話番号
自由民主党京都市議員団	222-3718
日本共産党京都市議員団	222-3728
公明党京都市議員団	222-3732
民主・都みらい京都市議員団	222-3724
地域政党京都市議員団	222-4035
維新の党・無所属京都市議員団	222-4182



市会だより

第74号
平成27年(2015年)
7月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

●発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区有町通御池上る上本能町前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

新しい市会、始まりました。

平成27年定例会の会期が313日間に決定
(5月18日から来年3月25日まで)



平成27年5月開会市会の報告 5月18日～5月28日に開催(11日間)

4月に行われた京都市議員選挙後、初めてとなる平成27年京都市会定例会が開会されると同時に、定例的に審議される審議期間として設けられた5月開会市会が5月18日から28日までの11日間開かれしました。

なお、京都市会では会期をおおむね一年とする通年議会を導入しており、定例会の会期を5月18日から来年3月25日までの313日間に決定しました。

5月開会市会では、正副議長の選挙を行った結果、議長に津田大三議員(自民/中京)、副議長に大道義知議員(公明/南)をそれぞれ選びました。また、各委員会委員を選任するなど、新しい市会の構成

を決めた後、市長提出議案98件、議員提出議案9件を審議しました。

市長から当初、提出された議案84件については、予算特別委員会と常任委員会に付託した後、所管局ごとに質疑を行い、5月28日の本会議において、各委員会から審査報告を受け、全ての議案を可決しました。また、監査委員の選任など、市長から追加で提出された議案14件も可決しました。

さらに市会委員会条例の一部改正や意見書の提出に関する議員提出議案9件については、5件の議案を原案のとおり可決しました。

(2、3面に5月開会市会での代表質問を掲載)

主な審議結果

平成27年度一般会計補正予算を可決

総額5億8,600万円となる平成27年度一般会計補正予算を可決しました。補正予算には、新設を含む民間保育所等の整備のための助成に4億900万円、下京区の醍醐小学校と淳風小学校の統合校の整備に係る基本計画策定等のために5,600万円などの費用が計上されています。

可決に当たっては、特に新設保育園に関して、周辺道路が狭いなど、地元住民の生活環境に影響を与える可能性があることから、事業者が地元住民などに対し十分な説明を行い理解の促進に努めるとともに、行政としても、子供や保護者の安全確保も考慮し、事業者への指導など適切な対応を取ることを求める付帯決議を付しました。

宝が池公園運動施設の使用資格の拡大や排水機場の集中監視システムに係る契約締結に関する議案に付帯決議

高校生以上の一般市民や市内の幼稚園、保育所などを新たに利用の対象とすることを定めた宝が池公園運動施設条例の一部改正案が提出されました。市会では可決に当たり、市の地域体育館などの使用料が時間単位であることを踏まえ、より市民の皆さんが利用しやすい京都市子ども体育館の使用料設定を求める付帯決議を付しました。

また、排水機場集中監視システムに係る契約の締結に関する議案に対しても、可決に当たって付帯決議を付し、契約の相手方である市外事業者に対し、市内事業者育成の観点から市内事業者とともに監視システムの工事と管理を行うよう指導することを求めました。

議案75号 平成27年度京都市一般会計補正予算
議案に関する問い合わせ 財政課 TEL 222-3291

議案81号 京都市宝が池公園運動施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案83号 排水機場集中監視システム新設工事請負契約の締結について
議案に関する問い合わせ 議案81号 体育健康教育室 TEL 708-5322
議案83号 河川整備課 TEL 222-3591

市会だよりが
年4回から
年7回に
増やします

市民の皆さんから
メッセージ
お待ちしております

これまで、京都市会では、定例的に設けている審議期間に合わせて、年4回市会だよりを発行し、本会議での審議結果を中心に市会の活動をお伝えしてきました。今後、発行回数を年7回に増やすことで市民の皆様へ審議経過や代表質問などの市会の情報をより早く

く、タイムリーにお届けします。

次回(9月15日発行)の市会だよりでは、市会の仕組みや活動などをわかりやすく紹介する企画記事を用意しています。皆さん、ぜひお手に取ってみてください。

よりタイムリーな情報をもっと分かりやすくお届けするわ!



マタリーヌ

広報の取組③

新聞広告（京都新聞）[平成27年9月～]

平成27年9月23日掲載

京都市会9月市会

開催 9/24・10/29

平成26年度の決算などを中心に審議します。

10/1(木)・2(金) KBS京都テレビで生中継 10/20(火)・21(水) 本会議 代表質問 決算特別委員会 市長総括質疑

ネット配信! 場所 市役所本庁舎 市会議場 時間 午前10時から

本会議と委員会(特別委員会、常任委員会、市会改革推進委員会)の生中継と録画をインターネットでご覧になれます!

親子ふれあい議員見学会 参加者募集

京都市会では、市会改革推進委員会を設置し、京都市会基本条例の制定や通年議会の導入など、議会の充実に取り組んでまいりました。現在は、情報発信の強化や投票率の向上に向けた取組などについて審議しています。今後も市会改革の動きにご注目ください。

次回の市会改革推進委員会 9月24日(木) 本会議終了後

お問合せ 京都市会 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町489番地 市会事務局調査課 TEL.075-222-3697 FAX.075-222-3713

平成28年2月28日掲載

京都市会 2月市会

開催中 3/25(金)まで

総額約1兆6500億円 平成28年度の当初予算を中心に審議しています。

3/1(水)・2(木) KBS京都テレビで生中継 インターネット 3/15(土)・16(日) インターネットで生中継

本会議 代表質疑 予算特別委員会 市長総括質疑

場所 市役所本庁舎 市会議場 時間 午前10時～

平成28年度の当初予算について議員が市長と熱い議論を交わします! 議論の様子は傍聴することができますので、ぜひ市会議場へお越しください。

ネットで京都市会!

市会の議論をネットでも 市会ホームページのスマートフォン版を作成

手話言語条例の議員提案による制定を目指します

手話への理解や普及の促進を目的とする手話言語条例の制定に向け、全会派の代表者で構成するプロジェクトチームを設置し検討を進めています。プロジェクトチームでは、関係団体などから意見をいただきながら案例を取りまとめ、市民の皆様からのご意見を踏まえて、市会議員による議員提案を提出し、2月市会での制定を目指します。

市会改革進行中! 新しい取組、進めていきます

京都市会では、市会改革を進めていくため市会改革推進委員会を設置し、1月10日程度、会議を開いています。委員会で議論を踏まえ、今後、次の項目に取り組むこととなります。

政務活動費に関する領収書等の書類のインターネット公開

議員記者会見

市会ホームページへの市民意見受付フォームの設置

フェイスブックでの情報発信

議員と市民議員による情報発信

実施時期などの詳細は、随時お知らせします。

お問合せ 京都市会 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町489番地 市会事務局調査課 TEL.075-222-3697 FAX.075-222-3713

平成30年2月18日掲載

京都市会 2月市会

開催 2.16(金)・2.20(火)

本会議 代表質疑 2.22(木)・23(金) KBS京都テレビで生中継!

予算特別委員会 市長総括質疑 3.9(金)・12(月) 来年度予算について白熱議論!

場所 市役所本庁舎 市会議場 時間 午前10時～

そのほかにも本会議や委員会を連日開催しています。

市会NEWS

～11月市会の結果～ 民泊対策の強化 などについて徹底議論しました。

市民意見を反映した条例案の採択や議員体制の充実などを強く求めました。

平成29年度補正予算の審議の中で、民泊対策の強化について徹底的にチェックと議論しました! その他、大型汎用コンピュータアーカイブ化事業に関する経費などについてもしっかりと審議したうえ、可決しました。

海外行政調査報告会を開催しました。

「生きる力を育成する教育制度・教育実践の具体化」をテーマとしてフィンランドとエストニアで実施した海外行政調査について、調査団による報告会を開催しました。

付帯決議を付けました。

開会スケジュールが伸びるとともに、事業費が増えたことになった大型汎用コンピュータアーカイブ化事業の再構築には、更なる強固なうえ、市民意見を踏まえるようにすることなど

OECDの国際学力調査で対抗成績を上げていたフィンランドとエストニアで、特色ある教育実践・指導方法に関する取組などについて調査したよ!

見える市会 伝える市会

インターネットで市会 ホームページやFacebookでももっと身近に! 情報発信中!

市会だよりを発行しています。毎月発行! 市役所ホームページに申し込みをお付けしているほか、市内公共施設やコンビニなどでも配られています。

お問合せ 京都市会事務局 TEL.075-222-3697 FAX.075-222-3713

市会の日程や取組などの詳細は、市会ホームページをご覧ください。 (原簿市会) 検索



市会だより

第75号

平成27年(2015年) 9月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

もっと知りたい! 京都市会

市役所の仕事は、ごみの収集や子育て支援、道路や公園の整備など、私たちの身の回りの目に触れるところで表れています。では、市会は市役所の仕事や私たちの暮らしにどのように関係しているのでしょうか?

市民・市会・市長の関係



市会の仕事

京都市としての意思を決めます

市長が提案した条例や予算は、市会が可決しないと成立しません。このように、京都市会は、京都市という地方自治体の意思を決定する大切な役割を担っています。

ここに注目!

市長だけでなく、議員自らも条例を作り、提出することができます。これまで、清酒の普及の促進に関する条例や交通安全基本条例などを議員提出議案として可決しました。

市民の皆さんの要望を聴きます

市民の皆さんからの願いや意見に耳を傾け、市政に反映させます。また、請願や陳情の形で提出された市民の皆さんの要望を受け取り、審査します。要望を出すときに議員の紹介があるものを請願、議員の紹介がないものを陳情と呼びます。

市の仕事をチェックします

市の仕事についてムダがないかなどを調べたり、市会で決まったことがきちんと実行されているかをチェックします。その他、必要があるときには検査権や調査権といった法律に基づいたより強力な手段で市の仕事を調べます。

市会の意見を国に提出します

京都市が更に良くなるために市会としての意見をまとめて、国などに対して、意見書を提出します。

2・3面で詳しく見てみよう!

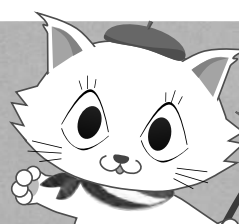
4月に新しくオープンした京都動物愛護センターが完成するまで、市会と市長とでどのような議論が行われてきたか...

京都市会マスコットキャラクター
またきち



それだけではなく...
市が新しく施策を行う場合などには、市から詳しく報告・説明を受け、市会で質問や要望を行うよ。

マタリーヌ



可決!

予算 提案

市長

平成25年2月市会

「府との共同設置であるため、設置費用を府と折半します。建設費用では10億円、年間のランニングコストでは数十万円の経費の削減が見込まれます。」

「センターにはドッグランや動物ふれあい広場などを設置します。」

「センターのオープンに向けて、ボランティアスタッフの育成などを府と一体となって実施します。」

市長

平成24年8月

政令指定都市と都道府県が共同で「動物愛護センター」を設置することを決定。

市会から出たいろいろな意見がセンターに反映されているニャン

都ちゃん 京都動物愛護センター マスコットキャラクター

市長

京都市と京都府で十分に協議します。

市会

「重行政の典型的な例になってしまっているのではないのでしょうか。」

「市内に京都府全体を網羅する施設を作ってはどうか。」

でも、同じような京都府の施設が西京区にもあるよ...

検討委員会から、センターの基本コンセプトを盛り込んだ提案書が提出されました。

ここに注目!

予算は、市長が提出した案に対して市会が議決して、初めて成立します。

その後、動物愛護に関する先進国であるドイツなどに市会議員8名※が調

※参加会派：自民、公明、民主・都

市会でのたくさんの議論が突って、素晴らしいセンターが完成したのね。

災害が起こったときには、動物を保護してくれるのね。

ボランティアのスタッフさんが、親切に対応してくれて、とてもうれしかったな。

ホームページではセンターに引き取られた犬や猫が紹介されている。この子はホームページを見て飼うことに決めたのよ。

ドッグランではリードを外して思いっきり犬と遊べるんだ。

夜間動物救急センターを併設

アンケートに御協力ください!

回答者の中から抽選で5名様にはトライフィカ京カード1,000円券と、オリジナルグッズを進呈します。

市会だよりについてお聞きます。

Q1 今号以外で、これまでに市会だよりを読んだことがありますか。

① 毎回読む
② よく読む
③ たまに読む
④ 読んだことがない

Q2 市会だよりでは、どのような内容を知りたいですか (複数回答可)

① 審議結果の内容
② 代表質問などの議論の内容
③ 市会の基本的な仕組み
④ 市会改革の取組
⑤ その他

Q3 今号の御感想や市会だより全般への御提案などがあればお聞かせください。

応募方法
氏名、年齢、住所を記入のうえ、次のいずれかの方法で9月30日(必着)までにお送りください。①はがきの裏面に回答を記入
②FAXで回答を送信 ③市会ホームページから
〒604-8571 (住所不要) 京都市会事務局調査課
市会だより担当 (FAX: 222-3713)
※いただいた御回答は、ホームページなどで紹介する場合があります。

ポスターの答えはこちら!

答えは ②

Q 今の市会議場ができたのは約何年前?

A 約90年前です。

明治22年(1889年)に最初の会議が開かれたのは、当時、下京区寺町通四条下る西側にあった大雲院というお寺でした。現在の市庁舎がある場所に最初の議事堂が建設されたのは、明治28年(1895年)3月のことです。

その後、昭和2年(1927年)に現在の本庁舎が建てられ、今の市会議場が完成しました。

明治38年(1905年)当時の議事堂

動いています。

●市会改革推進委員会

市会がより良いものとなるよう更なる議会機能の充実・強化と開かれた市会を目指し、活動しています。同委員会での話し合いを基に、市会基本条例の制定や通年議会の導入などを実現してきました。現在は、情報発信の強化や投票率の向上に向けた取組などについて議論しています。

※通年議会
定例会の回数を年1回とし、会期を4月中下旬から翌年3月までのおおよそ1年とする制度。

平成26年度の議会改革年度調査で全国1503議会中、9位(政令市で2位)になった。

早稲田大学メディア・研究所による調査より



京都動物愛護センターができるまでの議論

(愛称)動物愛ランド・京都



前身：京都市家庭動物相談所

昭和54年にできた施設だし古くなってしまったな。

市民

もう少し気軽に利用できればね…。



市会

「家庭動物相談所が市民の憩いの場となるよう新しく建て直し、ボランティアと協力して活動する動物愛護拠点とするべきです。」
「夜間の救急受入れが可能な施設の拡充が必要です。」
「動物愛護行政が変遷する中、新たに動物愛護センターの設置が必要ではないでしょうか。」

市長

「京都市動物愛護行動計画「京・どうぶつ共生プラン」を策定します。その中に、獣医師会や動物愛護団体と連携した家庭動物相談所の機能充実について盛り込みます。」

市会

「動物愛護センターの設置に向け、具体的に検討を進めてほしい。」
「大地震などの災害が起こったとき、センターがペットの避難場所となるようにする必要があります。」

新センター設置に向けて、こんなにたくさん話し合いをしてくれたんだワン



京ちゃん
京都動物愛護センター
マスコットキャラクター

市長

京都市の施設としての動物愛護センター設置に向けて、検討委員会を設置し、議論を進めます。

査に行き、調査結果を提言書にまとめて市長へ提出しました。

市会

「人と動物が触れ合える場所を十分に確保してください。」
「先進的な環境技術を取り入れてください。」
「犬や猫の殺処分ゼロを目指しましょう。」
「人と動物が共生するための施策を進めてください。」

平成26年8月

センターの建設が開始

平成27年2月市会

京都動物愛護センター案例の制定にうつり

可決!

平成27年4月

完成



地中熱利用システムや太陽光発電システムを導入

本会議と委員会

京都動物愛護センターができるまで、市会と市長は多くの話し合いを重ねました。

このような議論の場として市会に設けられているのが、ここで御紹介する本会議と委員会です。

*実際の会議では市長以外に、副市長や局長級、部長級の職員などが説明者として出席しています。

本会議

全ての議員が堂に会して、市が提案する案例や予算などを議決したり、市長に対して質問を行ったりします。

委員会

最終的に市会の態度を決めるのは本会議ですが、市の仕事は多岐にわたり、本会議では詳しいことまで話し合うことができません。そこで何人かの議員がグループに別れて話し合うのが委員会です。主な委員会には、次のものがあります。なお、本会議で委員会に詳細な審査を委ねることを「委員会付託」と言います。

● 常任委員会

名前のとおり、常に置かれている委員会、1年を通じて委員会ごとに月2回程度会議を開いています。本会議で付託された案件以外にも、市が実施する事業や取組などについて細かく審査し、市民の声が市政に反映されるように活動しています。

京都市会を設置している常任委員会は次のとおりです。

- 経済総務委員会
主な担当…市の計画、財政、税金、観光、商工業、農業など
- まごころ委員会
主な担当…まちづくり、道路、公園など
- くらし環境委員会
主な担当…環境、ごみ、文化、スポーツなど
- 交通水道消防委員会
主な担当…消防、市バス、地下鉄、水道、下水道など
- 教育福祉委員会
主な担当…教育、福祉、医療など

● 特別委員会

予算や決算など、市の特定の問題について審査する委員会です。審査する案件が生じるごとに設置します。

● 市会運営委員会

本会議の運営方法を話し合ったり、市会の中の連絡や交渉などのために活



京都市会の
ココが
知りたい!
第1回

市会と市長 ~市会と市長、どういう関係?~

市会に関する基本的なことや、その時々話題について、皆さんに分かりやすくお伝えするコーナーです(不定期掲載)。第1回目となる今回は、市会と市長の関係について解説します。

Q.1 市会と市長ってどう違うの?

A. 違いとして一番よく分かることは、**市長は一人しかいないけど、市会は67人の議員の集まり**だってことだね。市会の仕事については一面で説明したけど、主な役割で言うと、市長が市会に条例や予算を提案する一方、市会はその議決したうえで、市がきちんと仕事を行っているかチェックすることなんだ。
※市会が条例を提案することもできます。

Q.2 両者の関係は?

A. 私たち市民は、議員も市長も同じように選挙で選ぶの。だから議員の集まりである市会と市長は、私たち市民に選ばれた**対等な代表**と言えるのよ。

Q.4 どうして市会と市長という二つの代表をおくの?

A. 両者の立場は対等で、それぞれが、それぞれの役割を果たすことで、私たち市民の意思を代表しているの。そして、市会と市長はそれぞれ独立した対等な立場であるため、良い意味で互いにけん制し合い、両者の均衡を保ちつつ、より良い市政を行うことができる仕組みになっているのよ。このように、議員と市長(首長)を市民が直接選挙で選ぶ仕組みを「二元代表制」と呼ぶの。

Q.3 総理大臣は直接選挙で選べないよね。

A. そこが、国会と京都市会などの地方議会との大きな違いなんだ。国のように国会議員が議員の中から選挙で国の代表(内閣総理大臣)を選ぶのと異なり、私たちに身近な地方自治体には、私たち市民が直接選んだ**二つの代表**がいることになるんだ。

平成26年度の決算を審議

9月市会が始まります

9月市会が9月24日(木)から10月29日(木)まで開催されます。代表質問は10月1日(木)と2日(金)に、決算特別委員会市長総括質疑は10月20日(火)と21日(水)に行われます。詳しい日程は、市会ホームページから御覧ください。

●市会の様子を見るには?

傍聴

本会議と決算特別委員会市長総括質疑は市会議場で傍聴していただくことができます。

傍聴を希望される方は、市役所北庁舎1階の庁舎案内所(河原町通側)で傍聴券をお受け取りください。傍聴券は本会議・委員会の始まる**1時間前からお配り**しています(予約不要・定員105名)。開場は開会の10分前からです。

〈傍聴券の受け取り場所〉



テレビ放映

本会議の代表質問の様様をKBS京都テレビで生中継しています。

インターネット会議中継

本会議や委員会の生中継と録画をインターネット配信しています。

委員会のモニター放映

委員会の様様を市役所本庁舎2階のモニター室でモニター放映しています。視聴を希望される方は本庁舎2階の市会受付で視聴券をお受け取りください。

親子ふれあい議場見学会 参加者募集

11月3日(火・祝)に親子ふれあい議場見学会を実施します。本会議場や委員会室等、普段、なかなか入ることができない場所を見学していただきながら、市会の仕組みや役割などについて学んでいただけます。参加者には「記念グッズ」「記念写真」をプレゼントします。ぜひ、御参加ください!



昨年の様子

実施日時 平成27年11月3日(火・祝)

①午前10時30分～ ②午後1時30分～ (①、②とも約1時間半)

対象 京都市内に在又は通学する小学校4～6年生及びその保護者

定員 ①、②とも各25組 先着順での受付となります。

応募方法 電話・FAX・Eメール(ホームページから)で、京都いつでもコールへ申し込んでください。(申込締切日10月16日(金))

京都いつでもコール 電話: 661-3755

(お掛け間違いに御注意 FAX: 661-5855)

京都いつでもコール

検索

同日開催の市民スポーツフェスティバルに参加される方で議場見学会を希望される場合は、市会事務局総務課(TEL: 222-3700)まで御連絡ください。

7月特別市会の報告

平成27年7月特別市会を7月9日に開催しました。

7月特別市会では、桂川・小畑川水防事務組合議会議員の補欠選挙を行ったほか、決議を一件決しました。

■市会議第10号 全国水平社創立宣言と関係資料の「ユネスコ記憶遺産」登録に関する決議
(賛成/自民、公明、民主、都、京都、維新・無 退場/共産)

()内は、平成27年7月9日現在の会派

会派名	議員数	電話番号
自由民主党京都市議員団(自民)	20人	222-3718
日本共産党京都市議員団(共産)	18人	222-3728
公明党京都市議員団(公明)	11人	222-3732
民主・都みらい京都市議員団(民主・都)	7人	222-3724
地域政党京都党市議員団(京都)	5人	222-4035
維新の党・無所属京都市議員団(維新・無)	5人	222-4182
無所属	1人	222-4197

(平成27年8月27日現在)

紙面に関する御連絡・お問い合わせは 市会事務局調査課 TEL:222-3697 FAX:222-3713

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

9月24日~10月29日 開催 9月市会の報告 前半の報告 ~9月24日から10月2日まで~

京都市会では、平成27年9月市会を9月24日から10月29日までの36日間開催しました。今号の市会だよりでは、前半部分の9月24日から10月2日までの市会での議論や審議結果を中心にお伝えします。

平成27年度一般会計補正予算を修正可決しました ~削減した議員報酬を災害対応に活用します~



9月24日の本会議で市長から提案された75件の議案のうち、至急審議する必要があった平成27年度一般会計補正予算ほか11件の議案を予算特別委員会に付託*1し、詳しく審査した後、9月30日の本会議で議決しました。

補正予算については、全議員により提出された修正案を全会一致で可決しました。修正案の内容は、財政調整基金*2から1億8800万円を繰り入れ、補正予算の財源に充てる原案に対し、議員報酬の10%削減分7700万円を7月の台風11号による被害への対応策の財源に充当することにより基金の取崩し額を減額するというものです。

また、マイナンバー制度の導入に伴う通知カードや個人番号カードの再交付手数料を定めた証明等手数料条例の一部改正案を原案のとおり可決したほか、「京都府豊かな森を育てる府民税(仮称)」の導入に関し、納税者へ趣旨を十分に説明し、市民にとって導入効果の実感が得られるものとするなどを京都府に求める決議を可決しました。

*1 付託…本会議で委員会に詳細な審査を委ねること
*2 財政調整基金…長期的視野に立ち、計画的に財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積立てを行い、財源不足が生じる年度に活用するための基金。

日程	会議名
9月24日	本会議 予算特別委員会(正副委員長互選)
9月25日	予算特別委員会(局別質疑)
9月29日	予算特別委員会(討論終了)
9月30日	本会議 決算特別委員会(正副委員長互選)
10月1日・2日	本会議(代表質問)
10月5日	決算特別委員会(書類調査)
10月6日~9日・13日・14日	決算特別委員会(局別質疑)
10月20日・21日	決算特別委員会(市長総括質疑)
10月22日・23日	常任委員会
10月28日	決算特別委員会・常任委員会(討論終了)
10月29日	本会議

本会議で付託された補正予算等の議案を所管する局ごとに審査しました。
補正予算など、3件の議案を議決しました。
代表質問の主な内容は2・3面を御覧ください。
次号で詳しくお伝えするよ。

●9月30日の本会議の審議結果

議案162号 平成27年度京都市一般会計補正予算(修正案)(賛成:全会派)
議案169号 京都市証明等手数料条例の一部を改正する条例の制定
(賛成:自民/公明/民主・都/京都/維新・無/無所属 反対:共産)
市会議案第11号 「京都府豊かな森を育てる府民税(仮称)」の導入に関する決議
(賛成:自民/公明/民主・都/京都/維新・無/無所属 反対:共産)

京都市会
マスコットキャラクター
またごち

ネットで京都市会!

京都市会の本会議と委員会(予算・決算特別委員会*、常任委員会*、市会改革推進委員会)の生中継や録画はパソコンやスマートフォンから御覧いただくことができます。市会ホームページからアクセスしてください。

*討論終了など、一部御覧にならない委員会があります。
(スマートフォンでの視聴については、バージョンや機種により、一部御覧いただけません場合があります。)



本会議中継は、9月市会からスマートフォンでも視聴できるようになったのよ!!

京都市会マスコットキャラクター
マタリーヌ



9月24日～10月29日 開催

9月市会の報告

後半の報告 ～10月5日から10月29日まで～

京都市会では、平成27年9月市会を9月24日から10月29日までの36日間開催しました。今号では、後半の10月5日から29日までの議論や審議結果を中心に、9月市会全般についてお伝えします。

平成26年度決算を認定しました

市長

- ・実質収支の黒字を維持・拡大(全会計343億円)
- ・実質市債残高を縮減
(全会計平成26年度末残高 1兆7,970億円、対前年度比 377億円減)
- ・臨時財政対策債(国が発行額を決定し、返済に責任を持つ市債)の残高は累増(平成26年度末残高 3,531億円、対前年度比 384億円増)
- ・市バス事業は一般会計からの任意補助金に頼らない「自立経営」を実現、地下鉄事業は経常損益の赤字が9億円に縮小
- ・水道事業・公共下水道事業ともに経常損益は黒字を確保



全会計決算規模
1兆5,884億円

本会議

決算特別委員会を設置し、詳細な審査を委ねました。



本会議

決算を認定

京都市会マスコットキャラクター またさち

財政黒字というが、生活保護の夏季・歳末見舞金の廃止や国民健康保険料の滞納者への取り立てなど、一番の弱者をターゲットに抑制策を進めた結果ではないでしょうか。

連結決算で黒字を拡大したが、社会福祉費が毎年伸び、特別の財源対策なしに予算が組めません。決算と今後の財政運営に対する認識を尋ねます。

実質市債残高を引き下げたが、財政基盤が弱い弱なことに変わりがなく、今後も京都経済や市民生活の向上により将来の税収を担保するとともに、国に臨時財政対策債廃止を要望します。

行財政改革により福祉予算を増やし、全国トップレベルの福祉を維持向上させています。自立支援の取組により生活保護受給率は減少しており、国民健康保険料引下げなどの対応も行っています。



決算特別委員会

9月市会では、9月24日に75件の議案が市長から提出されました。そのうち、至急審議する必要があった2件の議案を9月30日の本会議で審議し、平成27年度一般会計補正予算に対して、削減した議員報酬7,700万円を7月の台風11号による災害対応などに活用する修正を行い、その他1件の議案や当日議員が提出した決議とともに可決しました。

残りの議案については、決算とその関連議案を決算特別委員会に、その他の議案を常任委員会に付託し、詳細な審査を行い、10月29日の本会議において、全て可決しました。さらに同日の本会議では、市長から追加で提出された監査委員の選任などの議案10件を可決した後、意見書の提出に関する議員提出議案9件についても審議し、3件を可決しました。

日程	会議名	
9月24日	本会議	
9月25日	予算特別委員会(局別質疑)	詳しい内容は前号(11月15日発行)に掲載。
9月29日	予算特別委員会(討論終了)	
9月30日	本会議	3つの分科会に分かれて、担当する局ごとに決算の審査を行いました。
10月1日・2日	本会議(代表質問)	
10月5日	決算特別委員会(書類調査)	各局への質疑を基に、市長などに対して、質疑を行いました。
10月6日～9日・13日・14日	決算特別委員会(局別質疑)	
10月20日・21日	決算特別委員会(市長総括質疑)	議案に対する委員会としての結論を出しました。
10月22日・23日	常任委員会	
10月28日	決算特別委員会・常任委員会(討論終了)	
10月29日	本会議	

目次

2面 9月市会審議結果/主な審議結果の解説
3面 常任委員会の動き(平成27年4月～10月)

4面 京都市会のココが知りたい!(第3回)
市会改革レポート/市会からのお知らせ ほか



市会だより

第78号

平成28年(2016年) 2月15日発行

京都市会ホームページ

<http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区内野通御池上土庫内浦町A68番地 ●TEL:075(222)3697 FAX:075(222)3713

11月27日~
12月11日
開催

平成27年11月市会の報告

平成27年度一般会計補正予算を可決しました

平成27年11月市会を11月27日から12月11日までの15日間開催しました。

11月27日の本会議では、平成27年度一般会計補正予算など35件の議案が市長から提出されました。これらの議案は、予算特別委員会や常任委員会で詳しく審査し、12月11日の本会議で全て原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、保育士等の確保対策を求める決議のほか、意見書の提出に関する議案など、合わせて5件を可決しました。

また、12月2日の本会議では代表質問が行われ、10人の議員が各会派を代表して、市長等に対して市政一般にわたり質問を行いました(2・3面参照)。

京都型 耐震改修支援事業費を増額!

本市では、木造住宅の耐震化のため、耐震性が確実に向上する様々な工事を補助対象として「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業」を実施しています。これまで、平成26年11月と平成27年4月に事業の充実を図っており、補助限度額の引き上げなどにより、申込みが当初予算を上回ることが見込まれました。

そこで、11月市会では、事業費の増額を行う補正予算が市長から提出され、予算特別委員会で十分な審査を行いました。予算特別委員会では、議員から平成28年度以降の事業の進め方についての質問や他施策との更なる連携を求める声などが上がりました。



予算特別委員会で事業のあり方についてしっかり議論したよ!



京都市会マスコットキャラクター またきち

事業に関する問い合わせ 建築安全推進課 TEL: 222-3613

主な審議結果

平成27年度一般会計補正予算を可決

総額1億2千万円となる平成27年度一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

<補正予算の内容>

- ・民間保育所や小規模保育の整備助成 7,200万円
- ・まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業 4,800万円

議第218号 平成27年度京都市一般会計補正予算
予算に関する問い合わせ 財政課 TEL: 222-3291

太秦小学校の体育館やプールを整備

市立太秦小学校は市内有数の大規模校である一方、体育館が狭く老朽化し、同じく老朽化したプールと共に建替え時期を迎えていました。また、グラウンド面積についても児童一人当たりに換算すると市立小学校の平均を下回っています。

こうした状況を受け、体育館跡地を活用してグラウンドをより広くするために、体育館とプールを合築した複合施設を新たに建設する工事の請負契約の締結に関する議案を可決しました。

議第228号 京都市立太秦小学校増築工事請負契約の締結について
工事に関する問い合わせ 教育環境整備室 TEL: 222-3796

ネットで京都市会! ~スマートフォンからでも楽々♪~

市会改革推進委員会の検討結果を踏まえ、市会ホームページのスマートフォン版を作成しました。スマートフォンからでも市会ホームページがより見やすくなります。本会議や委員会の生中継や録画放映もスマートフォンで御覧いただけます。ぜひ1度アクセスしてみてください。

文字が見やすく、ボタンが押しやすくなったわ!

京都市会マスコットキャラクター マタリーヌ



手話言語条例に対する市民の皆様への御意見を募集しています。詳しくは4面を御覧ください。

2月24日～
3月25日
開催

2月市会前半の報告 ～2月24日から3月2日まで～

京都市会では、平成28年2月市会を2月24日から3月25日までの31日間開催しました。今号の市会だよりでは、前半に当たる2月24日から3月2日までの市会での議論や審議結果を中心にお伝えします。

平成27年度補正予算を審議 全会計総額 81億5,200万円

地方創生加速化交付金を活用した地方創生などを推進

“みんなごと”のまちづくり推進事業(仮称)(2,000万円)

人口減少問題に取り組むために市民の皆様から提案を募集する「京都創生・お宝バンク」の取組を、人口減少対策に限らず、まちづくり全般に広げ、様々な課題を「ひとごと」でなく市民と市が共に「自分ごと」「みんなごと」として捉え、協働する新たな事業。



「京都創生・お宝バンク」(住むなら都 情報サイト)ホームページ

事業に関するお問い合わせ | 市民協働担当 TEL:222-3178

付帯決議を付けました!

「みんなごと」は一般的な言葉ではありません。市民と市が参加と協働によるまちづくりを進めようという理念が十分に理解されるよう、市民にしっかりと説明、周知をしてください。



可決された議案に付ける市会からの意見や要望のことを付帯決議といいます。

伝統産業の活性化(7,100万円)

- 第3期京都市伝統産業活性化推進計画(仮称)の策定
- 未来へつなぐ「きものまち・京都」プロジェクト
- 京もの海外進出支援事業の充実
- 京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業



事業に関するお問い合わせ | 伝統産業課 TEL:222-3337

3月2日の
本会議で

可決!



京都市会マスコットキャラクター またぎち

2月市会では、2月24日の本会議で、総額約1兆6,500億円となる平成28年度当初予算など170件の議案が市長から提出されました。

これらの議案のうち、至急審議する必要があった平成27年度補正予算など26件の議案は、予算特別委員会で詳しく審査した後、3月2日の本会議で全て可決。平成27年度一般会計補正予算など2件の議案に対して付帯決議を付けたほか、2件の請願を採択しました。

採択された請願

- ・ 行政書士法の遵守及び本人確認の徹底等による窓口業務の適正化
- ・ マンション建設の指導(上京区塔之段)

日程	会議名	
2月24日	本会議	本会議で付託された平成27年度補正予算等の議案を所管する局ごとに審査。
2月25日	予算特別委員会(局別質疑)	
2月29日	予算特別委員会(討論終了)	代表質疑の主な内容は2・3面を御覧ください。
3月1日	本会議(代表質疑)	
3月2日	本会議(代表質疑・議案処理)	平成27年度補正予算などの議案を議決。
3月3日・4日・7日～10日	予算特別委員会(局別質疑)	
3月15日・16日	予算特別委員会(市長総括質疑)	
3月17日・18日	常任委員会	
3月24日	予算特別委員会・常任委員会(討論終了)	
3月25日	本会議(議案処理)	

次号で詳しくお伝えします。

アンヌ・イダルゴ パリ市長が市会議場でスピーチ

3月2日のアンヌ・イダルゴ パリ市長(パリ市議会議長)京都市役所表敬訪問に際し、市会議場で歓迎式を行いました。

歓迎式では、全議員が列席する中、津田大三議長が歓迎の言葉を述べ、その後、パリ市長がパリの現状を説明されるとともに、2年後に控えた京都市との姉妹都市提携60周年に意欲を示されました。



私もパリ市からやって来たのよ。



京都市会マスコットキャラクター マタリーヌ



市会だより

第80号

平成28年(2016年)
5月15日発行

京都市会ホームページ

<http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

2月24日~
3月25日
開催

2月市会後半の報告

~3月3日から
3月25日まで~

京都市会では、平成28年2月市会を2月24日から3月25日までの31日間開催しました。今号の市会だよりでは、後半に当たる3月3日から3月25日までの市会での議論や審議結果を中心に伝えたいと思います。

議員提案により

手話言語条例が誕生! 皆様の御意見が条例に反映されました

市会議員全員で「京都市手話言語がつながり豊かな共生社会を目指す条例」を2月市会で提案のうえ、3月25日の本会議で、多数の方に傍聴いただくなか、全会一致で可決しました。

条例制定に当たっては、全会派の代表によるプロジェクトチームを設置して取り組むとともに、市民の皆様からの御意見も募集。手話による意見提出も含め、1,706件にものぼる御意見を頂きました。



京都市会で初めて手話を交えた提案説明を行い、傍聴者の方に提案説明者の表情と手話を見ていただけるよう、隣で手話通訳をしたんだよ!

京都市会マスコットキャラクター
またきち



▲正副議長、プロジェクトチームと京都市聴覚障害者協会の方々との集合写真



▲手話による提案説明の様子



▲傍聴席の様子

2月24日に平成28年度当初予算を含む170件の議案が市長から提出され、そのうち、至急審議する必要があった平成27年度補正予算など26件の議案を3月2日の本会議で審議し、全て可決しました。

残りの議案については、予算とその関連議案を予算特別委員会に、その他の議案を常任委員会に付託し、詳細な審査を実施しました。

その後、3月25日の本会議で副市長の選任などの追加議案29件と共に全ての市長提出議案を可決したほか、手話言語条例など、議員提案による議案7件を審議し、6件を可決しました。

なお、3月25日をもって313日間にわたり開催した、平成27年定例会が閉会しました。

日程	会議名	
2月24日	本会議	
2月25日	予算特別委員会(局別質疑)	詳しい内容は前号(4月15日発行)に掲載。
2月29日	予算特別委員会(討論終了)	
3月1日	本会議(代表質疑)	
3月2日	本会議(代表質疑・採決)	本会議で付託された平成28年度当初予算等の議案を所管する局ごとに審査。
3月3日・4日・7日~10日	予算特別委員会(局別質疑)	
3月15日・16日	予算特別委員会(市長総括質疑)	各局への質疑を基に、市長などに対して質疑を行いました。
3月17日・18日	常任委員会	
3月24日	予算特別委員会・常任委員会(討論終了)	
3月25日	本会議(採決)	議案に対する委員会としての結論を出しました。

京都市会公式 facebookページ を始めました

京都市会を更に身近に感じていただくため、京都市会公式フェイスブックページを開設しました。フェイスブックでは、より早くタイムリーに、幅広く市会の情報をお届けします。



「いいね!」をお待ちしています

京都市会マスコットキャラクター
マタリーヌ





市会だより

第81号
平成28年(2016年)
7月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/> 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上平庭寺前町 488 番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

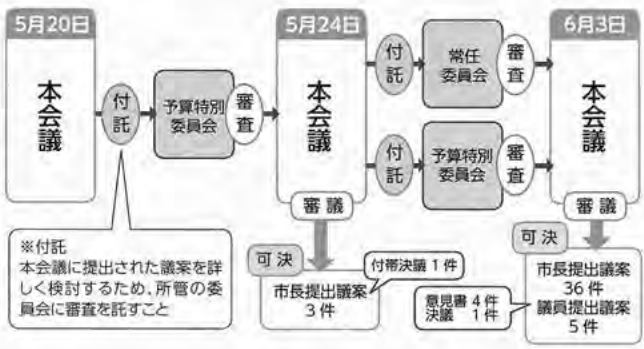
5月市会 の報告

平成28年度補正予算等 について審議しました

▶5月市会 審議の流れ

5月20日の本会議で市長から提出された平成28年度補正予算などの議案27件は、予算特別委員会や常任委員会に付託し、詳しく審査したうえで、5月24日及び6月3日の本会議で、追加議案12件とともに、全て可決しました。また、議員提出による議案7件のうち、5件についても可決しました。

なお、5月24日に可決された補正予算議案には、付帯決議を付けました。



補正予算の概要

○文化庁の京都移転の推進 500万円

文化庁の京都移転に向けては、市会でも活発に議論を行い、地方創生の一層の推進を図るため、移転を求める意見書を国へ提出するなど、積極的に取り組んできました。



- 二条城施設整備等 2億2,800万円
- 貧困家庭の子ども等に係る実態調査等 1,000万円
- 国民健康保険事業特別会計における繰上充用 3億円
- 焼却灰溶融施設プラント設備工事に係る損害賠償等請求訴訟に要する経費 4,800万円

6月3日の本会議で決議しました!
控訴に当たり、一番の判決結果を徹底的に検証・分析し、二審において全庁挙げて全面勝訴に向け全力で取り組むよう、決議しました。

▶決議の全文は、市会ホームページへ!

市会議長のご挨拶



京都市会議長
津田 大三
[中京区選出
自民党市議員]

この度、市会議長として2年目を迎え、京都市会への市民の皆様のご支援に改めて厚く感謝申し上げる次第です。

地方創生が重要な国家戦略として取り組まれる中で、この3月には文化庁の京都への全面移転が決定し、京都が文化の力で日本を創出し、世界に貢献するという大きな役割を担いました。これまで以上に京都の力量が問われるなか、議会の果たすべき役割も、極めて大きいものとなっています。

京都市会では、行政に対するチェック機能はもとより、情報発信の強化をはじめとする様々な市会改革の取組を進めています。今後とも、市民の皆様にご信頼される議会を目指し、一層努力してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

市会副議長 就任のご挨拶



京都市会副議長
曾我 修
[伏見区選出
公明党市議員]

この度の5月市会において、第91代の市会副議長に選任されました。議長のご補佐役として、その職責の重さを日々感じております。

人口減少社会への挑戦、京都創生、健康長寿や安心安全のまちづくりなど、多くの課題に直面する中、二元代表制の一翼を担う京都市会といたしまして、市民の皆様のご期待に応えるべく、政策提案・立案能力に磨きをかけていかなければなりません。

市民の皆様が、議会活動に御関心を持っていただき、身近に感じることできる議会づくりに、津田議長と共に全力を挙げて取り組んでまいりますので、御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。

4月開会市会
通年議会の会期を333日間に決定

4月26日に4月開会市会を開催し、通年議会における平成28年定例会の会期を、平成28年4月26日から平成29年3月24日までの333日間に決定しました。



市会だより

特集記事号

第82号

平成28年(2016年) 9月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

京都市会

検索



●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

またきち・マタリーヌの

市会議員一日密着 レポート!!



市会議員になったつもりで、どうしたらこの公園がもっと良くなるか考えてるんだ。

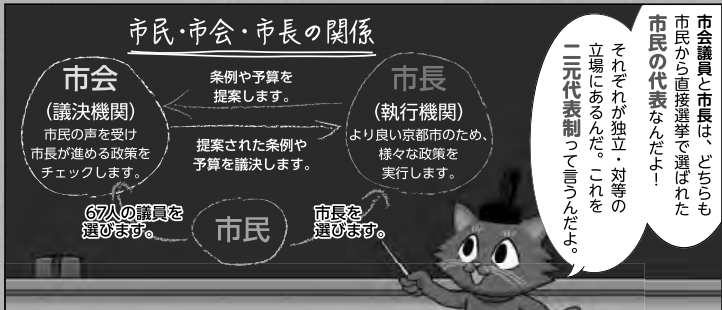
なんだ、チートじゃなかったのね。

今日はこの公園の視察に来たんだよ!

またきち君、お待たせ〜! これからどこに遊びに行くの?



京都市内とある公園にて



そういえば、市会議員さんの仕事って? いつも何をしているのかしら? わかる気もするけど...

市長さんはなんとなく、わかる気もするけど...

今日は一日、市会議員の活動を追いかけてみよう!

私も興味がないわ!

またきち君って、本当に市会のことをよく知ってるのね!

議員には重要な役割があるんだよ。議員同士や市長と、京都を良くするために議論する。ほら、ほかに色々な活動をしているんだ!

またきち

ネコの姿ですが、実は古典に出てくる妖怪の「猫又(ねこまた)」。京の都ができたときから住んでいるとのこと(またきち談)。京都市会が誕生した127年前から、その活動を追いつけているため、京都市会のことは何でも知っています。好きな場所は本会議場。噂では、烏帽子と笏にすごい秘密があるとか...!?

マタリーヌ

パリ市で生まれた女の子の猫。昭和33年にパリ市議会議長が京都市を訪問したときに一緒にやって来ました。またきちに議場で出会った瞬間、一目ぼれ。その後パリ市に戻らず、またきちとずっと一緒にいたいと願っているうちに、同じ妖怪になることができました。絵を描くことが好きで、京都市会のポスターのデザインをしているとか...!?

16:30 市民の方からの
 穴が開いてしまっ...
 わかりました。早速見に行ってみましょう！

17:00 現地調査
 道路のほら...
 議員は市民の方から色々な相談を受けるんだ。そのたびに調査したり、市の担当者に確認したり、解決に向けて動いているんだよ。

19:00 議会活動の報告会を開催
 こうやって、様々な機会をとりえて、市会での議員の活動などを伝えていくんだよ。

21:00 帰宅、夕飯
 このほか、地域主催の懇談会や行事などにも出席して、市政への要望や意見などをお聴きすることもあります。

22:00 デスクワーク
 今日の日々の常任委員会...
 ホームページやブログなどを更新
 インターネットを利用して、議員の活動をわかりやすく発信しているよ。

書類や資料等の読み込み
 日頃から市政の課題などについて調査研究を重ねています。また議案の読み込みや、本会議や委員会での質問作成にも時間をかけて取り組んでいます。

どう、マタリヌ！議員の活動がよくわかった？
 うん！こんなに色々な活動をしてたなんて知らなかったわ！

この施策について、詳しい説明をいただきたいのですが...
 本会議や委員会の開催されない日には、このような相談対応・調査、デスクワークに一日中かかりきりこともあります。

委員会は夜遅くに及ぶこともあります。

は...長かった！

な...知りたくマタリヌ！

※今号の特集記事は、議員の活動内容をわかりやすくお伝えするため「ある一日」としてまとめたものです。実際の活動内容や時間などは、個々の議員によって、また日によっても異なりますのでご了承ください。

アンケートに御協力ください!

回答者の中から抽選で5名様にトラフィカ京カード1,000円券と、オリジナルグッズを進呈します。

Q.1 今号の特集記事「市会議員一日密着レポート」について内容はわかりやすかったですか。
 ① 大変わかりやすかった ② まあまあわかりやすかった ③ わかりにくかった

Q.2 今後、特集記事として読んでみたいテーマはありますか。(複数回答可)
 ① 市会の仕組み ② 市会議員の仕事 ③ その他 (具体的なテーマもお聞かせください)

Q.3 今号の御感想や市会だより全般への御提案などをお聞かせください。

応募方法 氏名、年齢、住所を記入のうえ、次のいずれかの方法で9月30日(必着)までにお送りください。
 ① はがきの裏面に回答を記入 ② FAXで回答を送信する。
 ③ 市会ホームページから
 〒604-8571 (住所不要)
 京都市会事務局調査課 市会だより担当 (FAX:222-3713)
 ※いただいた御回答は、ホームページなどで紹介する場合があります。

最後に一言、議員としての決意と抱負をお願いします!

これからも、市民の代表であり、議決機関である市会の一員として、市民の皆さんから託された「京都市をもっとよくしてほしい」という願いに全力で応えていきます! 私たちの活動にぜひ注目しててください!

今後、特に力を入れたいと考えておられることはありますか?

議案はいつ審議されているのですか?

そうですね。これも色々ありますが、議員は自ら議案を提出することもできるので、日頃から市政に関する調査や研究をしっかりと行い、政策を提案・立案する力を、さらに高めていきたいです!

京都市では、議案の審議を集めて行うための期間(※)を決めて、通算すると年間130日程になります。この間は、地域でのに加えて、本会議や委員会等出席、市の担当者とのやり取り、案の読み込みなどに追われます。

※5月、9~11~12月、2~3月

▲この本会議場で市の条例や予算などが決定されます。



京都市会の
ココが
知りたい!
第5回

政務活動費～使い道は全て公開しています～

市会に関する基本的なことや、その時々話題について、皆さんにわかりやすくお伝えするコーナーです(不定期掲載)。今回は、「政務活動費」について解説します。

Q.1

最近よく聞くけど、政務活動費って何?

A.



政務活動費は、「議員の調査研究その他の活動」に役立てるために各議員や会派に交付されるお金なんだ。2・3面で見たとおり、議員は議会に出席するほかにも、様々な活動をしているよね。

Q.3

じゃあ、具体的には何に使えるの?

A.



例えば、調査研究、広報広聴、資料の作成・購入、人件費、事務所費など、「市政の課題や市民の意思を把握し、市政に反映させるための活動などの経費」への使用が認められているよ。

Q.2

調査研究などのためなら自由に使えるの?

A.



政務活動費が何に使えるかは条例で決めることになっているんだ。京都市でも条例や規則などに政務活動費を使う範囲を細かく定めているんだよ。また、使わなかった分は返さないといけないよ。

Q.4

ちゃんと使われているのかな?見てみたい!

A.



議員は、政務活動費を何に使ったかが分かるよう、収支報告書にまとめて、領収書などといっしょに議長に提出することになっているんだ。提出された書類は、市役所の市会図書・情報室や市会ホームページ上で全て公開しているよ!

京都市では、開かれた市会をより一層推進するため、平成28年8月31日から、政務活動費に関する領収書などについて、ホームページ上での公開を開始しました!

「第15回世界歴史都市会議」
(6月7日～9日 オーストリア パート・イシュル市)
「京都・プラハ姉妹都市提携20周年記念事業」
(6月10日～11日 チェコ プラハ市)

～市会議員の代表団が出席しました!～

世界歴史都市会議では、市民が自然と調和しながら快適に暮らせるスマートシティとしての歴史都市を目指すことなどが盛り込まれた、「パート・イシュル宣言」が採択されました。また会議の間には、パート・イシュル市議会議員や市長らと幅広い分野について意見交換を行いました。

続くプラハ市では、記念式典への出席をはじめ、植樹式やスカイクロス大会などの多くの記念事業に参加し、姉妹都市の絆を一層深めることができました。

今回の経験を活かし、京都市会として今後も更なる国際交流に努めてまいります。



パート・イシュル市の市長・議員との交流



プラハ市での記念植樹式

親子ふれあい議場見学会

参加者募集

11月3日(木・祝)に親子ふれあい議場見学会を開催します。本会議場や委員会室等、普段、なかなか入ることができない場所を見学していただきながら、市会の仕組みや役割などについて学んでいただけます。ぜひ、御参加ください!



昨年の様子

参加者には「記念グッズ」「記念写真」をプレゼントするよ。



実施日時 平成28年11月3日(木・祝)
①午前10時30分～②午後1時30分～(①、②とも約1時間半)

対象 京都市内に在住又は通学する小学校4～6年生及びその保護者

定員 ①、②とも各25組 先着順での受付となります。

応募方法 電話・FAX・Eメール(ホームページから)で、京都いつでもコールへ申し込んでください。(申込締切10月14日(金))

京都いつでもコール 電話:661-3755
(お掛け間違いに御注意 FAX:661-5855
ください。)

京都いつでもコール

手話言語条例制定記念 「手話に触れてみよう!市民のための手話学習会」を開催!

本年3月に、市会議員全員で共同提案し、全会一致で可決した「京都市手話言語がたなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」(手話言語条例)の制定を記念し、6月18日に京都市会・京都市・京都市聴覚障害者協会の共催により、キックオフイベントを開催しました。当日は、京都市会から条例制定までの経過について報告を行うとともに、手話劇や手話ワークショップなどが行われ、多くの参加者に手話に触れていただくことができました。



議長からの挨拶

* 市会からのお知らせ *

9月市会の開催予定

9月市会は、9月21日(水)から10月26日(水)まで開催する予定です。代表質問は9月29日(木)・30日(金)に、決算特別委員会市長総括質疑は10月17日(月)・18日(火)に行います。

9月市会の日程は、市会ホームページからご覧いただくことができます。

7月特別市会の報告

7月特別市会を7月19日(火)に開催しました。7月特別市会では請願審査を行い、1件を採択しました。

〈採択した請願〉
美術館再整備工事に係る代替施設の確保等

本会議等の傍聴

本会議、予算・決算特別委員会市長総括質疑、市会改革推進委員会を傍聴することができます。事前申込みによる手話通訳も実施しています。

テレビ放映

本会議の代表質問・質疑の様子はKBS京都でテレビ中継しています。

インターネット 議会中継

本会議や予算・決算特別委員会市長総括質疑を含む委員会の生中継と録画をインターネット配信しています。

委員会の モニター放映

委員会の模様を市役所本庁舎2階のモニター室でモニター放映しています。

会派等の構成

会派名等	議員数
自由民主党京都市議員団	20人
日本共産党京都市議員団	18人
公明党京都市議員団	11人
民進党京都市議員団	7人
京都維新の会・無所属京都市議員団	4人
地域政党京都市議員団	4人
無所属	3人

(平成28年8月24日現在)

紙面に関する御連絡・お問い合わせは 市会事務局調査課 TEL:222-3697 FAX:222-3713

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

9月市会 の報告 前半

平成28年度補正予算等を可決

9月21日の本会議では市長から83件の議案が提出されました。このうち、至急審議する必要がある平成28年度一般会計補正予算案を予算特別委員会に付託し、詳しく審査した後、9月28日に追加提出された染織家の志村ふくみ氏を名誉市民として表彰する議案と共に、同日の本会議で可決しました。

補正予算の内容

子育て支援、福祉の更なる充実 1億5,100万円

- B型肝炎ワクチン
予防接種の公費負担開始
1億4,500万円

国の制度改正に
速やかに対応!



- 老人福祉施設スプリンクラー設備等整備助成
600万円

● 9月28日の本会議の審議結果

議案139号 平成28年度一般会計補正予算 (賛成: 全会派)
議案201号 名誉市民の表彰 (賛成: 全会派)

「木のあるまちづくり」の更なる推進 2,400万円

市内産木材の振興に向け、
京都府の「豊かな森を育て
る府民税交付金」を活用!

- 京都市動物園における
森林資源活用事業
320万円
- 山科区制 40 周年記念事業
「山科赤ちゃん大使」
180万円
- 北山丸太による「和の文化」
魅力発信プロジェクト
1,900万円



京都市動物園の
「京都の森」



北山杉

今号では、9月市会の前半(9月21日~9月30日)の審議結果などについてお伝えしています。平成27年度決算等が審議された9月市会後半(10月3日~10月26日)の内容については、市会だより第84号(平成28年12月15日発行)で詳しくお伝えします。

またきち&マタリーヌの 市会のツボ!



今回の市会の前半では補正予算が可決されたのね!
…ところで、補正予算って何?

毎年3月までに、次の年度の予算を決めるんだけど(=当初予算)、例えば今年のように、その後に国の制度改正があったり、府の交付金の対象に決定したり、ほかにも災害への対応など、当初予算成立後に発生した事由によって新たな事業などを速やかに実施する必要が生じた場合に、当初予算の内容を変更するよう組まれた予算を、補正予算って言うんだよ。

補正予算だからって、簡単に決めたりはできないのね?

もちろん、補正予算も当初予算と同じように、市長から提出された議案を市会で審議して可決しない限り決まらないよ。本会議で議案が提出された後に、予算特別委員会という詳しく議論する場を作って、細かく丁寧に審査するんだ(=委員会付託)。その後、委員会での話し合いの結果を踏まえて、最終的に本会議で結論を出すんだよ。

なるほど〜。じゃあ、今回の委員会では、
どんなことが話し合われたの?

補正予算で実施する新たな事業の進め方や考え方、財源などを市長側に確認して、様々な観点から今後に向けての提案や要望なども行ったよ。…うーん、でも、ここではともその全部は伝えきれないから、ぜひ、市会ホームページのインターネット中継で、委員会での白熱の議論を実際に見てみてほしいな!



インターネット中継はこちらから!!

主な代表質問を
2・3面で
紹介します!



9/29・9/30 本会議で代表質問を行いました!

代表質問とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

9月市会 の報告 後半

9月21日～10月26日

平成27年度決算を認定

9月21日の本会議では市長から83件の議案が提出され、このうち、平成28年度一般会計補正予算案は9月28日の本会議において可決し、同日に追加提出された染織家の志村ふくみ氏を名誉市民として表彰する議案に同意しました。また、平成27年度決算をはじめとする残りの議案82件については、10月26日の本会議で全て認定・可決しました。また、議員提出議案については、意見書13件のうち8件を、決議2件のうち1件を、可決しました。

●平成27年度決算を徹底的に審査！

平成27年度決算について、全会計決算規模1兆6,365億円となる決算書をはじめ、収支の分析や主要な施策の推進結果などをまとめた実績報告書等が、監査委員の意見書を付けて市長から提出され、決算特別委員会で詳しく審査しました。

平成27年度決算の特徴(抜粋)

全会計規模 1兆6,365億円(対前年比 482億円増)

- 一般会計の実質収支の黒字を確保
- 一般会計・特別会計・公営企業会計の全会計を合わせた実質収支の黒字を確保
- 全会計一般会計ともに実質市債(借金)残高を簡潔に縮減
- しかし、財政基盤(税収)が弱い、国の税制上の措置が不十分などの理由から、公債償還基金の取崩しなどの「特別の財源対策」に依存せざるをえないなど、本市の財政は依然として厳しい。

●中学生に直接傍聴いただきました！

10月18日の決算特別委員会(市長総括質疑)を、京都教育大学附属桃山中学校2・3年生15名が直接傍聴されました。「議会は固いイメージだったが、思ったより自分たちに身近な議論がされていて親しみを感じた」などの感想をいただきました。



中学生による直接傍聴の様子

今号では、9月市会の後半(10月3日～10月26日)の審議結果などについてお伝えしています。補正予算の審議や代表質問などが行われた9月市会前半(9月21日～9月30日)の内容については、前号(第83号)に詳しく掲載していますので、市会ホームページなどからご確認ください。



またきち&マタリーヌの 市会のツボ!



9月市会の後半は決算の話がメインだったのね!

そうだよ、9月市会は「決算市会」と呼ぶこともあるんだ。ちなみに、2月市会は「予算市会」だよ。



決算って、簡単に言うと、去年1年間のお金の出入りをまとめたものよね?なぜ9月になってから話し合うの?遅くない?

それはね、例えば一般会計は、前年分のお金の出入りを整理できるのが5月末なんだけど、そこから、

- ① 会計管理者が決算書等をまとめ、市長に提出(8月末まで)
 - ② 市長は決算書等の監査を、監査委員に依頼
 - ③ 市長は、②の監査委員の意見を付けて、決算書等を市会に提出
- という手続きが必要だから、9月市会で決算を審議することになるんだ。



なるほど〜。でも、そもそも、なぜ決算を市会で話し合わないといけないのかな?使っちゃったものはしょうがない!……ではダメなのね?



もちろんだよ!市の予算を決めるのは市会の重要な仕事だけど、予算はあくまで見積り。それが実際にどう使われたのか、それで市民のくらしが本当に良くなったのかなど、決算に基づいて市会で十分に議論・検証して、次の予算を決めるときに活かすことも、また重要な仕事なんだよ!



そっか!決算は、ただ過去の数字が並んでるだけじゃなくて、未来の京都を良くするヒントがいっぱい詰まっている……だから決算市会での議論が大切なのね!

2面では9月市会の審議の流れ、3面では常任委員会の活動を詳しく紹介します!

11月市会 の報告

11月25日～12月9日

平成28年度補正予算等を可決

11月25日の本会議では、市長から平成28年度一般会計補正予算などの議案47件が提出され、予算特別委員会及び常任委員会に付託し、詳しく審査したうえで、12月9日の本会議で、同日に追加提出された議案21件と共に、全て可決しました。また、議員提出議案である意見書5件のうち、2件を可決しました。

補正予算の概要

○国の経済対策に対応した一億総活躍社会の着実な実現、防災・老朽化対策の推進 137億6,910万円



第二市場の新施設イメージ図

- 臨時福祉給付金(経済対策分)支給事業 63億3,500万円
- 中央市場第二市場施設再整備事業 51億6,400万円
- 市営住宅維持修繕 8億5,400万円
- 都市河川整備 6億6,300万円
- 社会福祉施設における防犯対策強化事業 3億7,500万円 など

○子育て支援、高齢者福祉施策の充実 1億8,360万円

- 民間保育所等整備助成 1億5,960万円
- 「民泊」対策その他の衛生課業務等の集約化及び子ども若者はぐくみ局創設に関する改修等 2,400万円



○給与費補正その他 9億1,230万円

政令指定都市初の条例化!

●主な条例等の概要●

「子ども若者はぐくみ局」の創設

子ども及び若者の健全な育成に関する施策を融合するとともに、子育て支援に関する施策を一元化することにより、少子化対策や子ども・子育て支援をより一層推進するため、「子ども若者はぐくみ局」を設置する条例を可決しました。(平成29年4月1日施行)

議案第204号 京都市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について
条例に関するお問い合わせ 保健福祉総務課 TEL 222-3366

「お泊まりデイ」の市独自基準の設定

通所介護(デイサービス)事業所等が利用者に提供する宿泊サービス、いわゆる「お泊まりデイ」について、サービス利用者の尊厳の保持や安全確保を図るため、人員、設備及び運営に関する市独自の基準等を定めた条例を可決しました。(平成29年4月1日施行)

議案第205号 京都市指定通所介護事業所等における宿泊サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定について
条例に関するお問い合わせ 介護保険課 TEL 213-5871

市立高校生と市会議員による意見交換会を開催!

12月27日、市立高校生34名と市会議員(市会改革推進委員)15名とによる意見交換会を開催しました。

意見交換会では、高校生と議員がグループに分かれ、「観光政策」をテーマに議論を行った後、グループごとに様々な提案が発表されました。また、議員への質問タイムでは「同じ会派の中で意見が分かれた場合はどうするのか」「議員の上下関係は」など鋭い質問が飛び交い、大いに盛り上がりました。

今後も引き続き、若い世代に京都市会を身近に感じ、政治参加への意識を高めてもらえるよう、市会としてできる取組を検討していきます!



▲グループ別議論の様子



▲提案発表の様子



京都市立高校生と京都市会議員による意見交換会



貴重なご意見やご提案をいただき、ありがとうございました!

政治への関心が高まりました!

議員さんって意外とフレンドリー!

京都市会マスコットキャラクター またきち マタリース

主な代表質問を2・3面で紹介します!



11月30日の本会議で8名の議員が代表質問を行いました!

代表質問とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

2月22日～3月24日 **2月市会** の報告 **前半** **平成28年度補正予算等を可決**

2月22日の本会議では、市長から平成29年度当初予算を含む81件の議案が提出されました。このうち、平成28年度一般会計補正予算案ほか9件の議案を予算特別委員会に、その他1件の議案をまちづくり委員会に付託し、詳しく審査しました。その後、3月1日の本会議で、一般会計補正予算案ほか1件について、平成28年度に削減した議員報酬をその財源として活用する修正案を可決し、残る9件は原案どおり可決しました。

審議結果のポイント

補正予算総額49億5,800万円について審議 **補正予算の財源に、削減した議員報酬を活用!**

平成28年度補正予算として、緊急待機児童対策事業3,760万円、水垂運動公園(仮称)整備事業PFI導入可能性調査600万円、中央市場(第一市場)施設再整備事業18億8,700万円など、総額49億5,800万円が提案されました。
 このうち、社会福祉事業の財源の一部として、平成23年度以降

10%削減を継続している議員報酬の平成28年度削減分7,700万円を活用する修正案について、議員全員で提案のうえ全会一致で可決し、残る補正予算案は原案どおり可決しました。この修正案により、補正予算の財源となる社会福祉事業基金の当初取崩し予定額を減額し、市の貴重な「貯金」の減少を抑えることができました。

議員報酬を財源に活用した事業

- 国単価改定に伴う子どものための教育・保育給付等の増額 1億6,720万円
- 障害児施設給付費 1億3,080万円
- 障害者自立支援給付費 6億2,840万円



削減した議員報酬 7,700万円を活用!

カットした議員報酬を補正予算の財源として活用することで、社会福祉事業基金からの取崩し額を減らしたんだ!

「基金」つまり「市の貯金」が減ることを抑えられたのね!



市会からの 忠告です!

付帯決議 を付けました!

◎ポイント◎ 付帯決議とは…可決された議案に付ける、市会から市長への意見や要望のことです。

一般会計補正予算(国庫支出返還金・再生可能エネルギー等導入推進基金 1億2,300万円)

付帯決議 (要旨) 再生可能エネルギー等導入推進基金事業[※]について、国からの補助金を十分活用できず残余金を返還することになったが、3年間もの間、事業の推進状況について議会への報告がなかった。今後は全庁が議会と課題意識を共有して事業実施の推進にあたること。
※東日本大震災等を契機に創設された、「災害に強く、低炭素な地域づくり」を展開するため、避難所や防災拠点等への再生可能エネルギーの導入を支援する事業

南部クリーンセンター第二工場(仮称)新設工事請負契約の変更等

付帯決議 (要旨) 南部クリーンセンター第二工場建替え工事において、新たに土壌汚染対策を行うべき箇所が見つかったため工事が遅れ、当初より23億円もの費用が増加している。今後は土壌汚染が想定される工事においては、事前に必要な調査を行い、事業計画を作成すること。

≫ そのほかの議案や審議結果、付帯決議の全文などは、市会ホームページへ!

今号では、2月市会の前半(2月22日～3月1日)の審議結果等についてお伝えしています。平成29年度当初予算案等の委員会での審査等が行われた2月市会後半(3月2日～3月24日)の内容や、全議案の審議結果については、市会だより第87号(平成29年5月15日発行)で詳しくお伝えします。

主な代表質疑を 2・3面で 紹介します!

2月28日・3月1日の本会議で **16名の議員が代表質疑**を行いました!

代表質疑とは? 本会議で提出された議案について、議員が各会派を代表して提出者に対する質疑を行うことです。2月市会では、例年、翌年度の当初予算案を中心に、市長等に対する代表質疑を行います。



市会だより

第87号

平成29年(2017年) 5月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

京都市会

検索



●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713



またさち

(京都市会マスコットキャラクター)

マタリオン

2月市会 ^{2/22}→^{3/24}の報告 後半

平成29年度 当初予算等を 可決

2月22日の本会議では、市長から81件の議案が提出され、このうち、平成28年度一般会計補正予算案を含む11件の議案は3月1日の本会議で可決しました(うち2件は修正可決)。

また、3月24日の本会議で、平成29年度一般会計予算案を含む75件(3月14日、17日及び24日に追加提出された議案5件を含む)について、原案どおり可決しました。さらに、議員提出議案については、条例案2件と意見書4件を可決しました。

主な審議結果の概要



市会からの
忠告です!

付帯決議

を付けました!

付帯決議とは…可決された議案に付ける、市会から市長への意見や要望のことです。

一般会計予算に対する 主な付帯決議の要旨

付帯決議 大型汎用コンピュータのオープン化事業の遅延に関して、第三者委員会における議論を経て市が方向性を定めた際は、速やかに議会へ報告のうえ徹底的に議論すること。現状想定外の支出が続いており、猛省のうえ事業の推進に当たること。

付帯決議 民泊に関して、規制緩和の法制化が進む中、地域の生活環境との調和や安心安全が図られるよう、市民や関係団体の意見を十分に把握し、京都の実情を踏まえた実効性ある条例を制定し運用を図ること。

平成29年度当初予算を徹底議論!
市長から提出された、全会計総額1兆6,897億円となる平成29年度当初予算案について、予算特別委員会を設置し、各事業を所管する局ごとの質疑や、市長副市長との総括質疑における徹底的な議論を経て可決しました。

平成29年度も 議員報酬を10%削減!

本市の厳しい財政状況を考え合わせ、平成29年度も引き続き議員報酬を10%カットする議案を、市会議員全員で共同提案のうえ、全会致で可決しました。

市会議第29号 京都市会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
条例に関するお問い合わせ
市会事務局総務課 TEL222-3700

自転車保険の加入義務化

自転車事故による被害者の救済・加害者の経済的負担の軽減を図るため、自転車の利用者・事業者等に損害賠償保険等への加入を義務付ける条例を可決しました。

議第32号 京都市自転車安心安全条例の一部を改正する条例の制定について
自転車政策推進室 TEL222-13565

>> そのほかの議案や審議結果、付帯決議の全文などは、市会ホームページへ!

今号では、2月市会の後半(3月2日~3月24日)の審議結果等についてお伝えしています。補正予算の審議や代表質疑などが行われた2月市会前半(2月22日~3月1日)の内容については、前号(第86号)に詳しく掲載していますので、市会ホームページなどからご覧ください。

本会議と予算・決算特別委員会市長総括質疑の インターネット議会中継に手話通訳を導入!

平成28年4月に、障害者差別解消法や京都市手話言語条例※が施行されたことを踏まえ、手話が必要とされる方に、インターネットを活用して自宅等でも議会の審議の様子をご覧いただけるよう、平成29年5月市会から、全ての本会議と予算・決算特別委員会市長総括質疑のインターネット議会中継に手話通訳を導入します。

インターネット議会中継は、市会ホームページからアクセスできますので、ぜひ、ご覧ください!

※「京都市手話言語がつかなく心豊かな共生社会を目指す条例」。市会議員全員で共同提案のうえ、全会一致で可決しました。



京都

市会だより

第88号

平成29年(2017年) 7月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/> 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区御通堀池上る上本能町前町 488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

平成29年度補正予算等 について

5月市会 5/16・5/30の報告

じっくり審議しました!

5月市会 審議の流れ

またきちノート

本会議

- 5月16日 市長からの提案
- 5月18日 正副議長選挙
議案の処理
市長からの追加提案
- 5月19日 代表質問
- 5月30日 市長からの追加提案
議会からの提案
議決

委員会

- 5月22日 予算特別委員会
- 5月23日、24日 常任委員会

付託 本会議に提出された議案を、より詳しく丁寧に議論するため、所管の委員会に審査を委ねることで

報告 委員会での議論や審査の状況を本会議において報告します

市会のチェック!
~契約の締結について~

5月市会では、「契約」についても10件審議されているね。

京都市では、予定価格の金額が1件につき、4億円以上の工事又は製造の請負契約は、市会の議決を得る必要があるんだ!



補正予算の説明

車いすフェンシング強化拠点のトレーニング環境の充実 **800万円**

2020年東京パラリンピックに向けて、元京都市立山王小学校が車いすフェンシングの強化拠点として指定されたことに伴い、国の委託を受け、トレーニング環境の充実を図るもの。

補正予算(1件)や契約の締結(10件)など、41件の議案を可決

主な代表質問については2・3面で紹介しています。

新しい議長・副議長が 選出されました



京都市会議長
寺田 一博
上京区選出
自民党市議員



京都市会副議長
久保 勝信
山科区選出
公明党市議員

私たちは、5月市会において、第83代議長及び第92代副議長に選出されました。誠に光栄なことであり、また同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

この4月には、文化庁地域文化創生本部が設置され、文化庁の全面的な移転に向けた大きな一歩を踏み出しました。地方創生の新たなモデルとして全国から注目を集めているところであり、今後は、これまで以上に京都の力が問われてきます。

このような中、二元代表制の一翼を担う京都市会が果たすべき役割も、極めて重要なものとなっており、行政に対する監視機能や、政策提案・立案機能など、議会の権能を十二分に発揮することにより、市民の皆様からの負託に応え、京都市政の更なる発展につなげていかなければなりません。

また、市民の皆様へ、これらの議会活動を分かりやすくお伝えすることも重要であることから、この「市会だより」やホームページなど、様々な広報媒体を活用して、創意工夫を重ねつつ、積極的に情報を発信してまいりますので、御注目いただければ幸いです。

今後とも、市民の皆様にご信頼され、また、身近に感じていただける議会づくりのために全力で取り組んでまいりますので、御理解と御支援をよろしくお願ひ申し上げます。

4月開会市会を開催

会期を333日間に

MEMO

~京都市会では、会期をおおむね1年とする通年議会を導入しています~
ほぼ1年間、市会の権限で本会議が開催でき、災害時など緊急性のある課題が発生した場合に速やかに対応できます。

4月25日に4月開会市会を開催し、平成29年定例会(通年議会)の会期を、平成29年4月25日から平成30年3月23日までの333日間に決定しました。



市会だより

第89号

平成29年(2017年) 9月15日発行

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

京都市会

検索



●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本願寺前町 488 番地 ●TEL.075(222) 3697 FAX.075(222) 3713 京都市印刷物 第 296031 号

みなさんと一緒に
京都市会に潜入して
答えを探そう!

またきち & マタリーヌ

京都市会 クイズ!

京都市会
マスコット
キャラクター
またきち

京都市会
マスコット
キャラクター
マタリーヌ

第1問 レベル ★1

これは何でしょう?

- ①代表者2名による討論開始を知らせるゴング
- ②議論が紛糾した際に議場内を鎮めるための鐘
- ③市会本会議の開始や終了を知らせる鐘



第2問 レベル ★★2

ここはどこでしょう?

- ①市民の皆様が本会議を見るための傍聴席
- ②議員が会議の合間に休憩するスペース
- ③会議中に職員が待機している席



第3問 レベル ★★★3

市民から直接選挙で選ばれた市会議員と市長が独立・対等の立場で行う地方自治の原則とは?

- ①大統領制
- ②二元代表制
- ③議院内閣制



答えは2・3面で!

「議会ってムズカシイ。」「議員の活動なんてシラナイ。」「私たちのくらしとの結びつきがナゾ。」etc...

そうわれがちな議会ですが、ちょっとのぞいてみるだけでも、議会の見方が変わるかもしれません。

今回、またきち・マタリーヌが京都市会に潜入!
私たちのまち京都市のことを真剣に議論している
京都市会の舞台を一緒にのぞいてみましょう!





市会を見に行こう！ 見てみよう！

詳しくは4面をチェック！



④ 受付窓口
庁舎案内所（北庁舎1階）
傍聴券が交付されます。

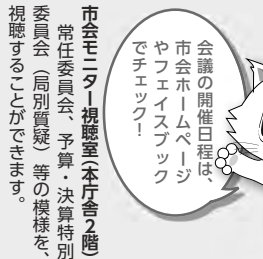


市会受付（本庁舎2階）
市会モニター視聴室での
視聴券が交付されます。



第2回の答え！

⑤ 傍聴席と市会モニター視聴室
傍聴席（本庁舎3階）
本会議、予算・決算特別委員会（市長
総括質疑）を、傍聴することができます。



市会モニター視聴室（本庁舎2階）
傍聴券が交付されます。



会議の開催日程は、
市会ホームページ
やフェイスブック
でチェック！

MEMO インターネットでも全ての本会議、委員会の生中継・録画放映を実施中

③ 市会運営委員会室・理事会室

ここでは、各会派の代表の議員により、本会議の進め方や内容、市会の運営等について協議が行われています。
平成28年度の議会改革半年度調査で全国1347議会中、10位（政令市で2位）になっている。
（早稲田大学マニファエスト研究所による調査より）



MEMO

京都市会では、議会の活性化とともに平成29年9月市会から予算・決算特別委員会（局別質疑）の終了時間を30分繰り上げるなど、働き方改革を進めています。



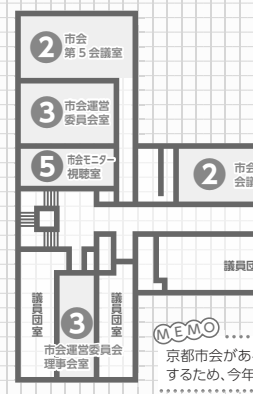
常任委員会だけでも、毎月おおむね2回（委員会全体では10回程度）、年間100回を超える会議が開催されているね。



市の仕事に対するチェックをしっかり行っているよ！
審議時間は政令指定都市議会で1番長いんだ！平成28年度実績

議会機能の充実と強化を図り、開かれた市会をより一層推し進めていくため、市会改革に向けた様々な議論を行います。

京都市役所 本庁舎 2階



注目! 議場見学を受け付けています！
親子ふれあい議場見学会（4面をチェック！）のほか、市内の小中学校を対象とした議場見学も受け付けています！

お問合わせ先
市会事務局総務課（電話222-13700）

市会議場の議員席に座ったり、普段は入ることができない会議室を見学したり、市会の仕組みや役割を学ぶことができますよ！



請願・陳情とは？

市民の皆様が、市に実現してほしいと思うことなどを市会に申し出ること。外国籍や未成年の方など誰でも請願・陳情することができます。



請願・陳情が、本会議や委員会で審議され、市政に声を届けることになるんだね。



アンケートに御協力ください！

回答者の中から抽選で10名様にトラフィカ京カード1,000円券と、オリジナルグッズのセットを進呈します。

Q.1 今号以外で、これまで市会だよりを読んだことはありますか。
① 毎回読む ② たまに読む ③ 読んだことがない

Q.2 今号の特集記事「京都市会へ潜入！～市会議場って普段どこで何を話し合っているの？～」について内容はわかりやすかったですか。
① 大変わかりやすい ② わかりやすい ③ わかりにくい

Q.3 今後、特集記事とテーマはありますか
① 市会の仕組み ② 市
③ その他（興味のあるテーマ）

応募方法 アンケートの回答、氏名、年齢、住所を記入のうえ、はがきかFAX、又はeメールで9月30日（必着）までにお送りください。
〒604-8571（住所不要）京都市会事務局調査課 市会だより担当（FAX:222-3713）（eメール:shikai-chosa@city.kyoto.lg.jp） ※いただいた御回答は、ホームページなどで

京都市会へ潜入!

市会議員って普段どこで何を話し合っているの?!

議員活動を知ろう!

1 市会議場

ここでは、次の会議が開催され、全議員参加のもと、議論が行われています。
本会議
市民のくらしに直結する市の予算・決算や条例等の議決、市長等に対する質問を行います。
予算・決算特別委員会(市長総辞職後)
市の予算や決算について、市長等と徹底的に議論を行います。

開催回数について

会期をおおむね1年とする通年議会のもと、年間20回を超える本会議等を行います。



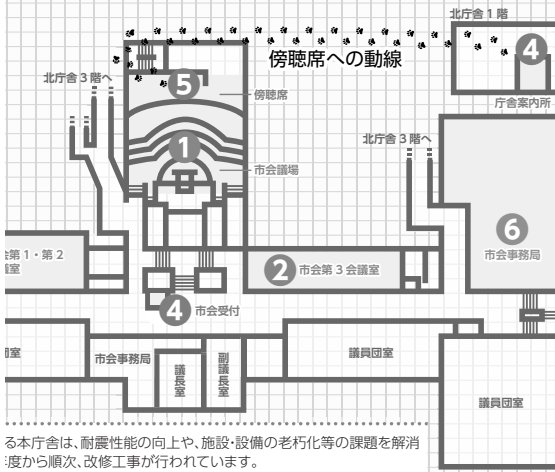
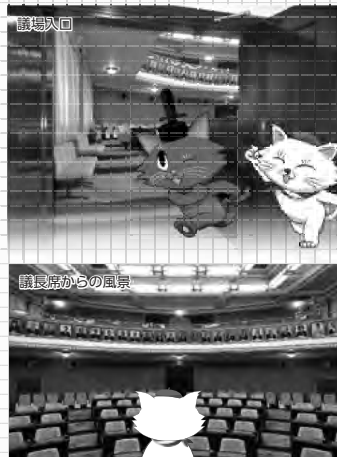
第3問の答え!

市民から直接選挙で選ばれた市会議員と市長が独立・対等の立場で議論する「二元代表制」の舞台で、見所いっぱいだよ。

2 会議室

会議室は3箇所あり、各議員を委員とする次の委員会が行われています。
常任委員会
市の様々な事業や取組等について、市の責任者との議論や調査を行います。
予算・決算特別委員会(局別質疑)
市の予算や決算について、各事業を所管する局長との審査を行います。

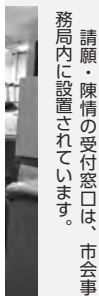
市会改革推進委員会



本庁舎は、耐震性能の向上や、施設・設備の老朽化等の課題を解消度から順次、改修工事が行われています。

請願や陳情を するには

6 受付窓口
請願・陳情の受付窓口は、市会事務局内に設置されています。



読んでみたいか。(複数回答可)
市議員の仕事
が聞かせたい

Q.4

今号の御感想や市会だより全般への御提案などをお聞かせください。

*紹介する場合があります。

市会の雑学

1 市会議場の装飾

昭和2年に完成した現在の市会議場。天井にはステンドグラス①が配され、議場正面の半円アーチの線飾り②や漆喰天井③はインド建築の影響が見られます。



2 歴代議長肖像写真

議場を取り囲むように、歴代議長の肖像写真④が掲示されています。京都市会の長い歴史を感じることができます。

3 本会議の始まりと終わりを知らせる「鐘」

「開始」、「再開」、「終了」の時に、カンカンカンと20回鐘を鳴らします。120分も前からの決まり事です。

4 議長席の静止槌と鈴

議論が白熱し過ぎた時など、叩いたり鳴らしたりして、その場を静かにさせるときに使います。

昭和44年にイタリアのフィレンツェ市長から寄贈

昭和27年にアメリカのロサンゼルス市長から寄贈



クイズの答え

第1問：⑤市会本会議の開始や終了を知らせる鐘 第2問：①市民の皆様が本会議を見るための傍聴席 第3問：②二元代表制



京都市会の
ココが
知りたい!
第7回

市会を見るには～開かれた場で活発な議論をしています～

市会に関する基本的なことや、その時々話題について皆さんにわかりやすくお伝えするコーナーです(不定期掲載)。今回は、「市会を見るには」について解説します。



Q.1 市会の話合いの様子は見る事ができるの?



A. 本会議など様々な会議の様子を見ることが出来るよ。会議室に入って傍聴できない会議でも、モニター視聴室で生の様子を見ることが出来るんだ。



Q.2 事前に予約が必要なの?



A. 事前の予約はいらないよ。会議の当日に、受付で券をもらえば見ることが出来るんだ。左下のメモを確認してみて。

またきちメモ

会議の種類	傍聴	モニター視聴	受付場所
本会議	○	-	庁舎案内所 (北庁舎1階)
予算・決算特別委員会 (市長総括質疑)	○	-	
予算・決算特別委員会 (局別質疑)	-	○	市会受付 (本庁舎2階)
常任委員会	-	○	
市会改革推進委員会	○	○	

※傍聴券及び視聴券は開会1時間前から交付(先着順)

※本会議では、事前(5開庁日前)に申請すれば、傍聴席で手話通訳を受けられます。



Q.3 市役所まで足を運ばないときは?



A. 京都市会で行われる本会議や常任委員会等は、インターネットで生中継と録画放映を行っているんだ。また、本会議の代表質問・質疑は、KBS京都でテレビ中継されているよ。

市会の日程は、
市会ホームページをチェック!

姉妹都市・ウクライナ キエフ市で 記念事業が開催(6月3日～5日)

～京都市代表团に京都市会を代表して寺田議長が参加しました～

平成28年度に京都市との姉妹都市提携45年目を迎えたキエフ市において、様々な記念事業が開催され、京都市代表团に京都市会を代表して寺田議長が参加しました。

今回再整備された「京都公園(※1)」のリニューアル式典への出席や、キエフ市役所やキエフ国立バレエ学校への訪問、「世界平和のための子ども絵画展(※2)」閉会式への出席、チェルノブイリ博物館の視察などを通して、両都市の絆を一層深めることができました。

今後も京都市会として、姉妹都市をはじめ、更なる国際交流に努めてまいります。

※1 姉妹都市提携10周年を記念して造園されたキエフ市の公園

※2 チェルノブイリ、福島、京都の子どもたちが「夢」をテーマに描いた絵画展



親子ふれあい議場見学会

参加者募集

11月3日(金・祝)に親子ふれあい議場見学会を開催します。本会議場や委員会室等、普段、なかなか入ることができない場所を見学していただきながら、市会の仕組みや役割などについて学んでいただけます。ぜひ、御参加ください!

参加者には「記念グッズ」、「記念写真」のプレゼントもあるよ。



昨年の様子

実施日時 平成29年11月3日(金・祝)
①午前10時30分～②午後1時30分～(①、②とも約1時間半)

対象 京都市内に在住又は通学する小学校4～6年生及びその保護者

定員 ①、②とも各25組 先着順での受付となります。

申込方法 電話・FAX・ホームページの申込フォームで、京都いつでもコールへ申し込んでください。(申込締切10月13日(金))

京都いつでもコール 電話:661-3755
(お掛け間違いに御注意 FAX:661-5855
ください。)

京都いつでもコール

* 市会からのお知らせ *

9月市会の開催予定

9月市会は、9月21日(木)から10月26日(木)まで開催します。代表質問は9月28日(木)・29日(金)に、決算特別委員会市長総括質疑は10月17日(火)・18日(水)に行います。

9月市会の日程は、市会ホームページから御覧いただくことができます。

7月特別市会の報告

7月特別市会を7月18日(火)に開催しました。7月特別市会では瀬川右岸水防事務組合議会議員の選挙などを行いました。

本会議等の傍聴

本会議、予算・決算特別委員会市長総括質疑、市会改革推進委員会を傍聴することができます。本会議では事前申込みによる手話通訳も実施しています。

テレビ放映

本会議の代表質問・質疑の模様をKBS京都でテレビ中継しています。

インターネット 議会中継

本会議や予算・決算特別委員会市長総括質疑(以上手話通訳有り)を含む委員会の生中継と録画をインターネットで配信しています。

委員会の モニター放映

委員会の模様を市役所本庁舎2階のモニター室で放映しています。

会派名	議員数
自由民主党京都市議員団(自民)	20人
日本共産党京都市議員団(共産)	18人
公明党京都市議員団(公明)	11人
民進党京都市議員団(民進)	7人
日本維新の会・無所属京都市議員団(維新)	4人
地域政党京都市議員団(京都)	4人
無所属	3人

(平成29年8月23日現在)

市会だよりに関する御連絡・お問い合わせは 市会事務局調査課 TEL:222-3697 FAX:222-3713

京都市会ホームページ <http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

平成29年度 補正予算等を **可決** 9月市会 9/21~11/2 の報告 前半

9/21 本会議	市長から57件の議案が提出	9/27 本会議	原案可決	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算など3件
			修正可決	平成29年度一般会計補正予算
			継続審査	宿泊税条例の制定

修正可決

補正予算の財源に、削減した議員報酬を活用!

平成29年度補正予算として、新入学児童生徒学用品費の入学前支給1億円、宿泊税導入に係るシステム改修1億2,700万円など、総額2億7,300万円が提案されました。

これに対して、京都市会では、十分な検討を行ったうえで、議員報酬の平成29年度削減分7,700万円を活用する修正案を議員全員で提案し、全会一致で可決しました。

この結果、補正予算総額を、1億9,600万円に抑えることができました。

審議結果のポイント

削減した議員報酬
7,700万円

注目!
削減した議員報酬を
活用し、財政調整基金
(市の貯金)からの取崩し額を
減らすことができました!

財政調整基金 (市の貯金) 1億6,000万円
国支出金
府支出金

補正予算総額
1億9,600万円

削減した議員報酬を財源に活用した事業

●新入学児童生徒学用品費の入学前支給 1億円

経済的な理由により、市立小・中学校への就学に要する費用の負担が困難な家庭に対する事業。



継続審査

慎重に審査しました!

京都市宿泊税条例*の制定については、引き続き慎重かつ丁寧に審査する必要があることから、9月27日の本会議では表決をとらず、継続審査とすることとしました。

*[京都市宿泊税条例]
すべての宿泊施設の利用者に課税することなどを定める条例案

キーワード

「補正予算」



Q 補正予算って何? どうして必要なの?



A 予算を補正すること、つまり、当初予算の内容を変更して組まれる予算なんだ。
新たな事業などを速やかに実施する必要が生じた場合は、当初予算のままでは対応できないから、予算の内容を変更する必要があるんだ。



Q 補正予算は どうやって決められるの?



A (1) 本会議で市長から提案
(2) 予算特別委員会で細かく丁寧に審査
(3) 本会議で議決、という流れで決定されるんだ。

今号では、9月市会前半(9月21日~9月29日)の審議結果などについてお伝えしています。平成28年度決算等が審議された9月市会後半(10月2日~11月2日)の内容については、次号(12月15日発行)で詳しくお伝えします。

主な代表質問を
2・3面で
紹介します!



9/28・9/29 本会議で代表質問を行いました!

代表質問とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

京都

市会だより

第91号

平成29年(2017年) 12月15日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索

発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区今町通御池上る上津屋町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷所 第296033号

平成28年度

決算を認定

10月上旬からの決算特別委員会で
じっくり審査・議論しました

9月市会 9/21~11/2
の報告 後半

市長から提出された平成28年度決算について、決算特別委員会を設置し、各事業を所管する局ごとの質疑(局別質疑)や、市長・副市長との総括質疑における徹底的な議論を経て認定しました。
京都市のお金の使い方をしっかりチェックし、次にかかしていきます



9月市会(決算市会)
しっかり検証
予算が適正に使われたか、市民のくらしがよくなっているかを十分に審査し、市会が認定(不認定)します。

市のお金は計画を立てたらゴールではありません。決算を審査した結果を、今後の予算編成にかかします!

2月市会(予算市会)等
しっかり反映
より良い京都市にするため、市会で予算案を審査し、予算を決めます。

「決算」を認定(不認定)する際には「予算」を決めることと並んで、市会のごとでも大事な仕事だよ!



●決算以外の主な議案
京都市宿泊税条例
条例に関するお問い合わせ
行政局税制課
TEL 213-15200

固定資産税の軽減や改修補助など、所有者への財政的支援策の創設などを求めました。

京都市京町家の保全及び継承に関する条例
条例に関するお問い合わせ
都市計画局まち再生・創造推進室
TEL 222-13503

付帯決議 を付けました!

京都市宿泊税条例に対する主な付帯決議

- ① 簡易宿所をはじめとした中小、帯細事業者をはじめ、宿泊事業者の納税事務の簡素化と支援に取り組むこと。
- ② 条例施行後の状況を早急に把握し、必要がある場合は適切に対応するため、条例施行の1年6箇月後に、条例の施行の状況、社会経済情勢の変化等を勘案し、宿泊税に係る制度について検討を加え、必要があるときは、早急にその結果に基づいて所要の措置を講じること。

市会からの忠告です!

キーワード
ふたいつき
付帯決議
可決された議案に付ける市会から市長への意見や要望のこと

>> そのほかの議案や審議結果、付帯決議の全文などは、市会ホームページを御覧ください!

今号では、9月市会の後半(10月2日~11月2日)の審議結果等についてお伝えしています。補正予算の審議や代表質問などが行われた9月市会前半(9月21日~29日)の内容については、前号(第90号)に詳しく掲載していますので、市会ホームページなどから御覧ください。

MEMO ~京都市会から働き方改革を進めています~

9月市会から、予算・決算特別委員会における審議について、働き方改革の観点から見直しを行いました

- ① 局別質疑の審議終了時刻を午後6時から午後5時半に → 職員の時間外勤務を前提としていましたが、これまでと同程度の質疑時間を確保しつつ、終了時間を繰り上げました。
- ② 局別質疑から市長総括質疑までの日程を中2日から中3日に → 日程に1日余裕ができたことにより、職員が行っている市長総括質疑に向けた作業に係る時間外勤務の縮減を図りました。

真のワーク・ライフ・バランスが更に進むように市会も取り組んでいくよ。



京都市会
マスコット
キャラクター
マタリーヌ



市会だより

第92号
平成30年(2018年)
2月15日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索 f

●発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区西京町通染地之上本町寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物 第296034号

平成29年度 補正予算等を可決 11月市会 11/24・12/8 の報告

～補正予算(総額246億4,200万円)等について審議しました!～

11月24日の本会議では、市長から、「民泊」対策や大型汎用コンピュータオープン化事業等に関する平成29年度一般会計補正予算などの議案28件が提出され、予算特別委員会及び常任委員会に付託し、詳しく審査したうえで、12月8日の本会議で、同日に追加提出された6件と共に、全て可決しました。また、議員提出議案である意見書3件のうち、2件を可決しました。

補正予算の主な内容

●「民泊」対策の強化 1,700万円



京都市会マスコットキャラクター またきち

市会として厳しく活発な議論を行い、市民意見を反映した条例等の整備や職員体制の充実を強く求めたよ!



京都市会マスコットキャラクター マタリヌ

大型汎用コンピュータオープン化事業

国民健康保険や市税などの様々な業務を行っているシステムについて、コストがかかる特定の事業者固有の技術ではなく、一般に広く利用されている最新技術や機器によって刷新する事業。

事業の一部を受託した事業者の不履行により、契約を解除

今後 事業の再構築を行い、新たな事業者と契約すると同時に、契約解除した事業者に対し、本市が支払った契約代金の返還及び遅延により生じた損害の賠償等を求める訴訟を行う。

●大型汎用コンピュータオープン化事業

・事業の再構築 22億9,100万円(債務負担行為設定29年度～32年度)

債務負担行為 数年度にわたる工事の経費支出など、将来の財政支出を約束する行為のこと。予算は市会で議決していますが、その予算の一部を構成するものです。

・損害賠償等請求訴訟に要する費用 900万円

●焼却灰溶融施設整備に係る訴訟に関する和解金の収入等

市民負担のない勝訴的な和解が成立。 153億8,100万円



予算特別委員会において十分な議論を行いました。

市会からの
忠告です!

付帯決議 を付けました!

付帯決議とは…
可決された議案に付ける、市会から市長への意見や要望のことです。

主な付帯決議の要旨

開発スケジュールが延びるとともに、事業費が増額となった大型汎用コンピュータオープン化事業の再構築に当たっては、更なる猛省のうえ、市民負担が生じないよう事業を推進し、進捗状況を適宜議会に報告すること。また、同事業に係る損害賠償請求訴訟については、訴訟体制に万全を期し、市民負担を避けること。

またきちノート

11月市会開会中に開催された会議

本会議

11月24日に市長等からの提案説明が行われ、28日に議案を各委員会に付託し、29日に8名の議員による代表質問を行い、12月8日に議案の採決等を行いました。

常任委員会

12月7日、4日に分野別に設置された5つの常任委員会において、条例などの議案や陳情の審査などを行いました。

予算特別委員会

11月30日に平成29年度補正予算及びその関連議案を審査しました。

市会運営委員会

本会議の運営方法等について協議を行いました。
※4面で「市会の運営」について解説しています。

付託 委員会に審査を委ねること

議会での審議をより詳しく丁寧に行うため、専門的な審査を行う。

地方自治法(109条)で設置できると規定されている委員会。

主な代表質問を2・3面で紹介します!



11月29日の本会議で8名の議員が代表質問を行いました!

代表質問とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

京都市会史

— 京都市会のあゆみと各種資料 —
(昭和63年1月～平成30年3月)

平成31年3月20日発行

発行 京都市会

編集 京都市会事務局

京都市中京区寺町通御池上

上本能寺前町488番地

印刷 株式会社^{図書}印刷同朋舎

京都市下京区中堂寺鍵田町2
